

平成27年度

福井市民意識調査報告書

～ あなたの声を福井の未来に ～



福 井 市

目 次

I 調査の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
3 調査の項目	3
4 回収結果	4
II 調査対象者の特性	5
III 調査結果	9
◆市のまちづくりについて	9
政策の満足度・重要度について	19
◆共食（家族と共に食事を取る）ことについて	52
◆人権・男女共同参画について	55
◆行政チャンネル「ふくチャンネル」について	58
◆福井市の生活環境について	61
◆自転車の利用について	63
◆耐震について	65
◆福井市の住みやすさについて	70
◆保留地について	72
◆福井市の緑と公園について	75
◆福井市の環境について	79
◆ごみの減量・資源物の分別について	82
◆福井市の公共施設について	86
◆福井市図書館について	92
◆福井市中央卸売市場「ふくい鮮いちば」について	95
IV 自由意見	98
V 調査票	105

報告書の見方

- 1 グラフ中の「SA」は単一回答、「MA」は複数回答を示す。
- 2 グラフ中の「N」は、その設問における回答者数を表す。
- 3 単一回答では、構成比の数値を少数第2位で四捨五入したため、合計が100.0%に過不足することがある。
- 4 複数回答では、回答の割合の合計は100.0%を超える。

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、現在の福井市における重要課題などについて市民の意見を把握し、今後の市政運営の方向性を探るための基礎資料とすることを目的に実施する。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 福井市全域
- (2) 調査対象 市内に居住する18歳以上の男女2,500人
- (3) 抽出方法 平成27年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
(地区人口比率、男女、年齢の特性を考慮)
- (4) 調査方法 郵送による
- (5) 調査期間 平成27年6月18日(木)～平成27年7月7日(火)

3 調査の項目

- (1) 回答者自身の特性(性別、年齢、職業、居住年数、家族構成、居住ブロック)
- (2) 市のまちづくりについて 政策の満足度・重要度(16問)
- (3) 共食(家族と共に食事を取る事)について(2問)
- (4) 人権・男女共同参画について(3問)
- (5) 行政チャンネル「ふくチャンネル」について(3問)
- (6) 福井市の生活環境について(2問)
- (7) 自転車の利用について(2問)
- (8) 耐震について(5問)
- (9) 福井市の住みやすさについて(2問)
- (10) 保留地について(3問)
- (11) 福井市の緑と公園について(3問)
- (12) 福井市の環境について(3問)
- (13) ごみの減量・資源物の分別について(4問)
- (14) 福井市の公共施設について(4問)
- (15) 福井市図書館について(3問)
- (16) 福井市中央卸売市場「ふくい鮮いちば」について(3問)

4 回収結果

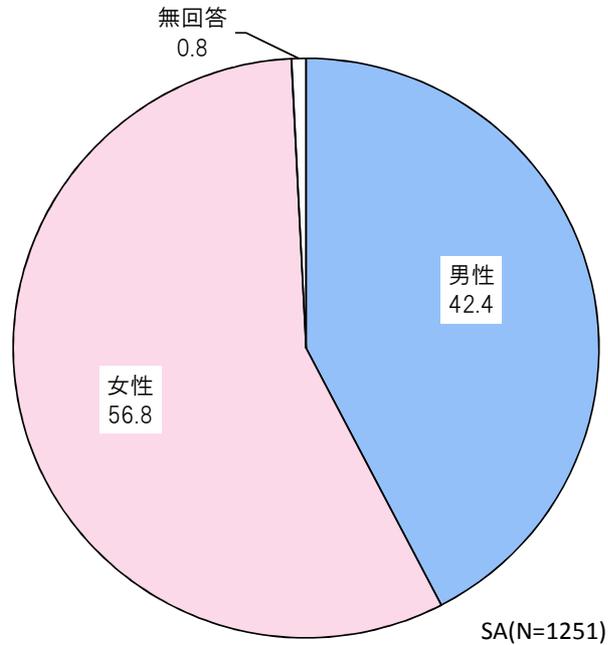
回収数 (率) 1, 251 (50.0%)

		標本数	回収数	回収率
合計		2,500 (100.0%)	1,251 (100.0%)	50.0%
性別	男性	1,231 (49.2%)	530 (42.4%)	43.1%
	女性	1,269 (50.8%)	711 (56.8%)	56.0%
	無回答		10 (0.8%)	
年齢	18～29歳	394 (15.8%)	103 (8.2%)	26.1%
	30～39歳	408 (16.3%)	155 (12.4%)	38.0%
	40～49歳	458 (18.3%)	217 (17.3%)	47.4%
	50～59歳	411 (16.4%)	224 (17.9%)	54.5%
	60～69歳	457 (18.3%)	301 (24.1%)	65.9%
	70歳以上	372 (14.9%)	239 (19.1%)	64.2%
	無回答		12 (1.0%)	
居住ブロック	あたごブロック	377 (15.1%)	176 (14.1%)	46.7%
	不死鳥ブロック	437 (17.5%)	231 (18.5%)	52.9%
	みなみブロック	449 (18.0%)	219 (17.5%)	48.8%
	あずまブロック	342 (13.7%)	175 (14.0%)	51.2%
	九頭竜ブロック	456 (18.2%)	220 (17.6%)	48.2%
	光ブロック	154 (6.2%)	79 (6.3%)	51.3%
	川西ブロック	111 (4.4%)	56 (4.5%)	50.5%
	足羽ブロック	174 (7.0%)	95 (7.6%)	54.6%

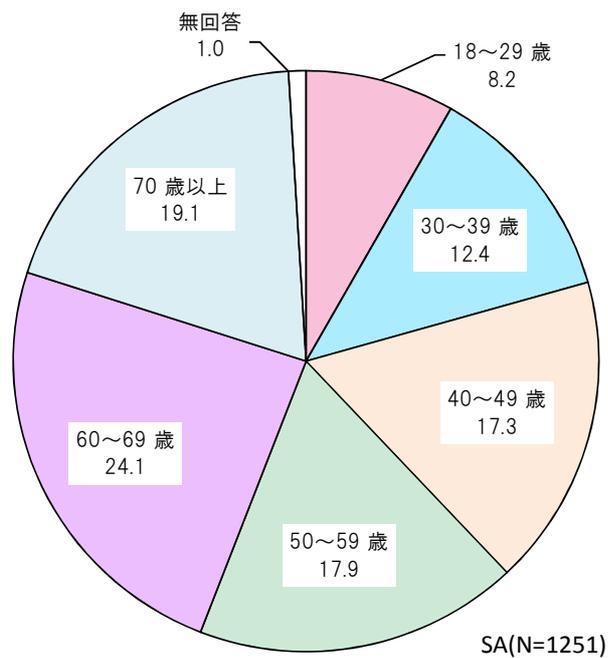
※ () 内は構成比を表しています。

Ⅱ 調査対象者の特性

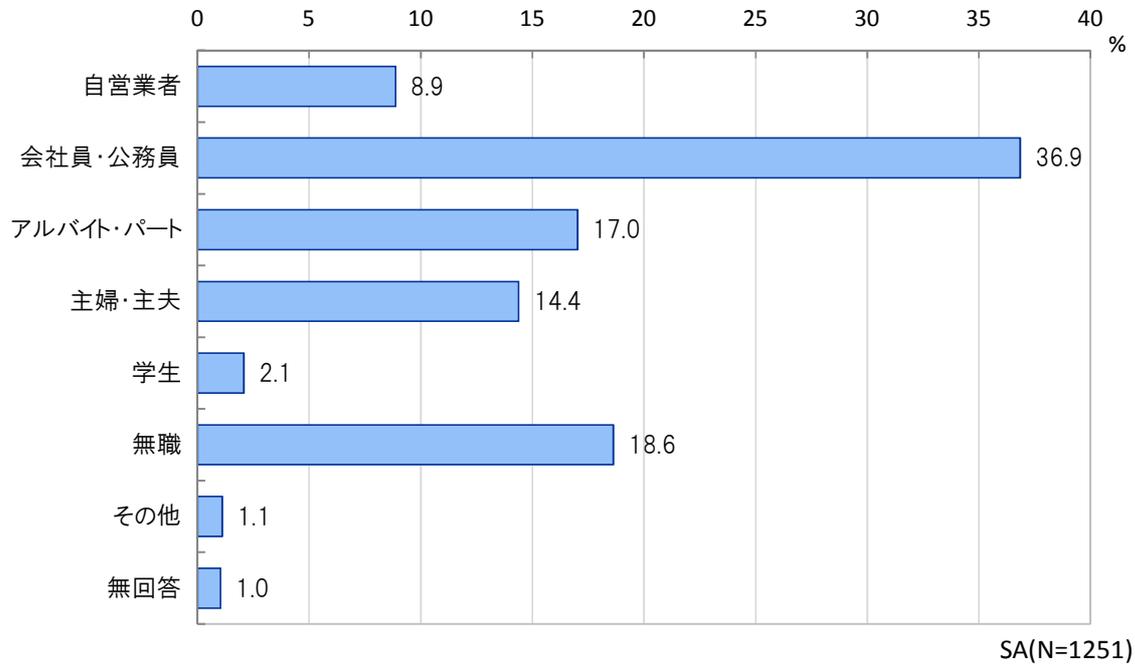
F 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)



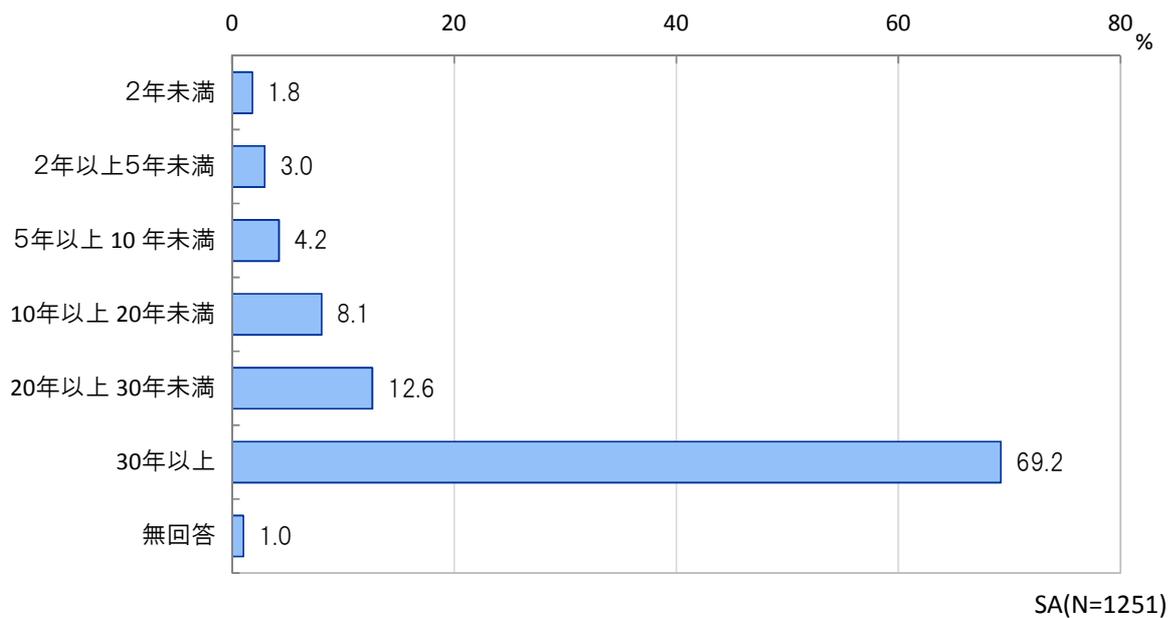
F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)



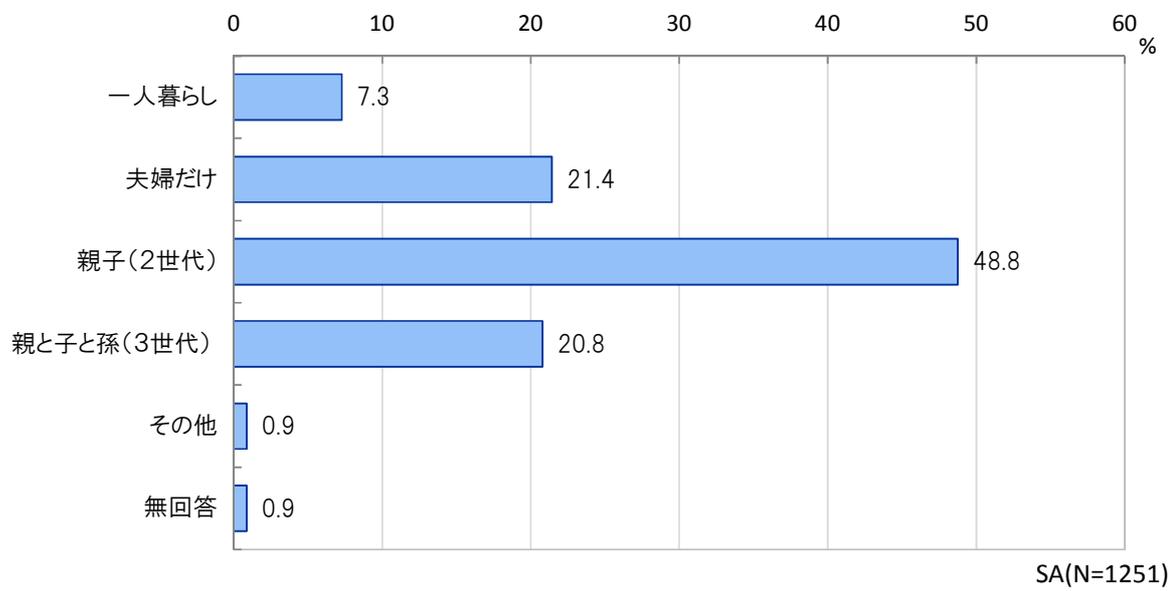
F 3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)



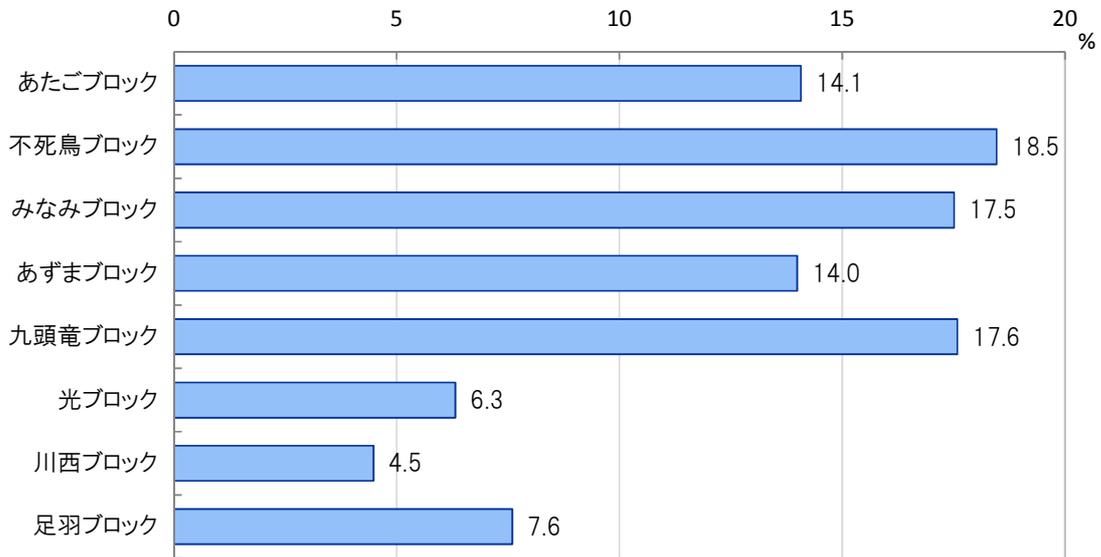
F 4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)



F 5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)



6 居住ブロック



SA(N=1251)

※各ブロックに含まれる地区名は、次のとおり



Ⅲ 調査結果

◆市のまちづくりについて

問1 「第六次福井市総合計画」の目標を達成するために福井市が取り組んでいる16の政策について、現在の満足度及び重要度をお聞きします。表中の〈政策のポイント〉を参考にいただき、政策全体としての満足度・重要度について、あなたのお考えにもっとも近い番号に○を付けてください。(それぞれ1つ)

政策	政策のポイント
1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいのある中心市街地をつくる ・良好な景観を形成する ・快適で秩序ある市街地形成を推進する ・北陸新幹線の整備をすすめる
2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な市道の整備・維持管理を行う ・安心と地域の潤いを創出する河川を整備・保全する ・市民の憩いの場としての公園を整備する
3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水処理施設の普及促進をはかる ・汚水処理施設の整備・維持管理を効率的に行う
4 環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・都市ガスの需要拡大をはかる ・都市ガスを安全・安定的に供給する ・都市ガス事業を健全に経営する
5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・水道水を安全・安定的に供給する ・簡易水道水を安全・安定的に供給する ・水道事業を健全に経営する
6 ともに責任を担う協働のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・役割と責任を担う協働のまちづくりをすすめる ・住民が主体となったまちづくりをすすめる ・地域コミュニティの活性化をはかる
7 誰もが尊重される住みよいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生の地域づくりを進める ・男女共同参画社会をつくる ・安全で安心な消費生活をおくることができるようにする
8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や都市環境を守り育て、将来に伝える ・地球規模の環境問題に対応し、持続可能な社会づくりをすすめる
9 すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子どもを産み育てられる環境をつくる ・お互いが支えあう地域づくりをすすめる ・充実した介護の体制づくりをすすめる
10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・消防体制を整備する ・災害時の被害を軽減する ・救命率の向上をはかる ・火災等から人命と財産を守る
11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の商工業を振興する ・市民が働くことを応援する
12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・福井らしさで観光客を増やす ・市民が福井の魅力に触れる機会を増やす ・様々なツールによる情報発信とイメージアップをはかる
13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業を振興する ・農山漁村の生活環境を整備する ・地元農林水産物の利活用を推進する
14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの場としての学校環境を整備する ・学校教育を充実する ・子どもの健康増進をはかる ・子どもの健全な育成をはかる
15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生涯学習を支援する ・市民の生涯スポーツを支援する
16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の誇りとなる文化を振興する ・文化芸術活動の担い手の育成を支援する ・文化芸術活動の交流と発信を促進する ・歴史や文化遺産を保存継承する

満足度と不満度について

満足度（「満足」と「ほぼ満足」の合計）は、「5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる」（83.5%）、「3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる」（75.3%）、「10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる」（66.6%）が高くなっている（カッコ内は満足度）。

また、不満度（「不満」と「やや不満」の合計）は、「1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる」（64.7%）、「12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる」（61.9%）、「11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる」（49.4%）が高くなっている（カッコ内は不満度）。

	満足度	不満度
1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる	29.4	64.7
2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる	48.0	46.3
3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる	75.3	18.8
4 環境にやさしい都市ガスを 安全に安定供給するまちをつくる	57.9	31.7
5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる	83.5	11.6
6 とともに責任を担う協働のまちをつくる	51.0	41.7
7 誰もが尊重される住みよいまちをつくる	52.4	41.0
8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる	58.5	34.3
9 すべての市民が健康で生きがいをもち 長生きできるまちをつくる	51.2	43.4
10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる	66.6	27.6
11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる	43.5	49.4
12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる	31.3	61.9
13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる	48.9	43.4
14 健やかで自立心をもった 感性豊かな子どもを育むまちをつくる	66.0	27.5
15 市民が自主的に生涯学習や 生涯スポーツを楽しむまちをつくる	62.3	30.4
16 歴史や文化を活かした個性的で 魅力あるまちをつくる	57.6	35.4

「重要である」と「重要でない」について

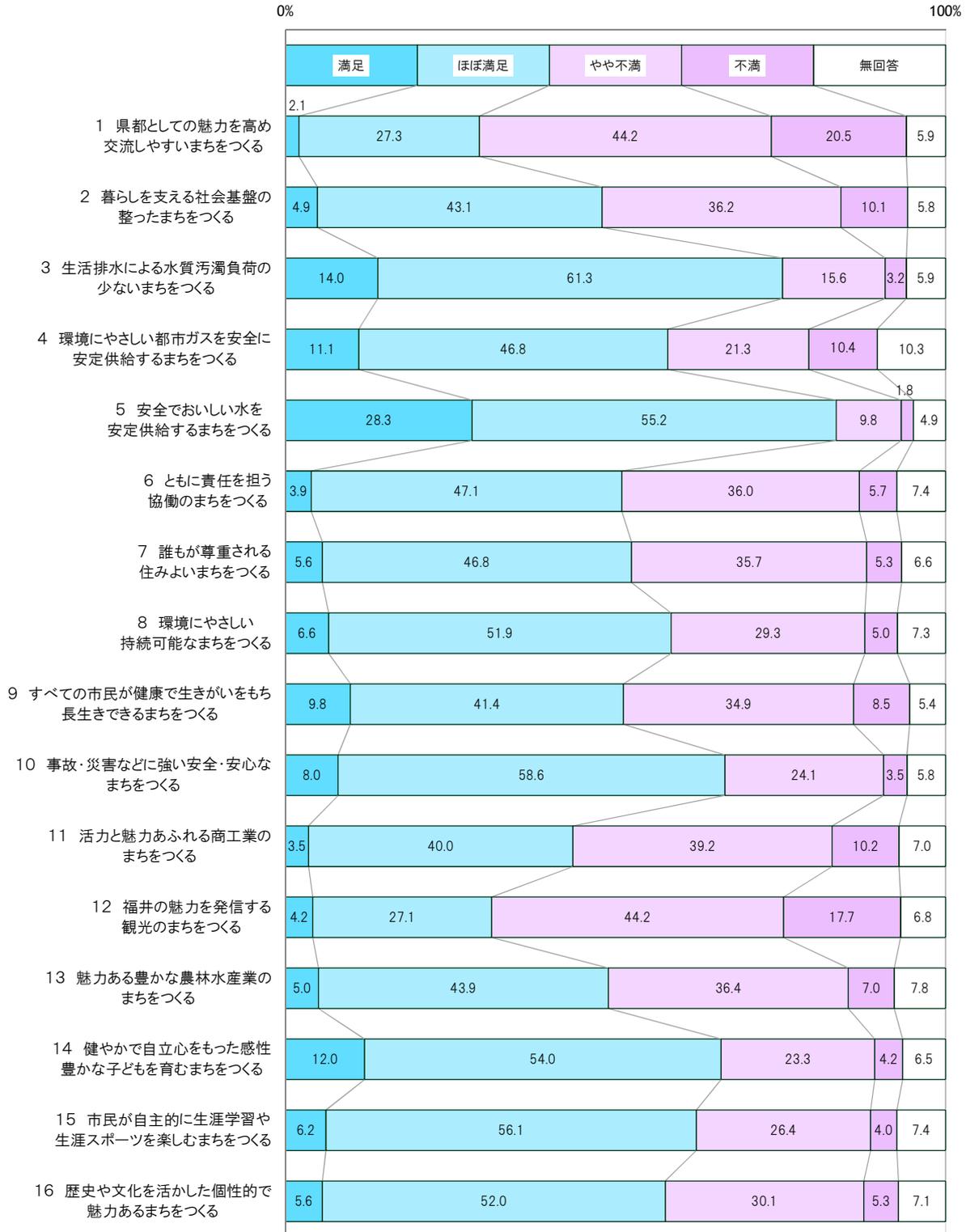
「重要である」（「重要」と「やや重要」の合計）は、「9 すべての市民が健康で生きがいを持ち長生きできるまちをつくる」（91.0%）、「10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる」（90.8%）、「14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる」（90.1%）が高くなっている（カッコ内は「重要である」の割合）。

また「重要でない」（「あまり重要でない」と「重要でない」の合計）は、「4 環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる」（34.3%）、「15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる」（22.3%）、「16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる」（18.8%）が高くなっている（カッコ内は「重要でない」の割合）。

	「重要である」	「重要でない」
1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる	78.2	14.7
2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる	85.6	7.2
3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる	88.5	4.5
4 環境にやさしい都市ガスを 安全に安定供給するまちをつくる	55.7	34.3
5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる	89.4	3.8
6 とともに責任を担う協働のまちをつくる	75.2	16.9
7 誰もが尊重される住みよいまちをつくる	79.7	12.9
8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる	84.3	8.0
9 すべての市民が健康で生きがいを持ち 長生きできるまちをつくる	91.0	2.6
10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる	90.8	2.6
11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる	84.7	7.8
12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる	79.7	13.4
13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる	77.5	14.5
14 健やかで自立心をもった 感性豊かな子どもを育むまちをつくる	90.1	3.1
15 市民が自主的に生涯学習や 生涯スポーツを楽しむまちをつくる	70.0	22.3
16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる	73.7	18.8

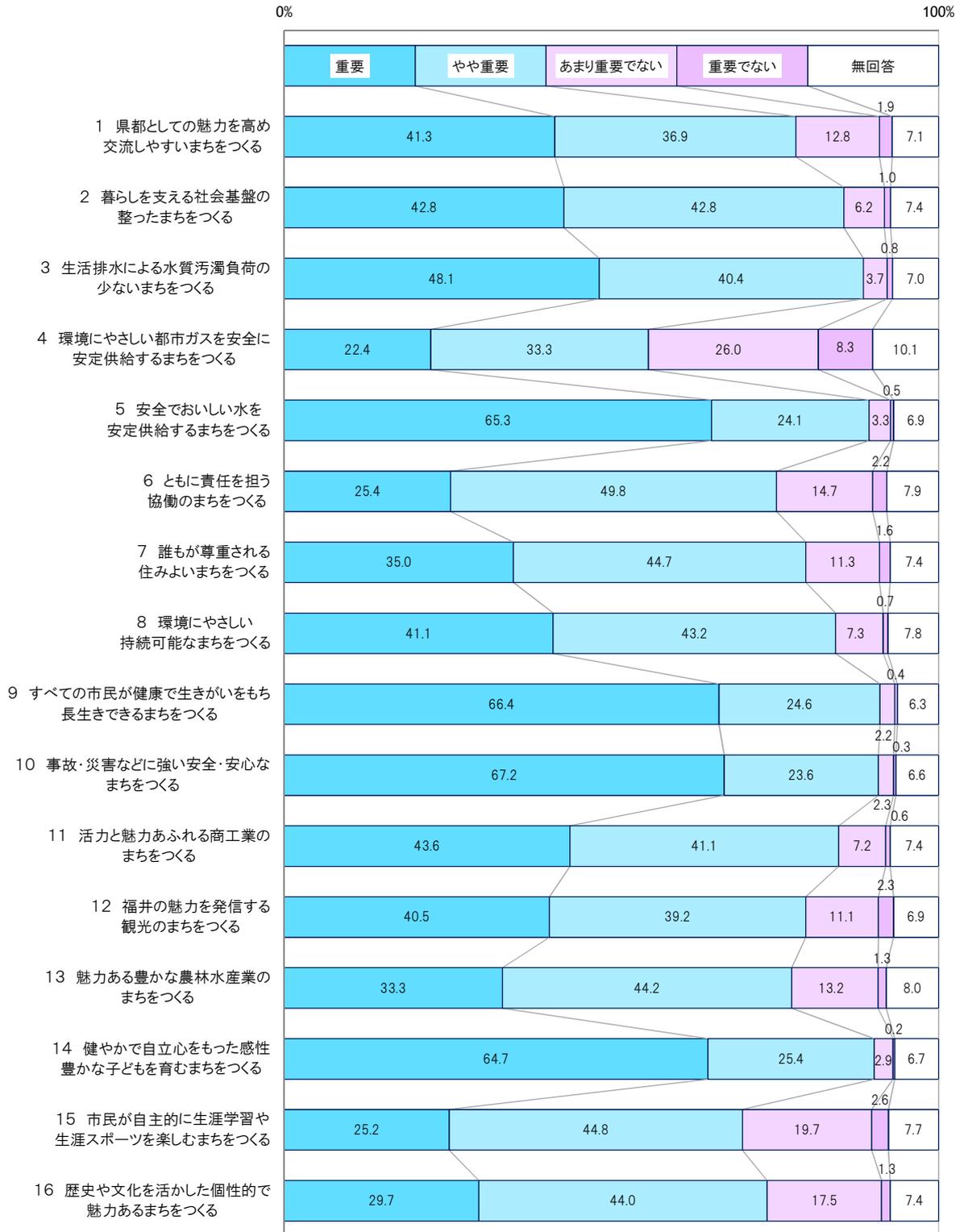
全政策の回答割合

満足度



SA(N=1251)

重要度



SA(N=1251)

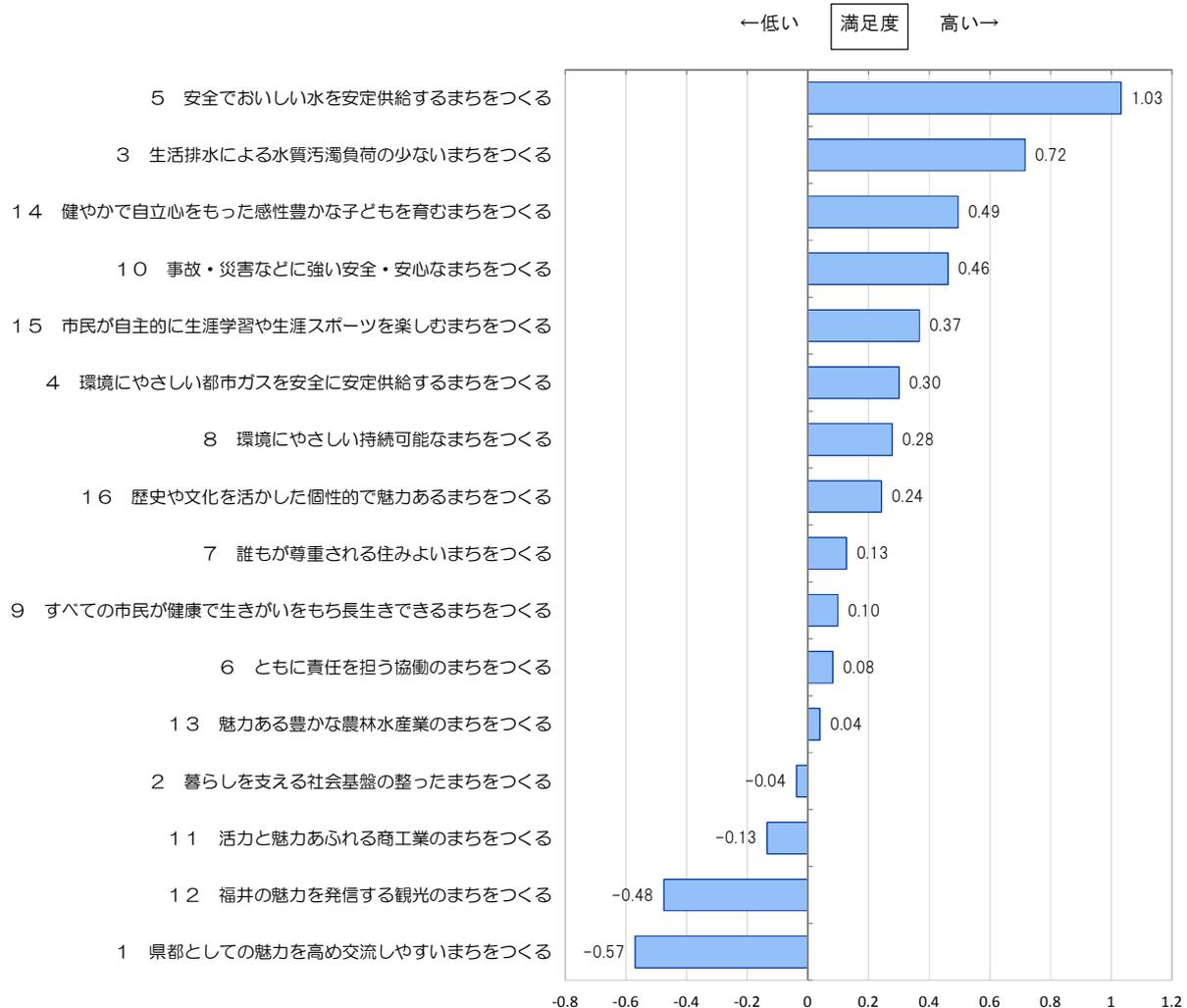
満足度の評価点

満足度を総合的に評価するため、以下のように満足度に点数をつけ、項目ごとに平均値を算出した結果が次のグラフである。

満足：2点、ほぼ満足：1点、やや不満：-1点、不満：-2点

満足度評価点をみると、「5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる」(1.03)、「3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる」(0.72)、「14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる」(0.49) の評価点が高くなっている。

また、「1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる」(-0.57)、「12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる」(-0.48)、「11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる」(-0.13) の評価点が低くなっている(カッコ内は評価点。評価点の順位は、「満足度」の順位とは必ずしも一致しない)。



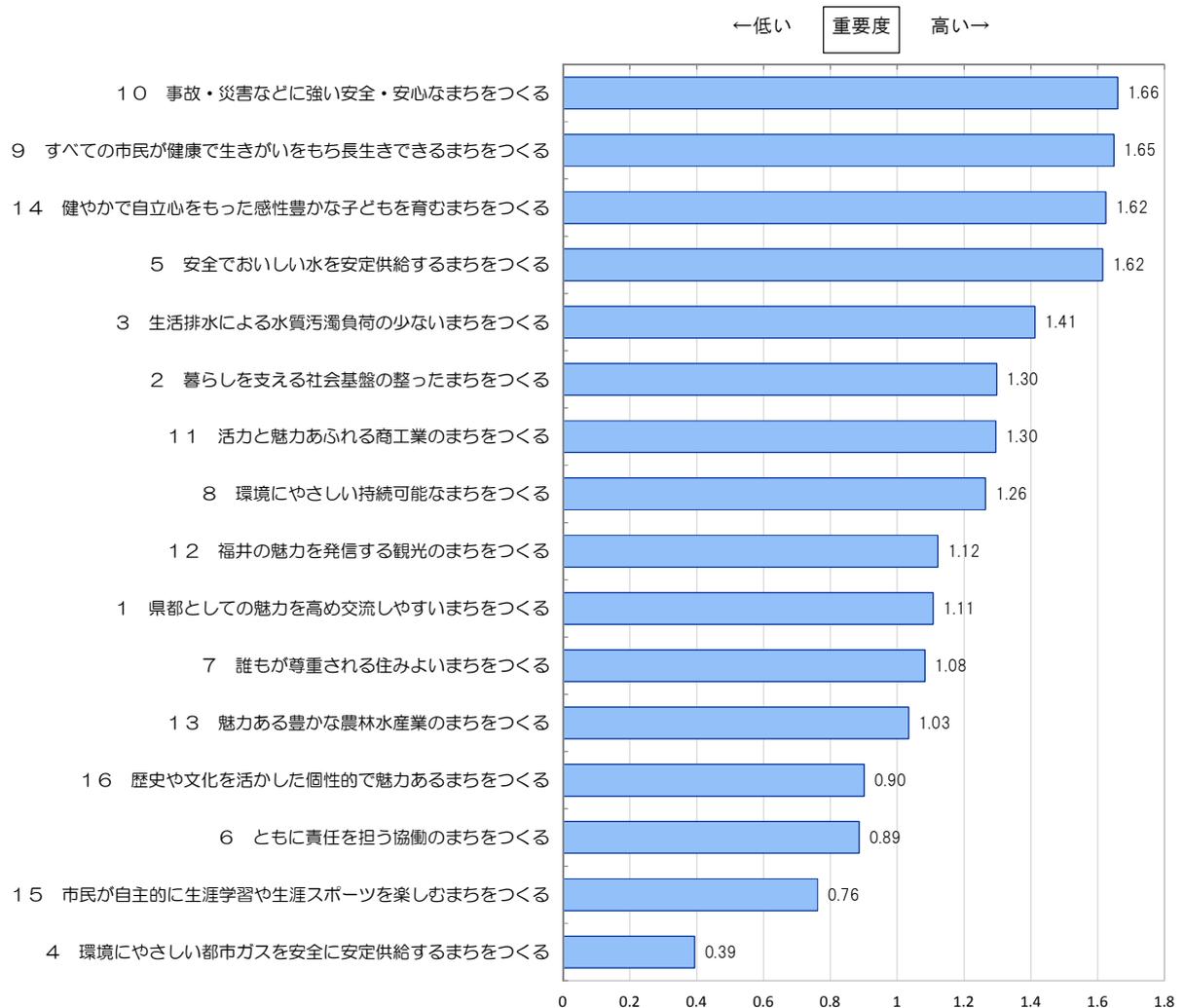
重要度の評価点

重要度を総合的に評価するため、以下のように重要度に点数をつけ、項目ごとに平均値を算出した結果が次のグラフである。

重要：2点、やや重要：1点、あまり重要でない：-1点、重要でない：-2点

重要度評価点をみると、「10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる」(1.66)、「9 すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる」(1.65)、「14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる」(1.62)の評価点が高くなっている。

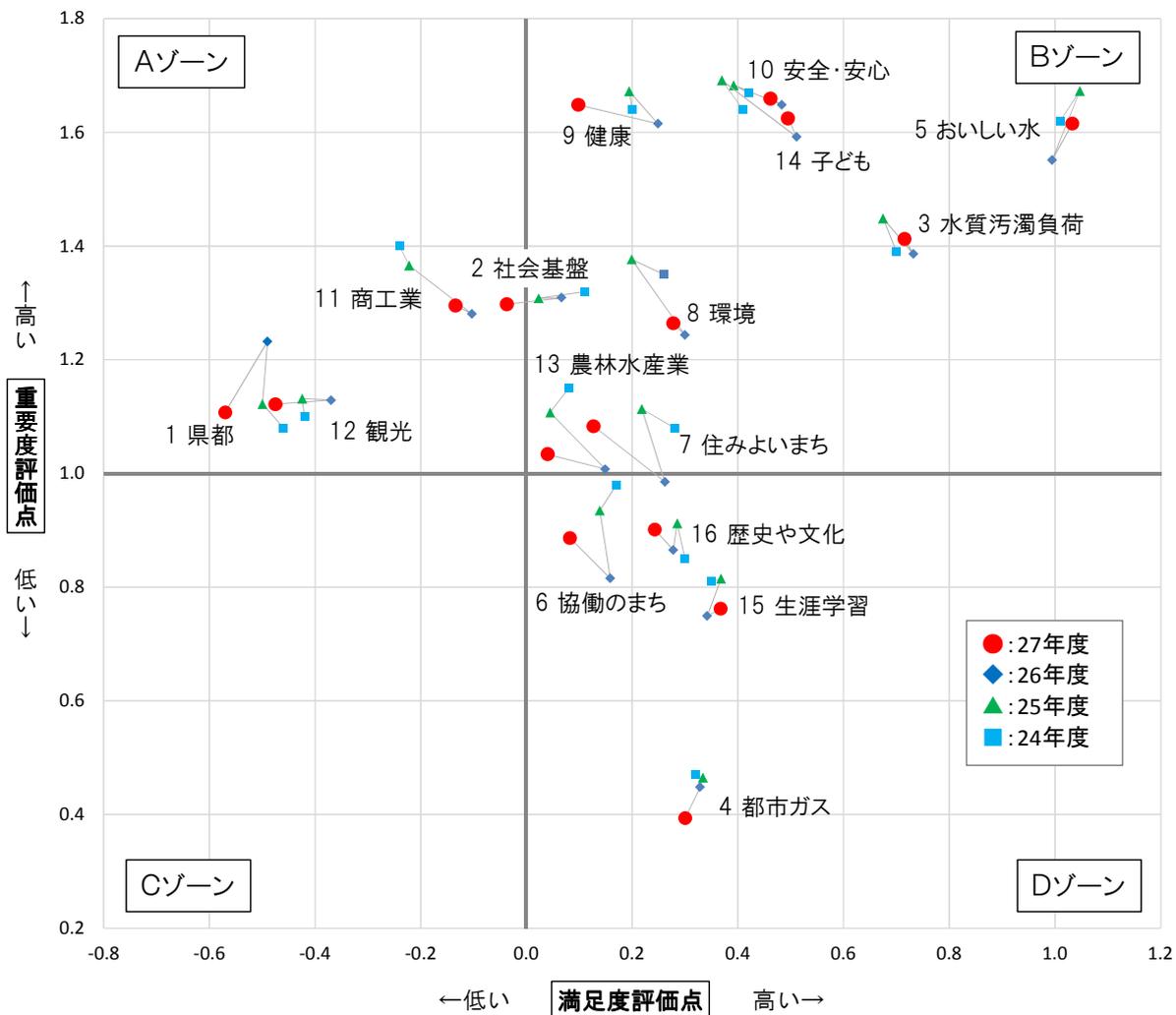
また、「4 環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる」(0.39)、「15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる」(0.76)、「6 ともに責任を担う協働のまちをつくる」(0.89)の評価点が低くなっている(カッコ内は評価点。評価点の順位は、「重要である」の順位とは必ずしも一致しない。)



満足度評価点と重要度評価点の関係

満足度評価点を横軸に、重要度評価点を縦軸にとり、各政策の位置を表したのが次のグラフである。2つの評価点の関係によって各政策を相対的に表すために、グラフ中、太字で示された縦横の中心線でAからDの4つのゾーンに分け、各政策を分類した。しかしながら、中心線に近くなるほど隣接するゾーンの要素も含まれてくることになるため、これをもって今後の政策の方向性を明確に分類するものではない。

満足度評価点と重要度評価点の相関図（24年度から4カ年の比較）



全体では、満足度評価点は16政策のうち12がプラスとなっており、今回の調査においては、市の政策についておおむね満足の評価が得られたといえる。

重要度評価点は、全ての政策がプラスとなっているが、「安全・安心」、「福祉」といった政策の評価点が特に高くなっている。

満足度評価点と重要度評価点の関係を見ると、平成24年度の調査開始から、一貫して各政策のゾーン位置に大きな変化はみられない中、昨年度調査と比べて、今年度は「2 社会基盤」がAゾーンに、「7 住みよいまち」がBゾーンにそれぞれ移動した。

Aゾーンに位置する政策は、重要度は高いものの、満足度は他の政策に比べて低いとされたものである。ここでは、「県都」、「観光」、「商工業」、「社会基盤」といった政策が位置しており、特に今年度調査では「2 社会基盤」がBゾーンから移動している。

Bゾーンに位置する政策は、満足度と重要度がともに高い政策である。全体の半数にあたる8政策がこのゾーンに位置しており、今年度調査では「7 住みよいまち」がDゾーンから移動した。特に「安全・安心」、「福祉」、「教育」、「上・下水道」といった市民生活に密着した政策の重要度評価点が高く、平成24年度調査より一貫して高い評価点を保っている。今後も継続的に政策の改善を図り、更に満足度を高めていく必要がある。

Cゾーンに位置する政策は、満足度・重要度ともに低いゾーンであるが、このゾーンに位置する政策はない。

Dゾーンに位置する政策は、重要度は他の政策に比べて低いが、満足度は高いとされたものであり、「文化」、「生涯学習」、「協働」、「都市ガス」といった政策が位置している。これらは一定の満足度を得られているため、今後も着実に政策を推進するとともに、その重要性についても認知度を高めていく必要がある。

＜参考＞ 第六次福井市総合計画 体系図

将来都市像

基本目標

政策

自然・活気・誇りにみちた
人が輝く
かえりたくなるまち
ふくい

[基本目標1]

みんなが快適に暮らすまち

政策1

県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる

政策2

暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる

政策3

生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる

政策4

環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる

政策5

安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる

政策6

ともに責任を担う協働のまちをつくる

政策7

誰もが尊重される住みよいまちをつくる

政策8

環境にやさしい持続可能なまちをつくる

政策9

すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる

政策10

事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる

政策11

活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる

政策12

福井の魅力を発信する観光のまちをつくる

政策13

魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる

政策14

健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる

政策15

市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる

政策16

歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる

[基本目標2]

みんなで作る住みよいまち

[基本目標3]

みんなが生き生きと働くまち

[基本目標4]

みんなが学び成長するまち

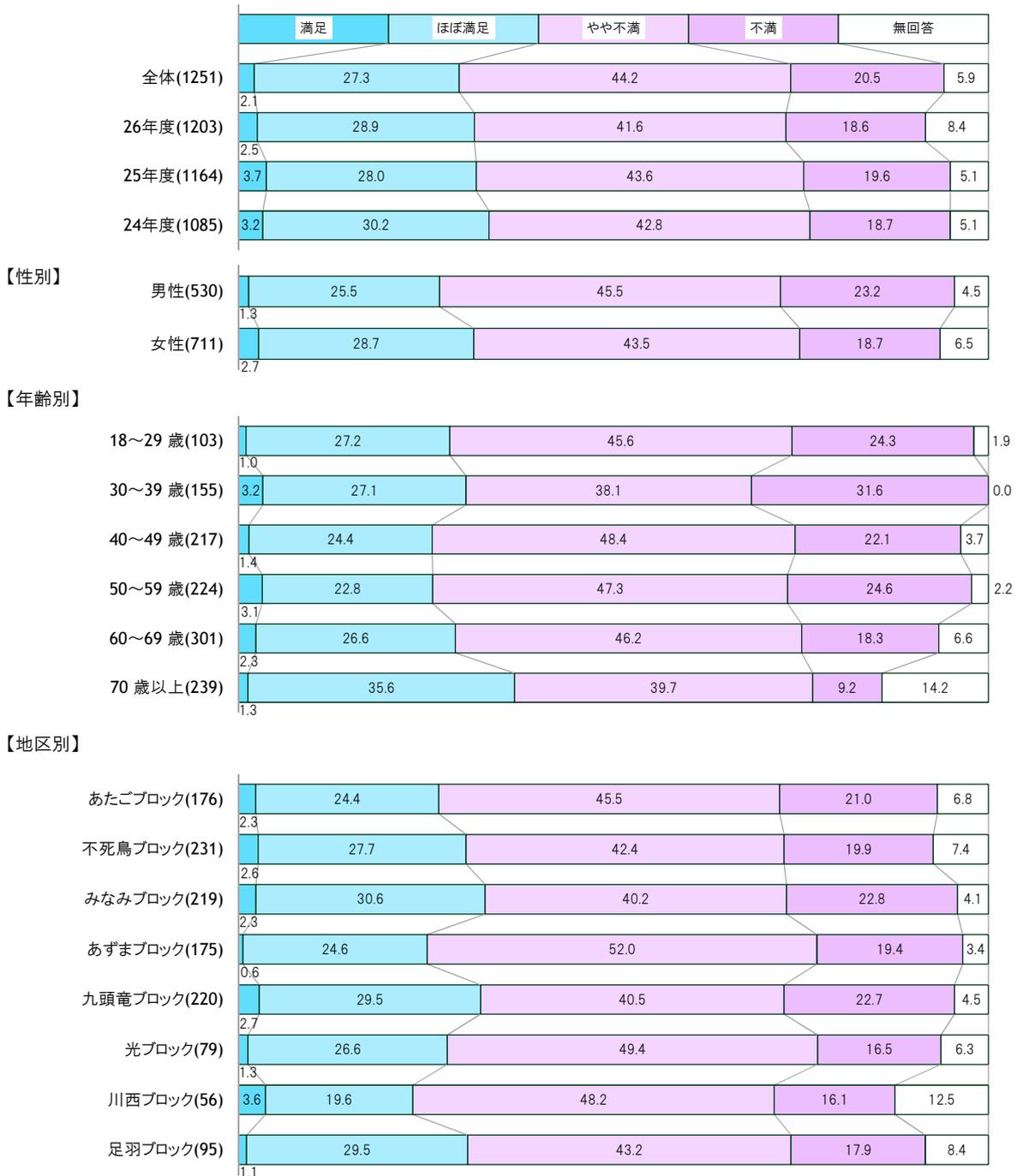
政策の満足度・重要度について

1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる

満足度

「男性」の不満度が高い

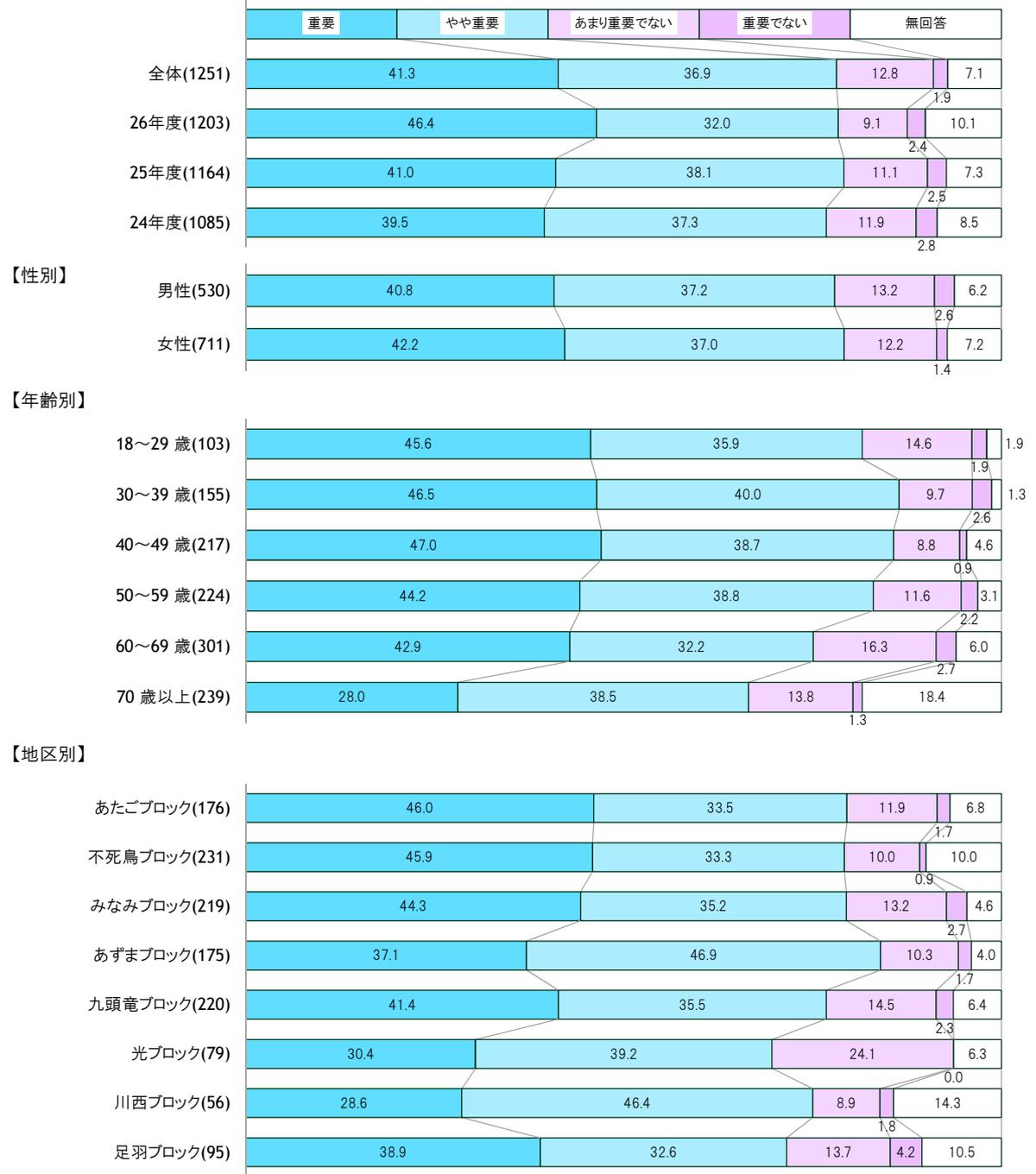
満足度は29.4%、不満度は64.7%と、不満度が満足度を35.3ポイント上回っている。平成26年度調査（以下「26年度」という。）（60.2%）と比べて、不満度は4.5ポイント高くなっている。性別では、男性（68.7%）の方が女性（62.2%）より不満度が6.5ポイント高い。年齢別みると、50～59歳（71.9%）と40～49歳（70.5%）の不満度が高い。地区別では、あずまブロック（71.4%）の不満度が最も高い。



重要度

「若い年代」の重要度が高い

「重要である」は78.2%、「重要でない」は14.7%と、「重要である」が「重要でない」を63.5ポイント上回っている。26年度（11.5%）と比べて、「重要でない」は3.2ポイント高くなっている。性別では、「重要である」「重要でない」ともに差は見られない。年齢別にみると、「重要である」は30～39歳（86.5%）が最も高く、30歳以上において若い年代ほど重要度が高い。地区別では、「重要である」はあずまブロック（84.0%）が最も高い。

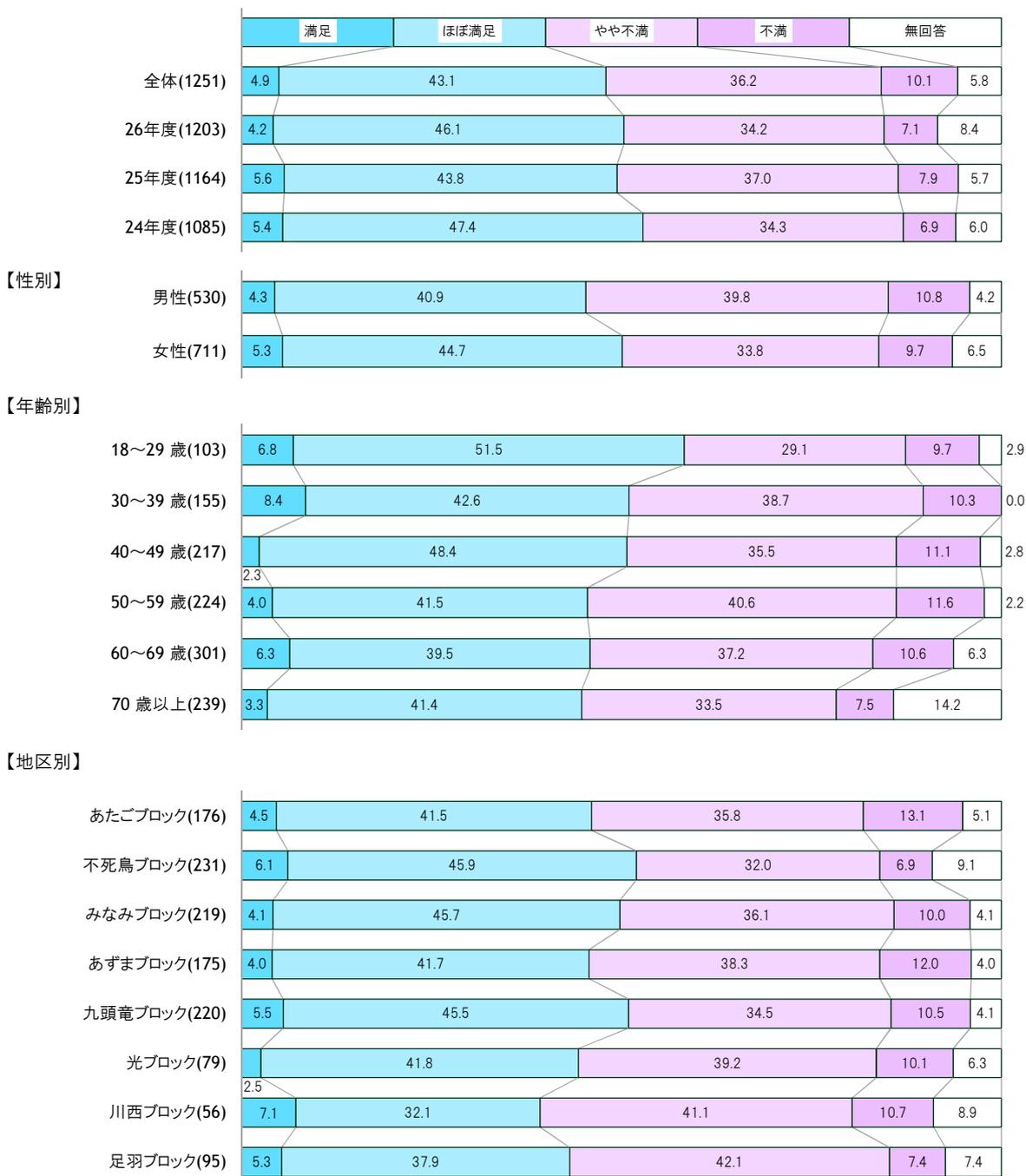


2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる

満足度

「男性」の不満足度が高い

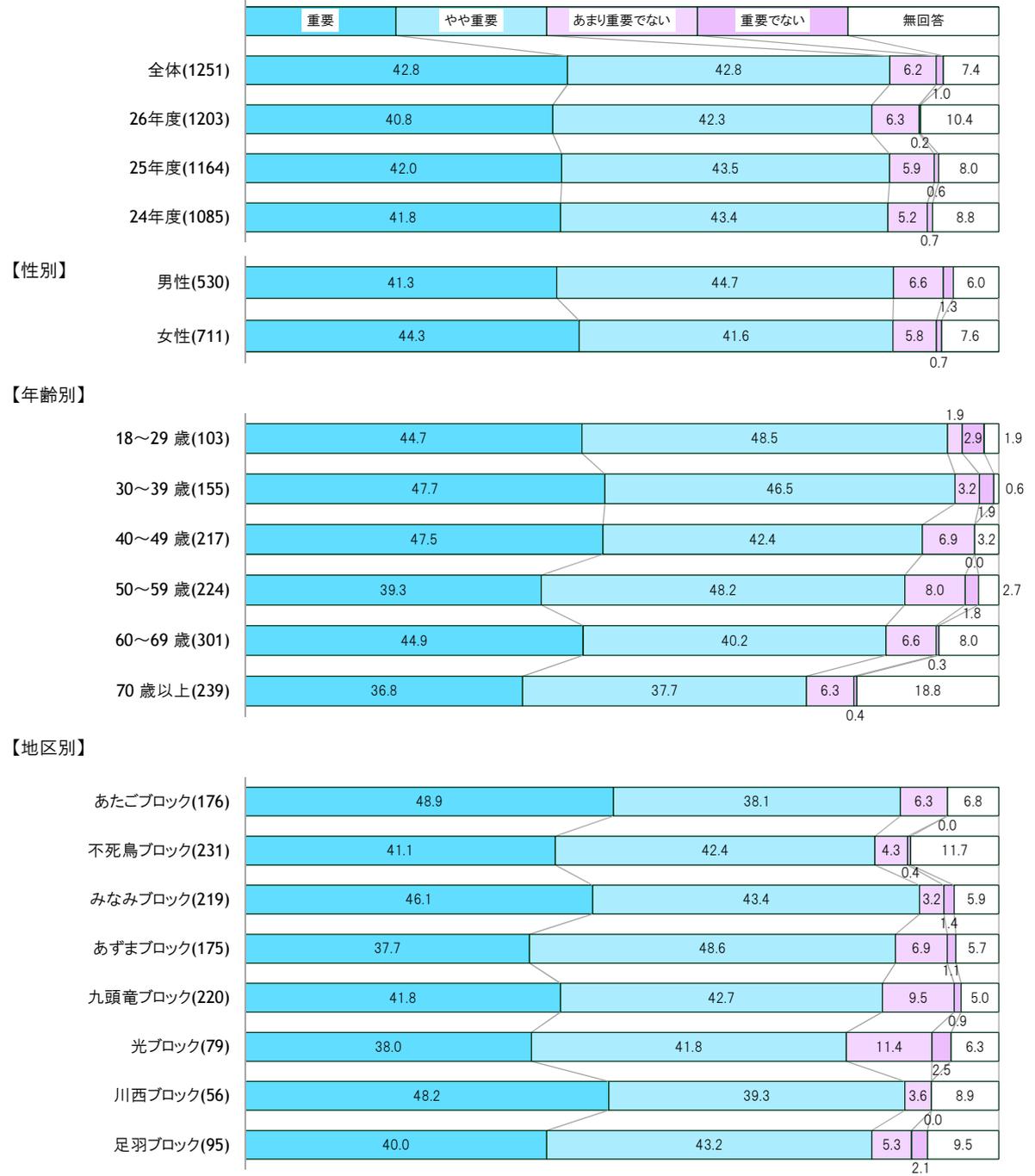
満足度は48.0%、不満足度は46.3%と、満足度が不満足度を1.7ポイント上回っている。26年度(41.3%)と比べて不満足度は5.0ポイント高くなっている。性別では、男性(50.6%)の方が女性(43.5%)より不満足度が7.1ポイント高い。年齢別にみると、若い年代ほど満足度が高くなっている。地区別では、不死鳥(52.0%)、九頭竜ブロック(51.0%)の満足度が高い。



重要度

「若い世代」ほど重要度が高い

「重要である」は85.6%、「重要でない」は7.2%と、「重要である」が「重要でない」を78.4ポイント上回っている。26年度との差は見られない。性別では、「重要である」「重要でない」ともに差は見られない。年齢別にみると、「重要である」は30～39歳（94.2%）が最も高く、若い世代ほどその割合が高くなっている。地区別では、「重要である」はみなみブロック（89.5%）が最も高く、光ブロック（79.8%）が最も低い。

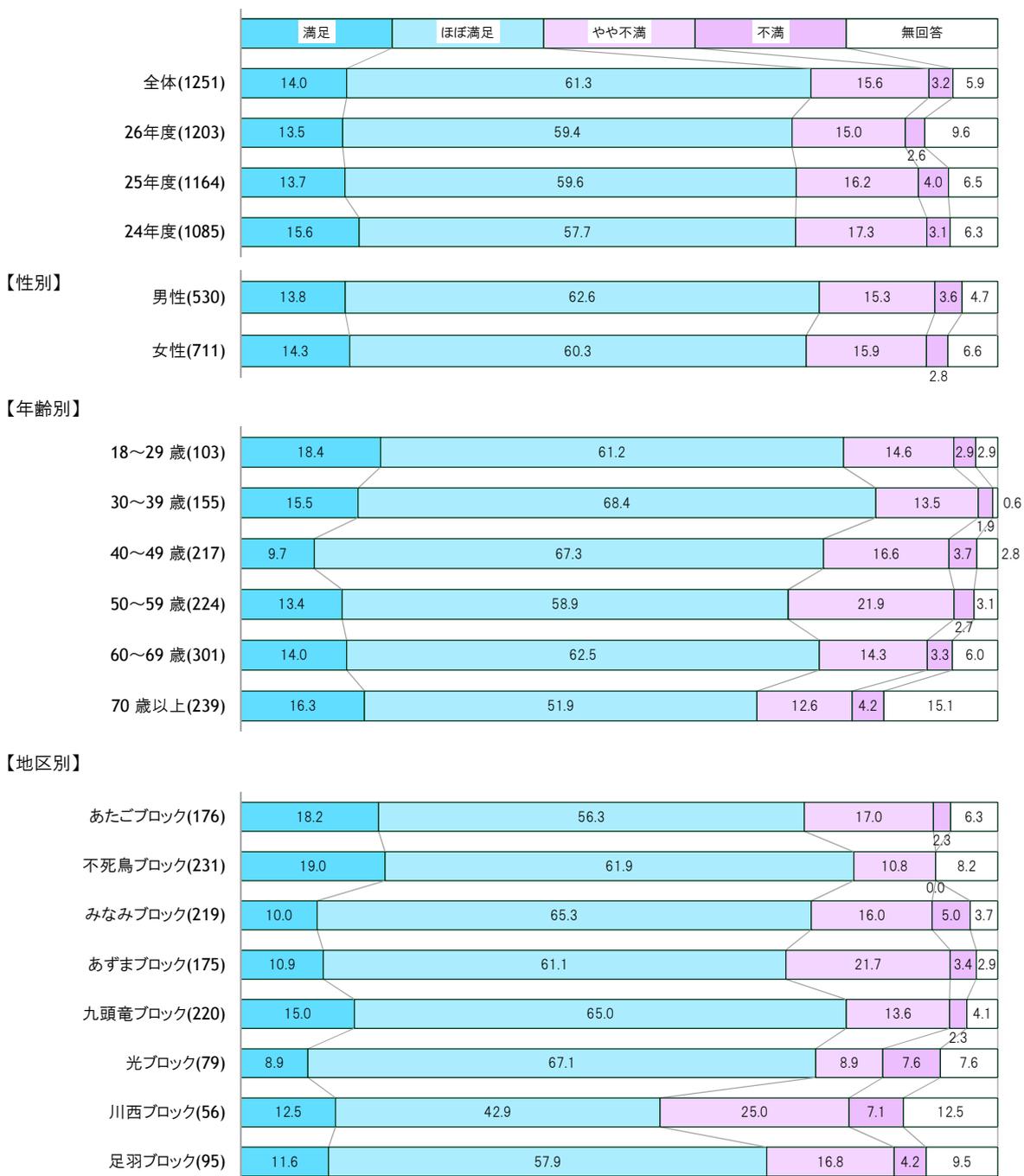


3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる

満足度

「不死鳥ブロック」の満足度が高い

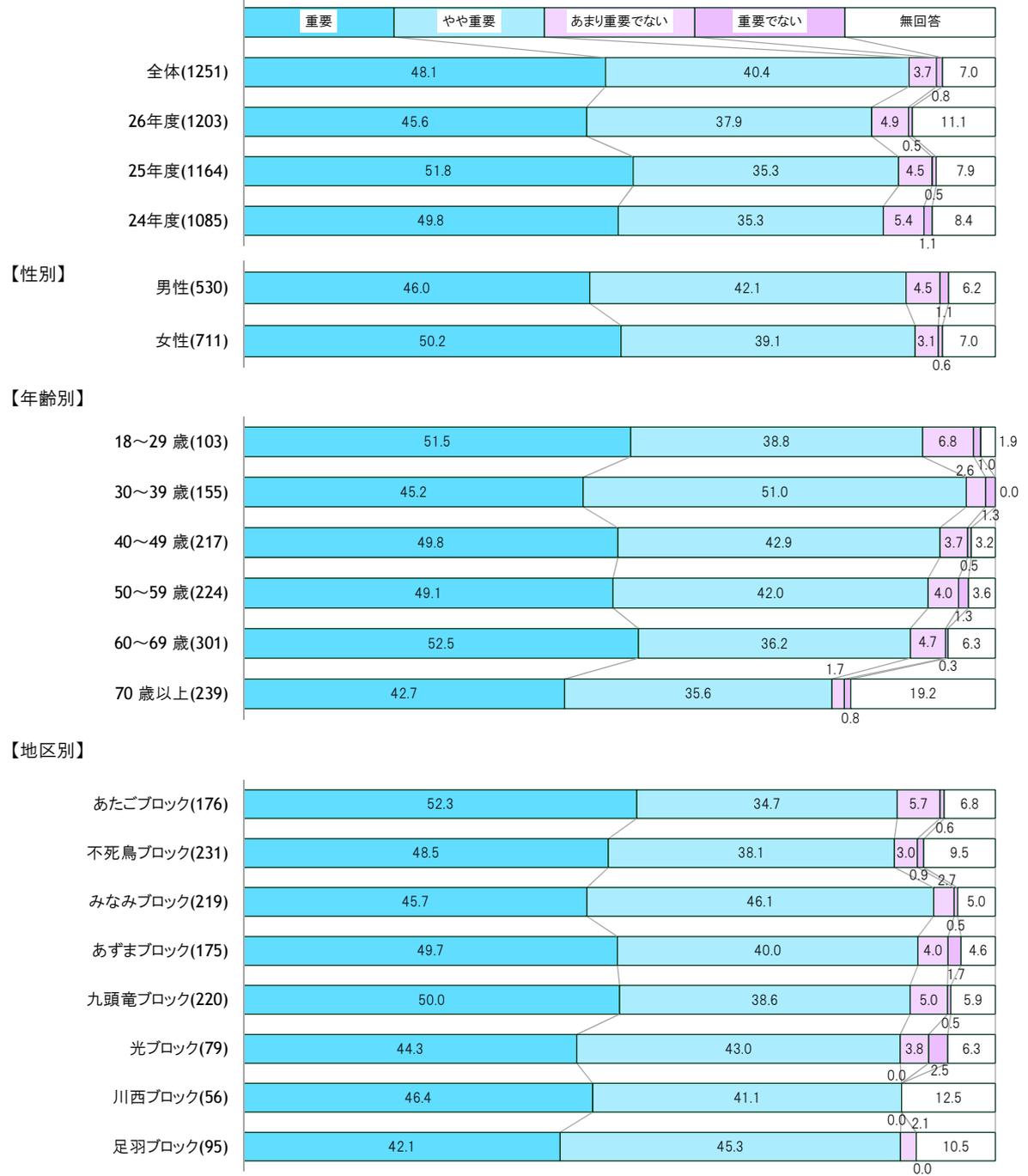
満足度は75.3%、不満度は18.8%と、満足度が不満度を56.5ポイント上回っている。26年度との差は見られない。性別では、満足度・不満度ともに差は見られない。年齢別にみると、30～39歳の満足度(83.9%)が最も高い。地区別では、満足度は不死鳥ブロック(80.9%)が高く、川西ブロック(55.4%)が最も低い。



重要度

「若い世代」ほど重要度が高い

「重要である」は88.5%、「重要でない」は4.5%と、「重要である」が「重要でない」を84.0ポイント上回っている。26年度（83.5%）と比べて、「重要である」が5.0ポイント高くなっている。性別では、「重要である」「重要でない」ともに差は見られない。年齢別にみると、「重要である」は30～39歳（96.2%）が最も高く、若い世代ほどその割合が高くなっている。地区別では、「重要である」はみなみブロック（91.8%）が最も高い。

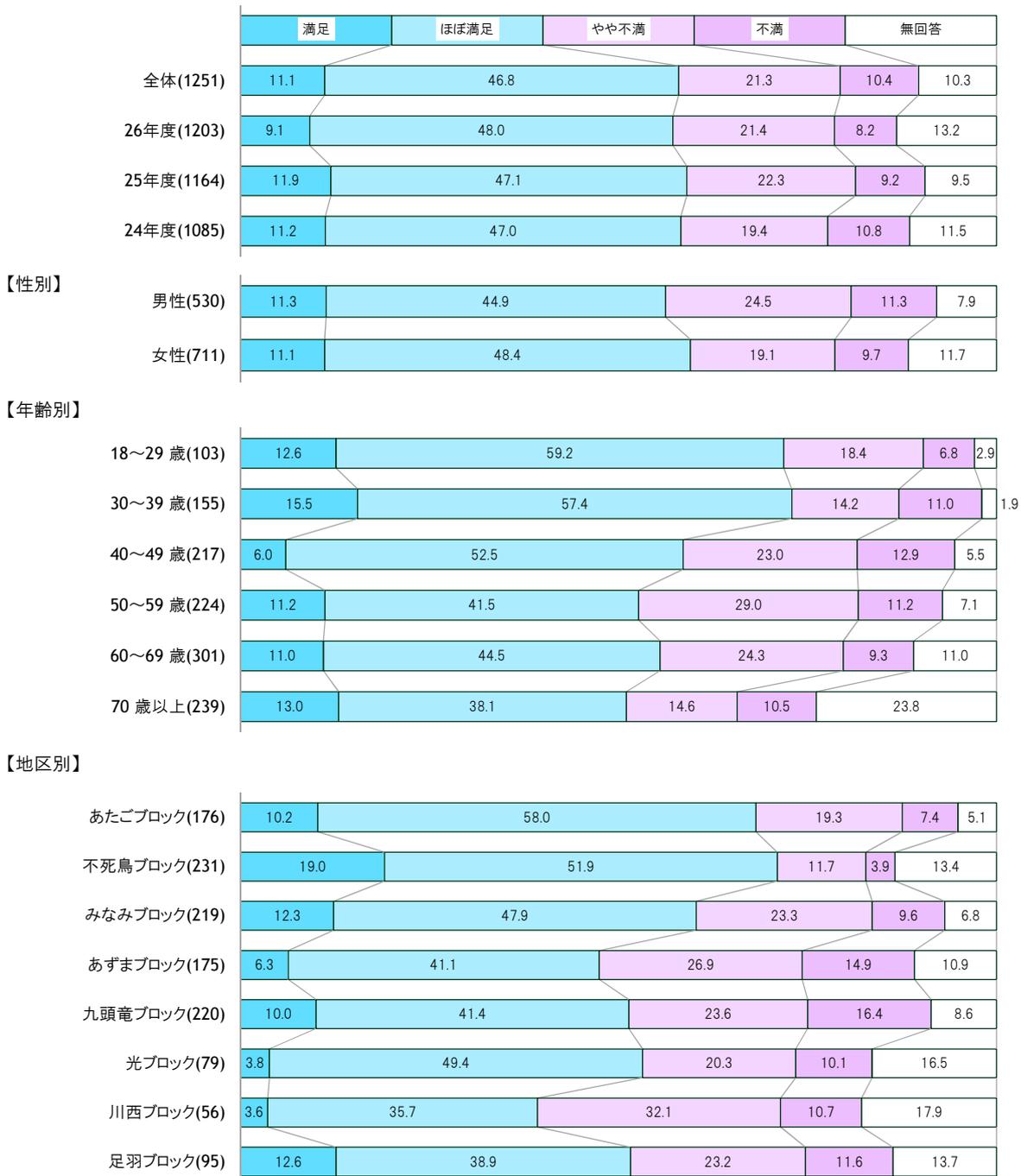


4 環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる

満足度

「若い世代」と「あたごブロック」「不死鳥ブロック」の満足度が高い

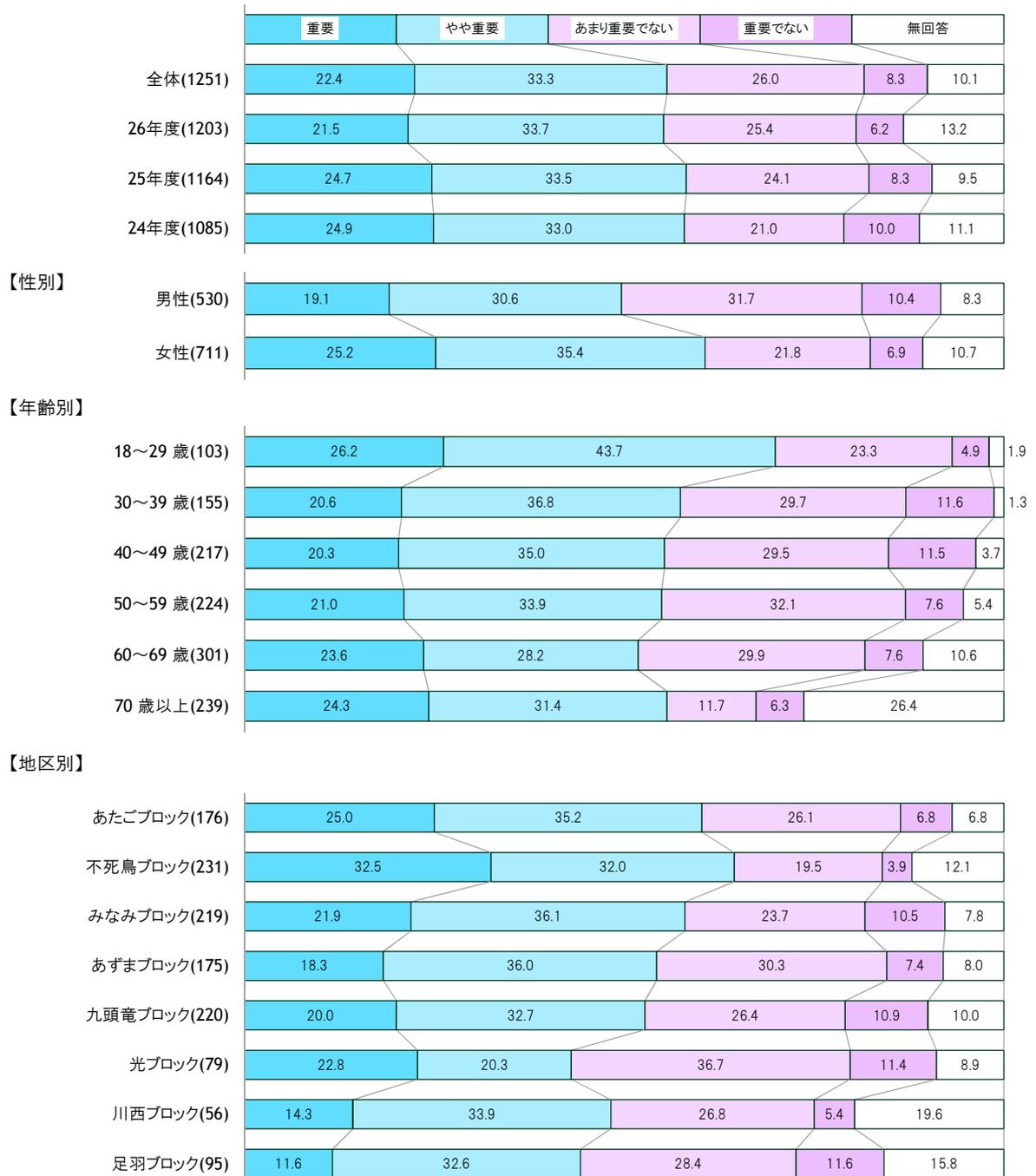
満足度は57.9%、不満度は31.7%と、満足度が不満度を26.2ポイント上回っている。26年度との差は見られない。性別では、女性(59.5%)の方が男性(56.2%)より満足度は3.3ポイント高い。年齢別にみると、30～39歳(72.9%)、18～29歳(71.8%)の満足度が高く、若い世代ほどその割合が高くなっている。地区別では、満足度は不死鳥(70.9%)、あたごブロック(68.2%)が高く、川西ブロック(39.3%)が最も低い。



重要度

「女性」と「18～29歳」と「不死鳥ブロック」の重要度が高い

「重要である」は55.7%、「重要でない」は34.3%と、「重要である」が「重要でない」を21.4ポイント上回っている。26年度との差は見られない。性別では、「重要である」は女性（60.6%）が男性（49.7%）を10.9ポイント上回っている。年齢別にみると、「重要である」は18～29歳（69.9%）が最も高く、60～69歳（51.8%）が最も低い。地区別では、「重要である」は不死鳥ブロック（64.5%）が最も高く、光ブロック（43.1%）が最も低い。

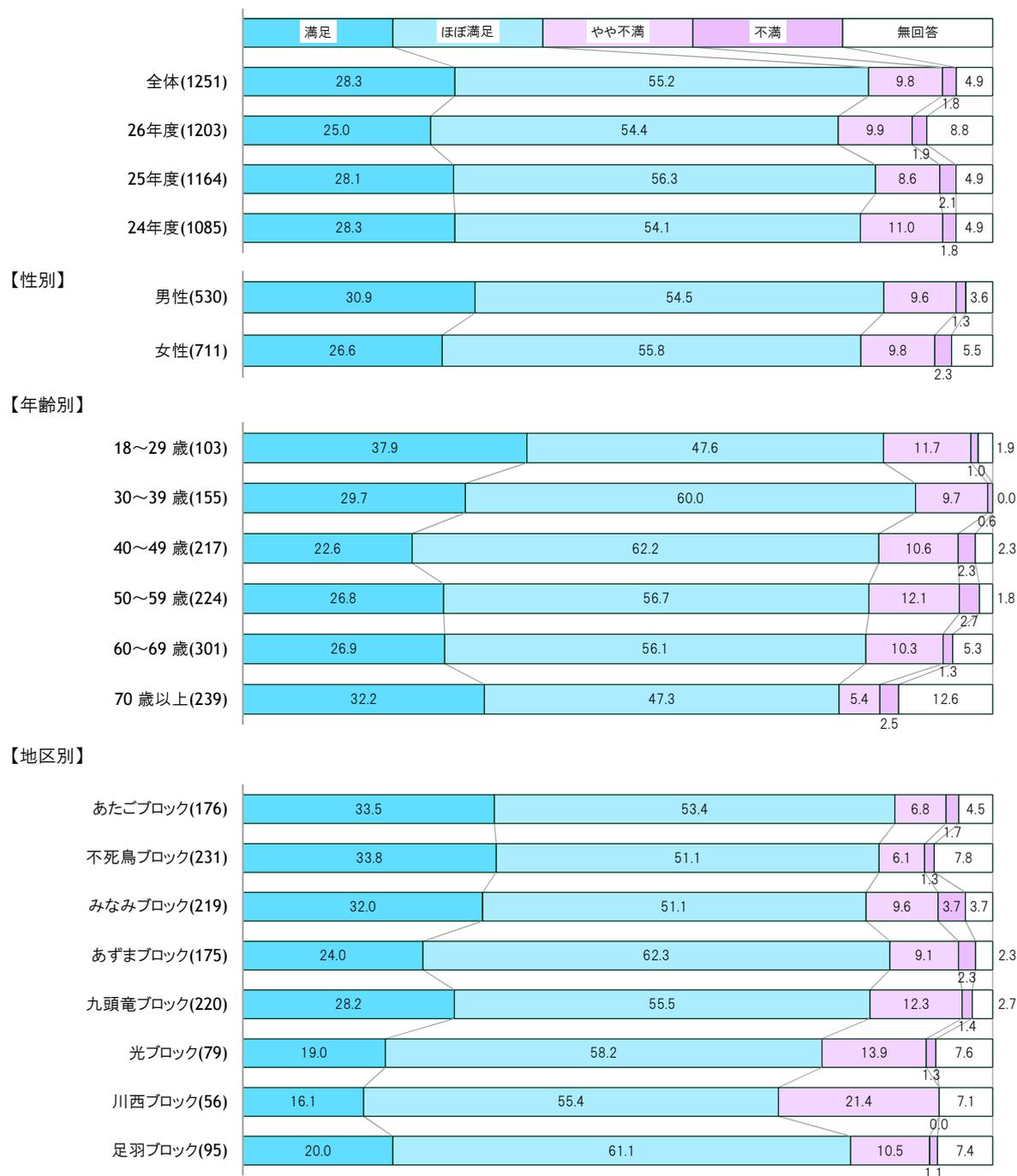


5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる

満足度

全体の8割が「満足」「ほぼ満足」を回答

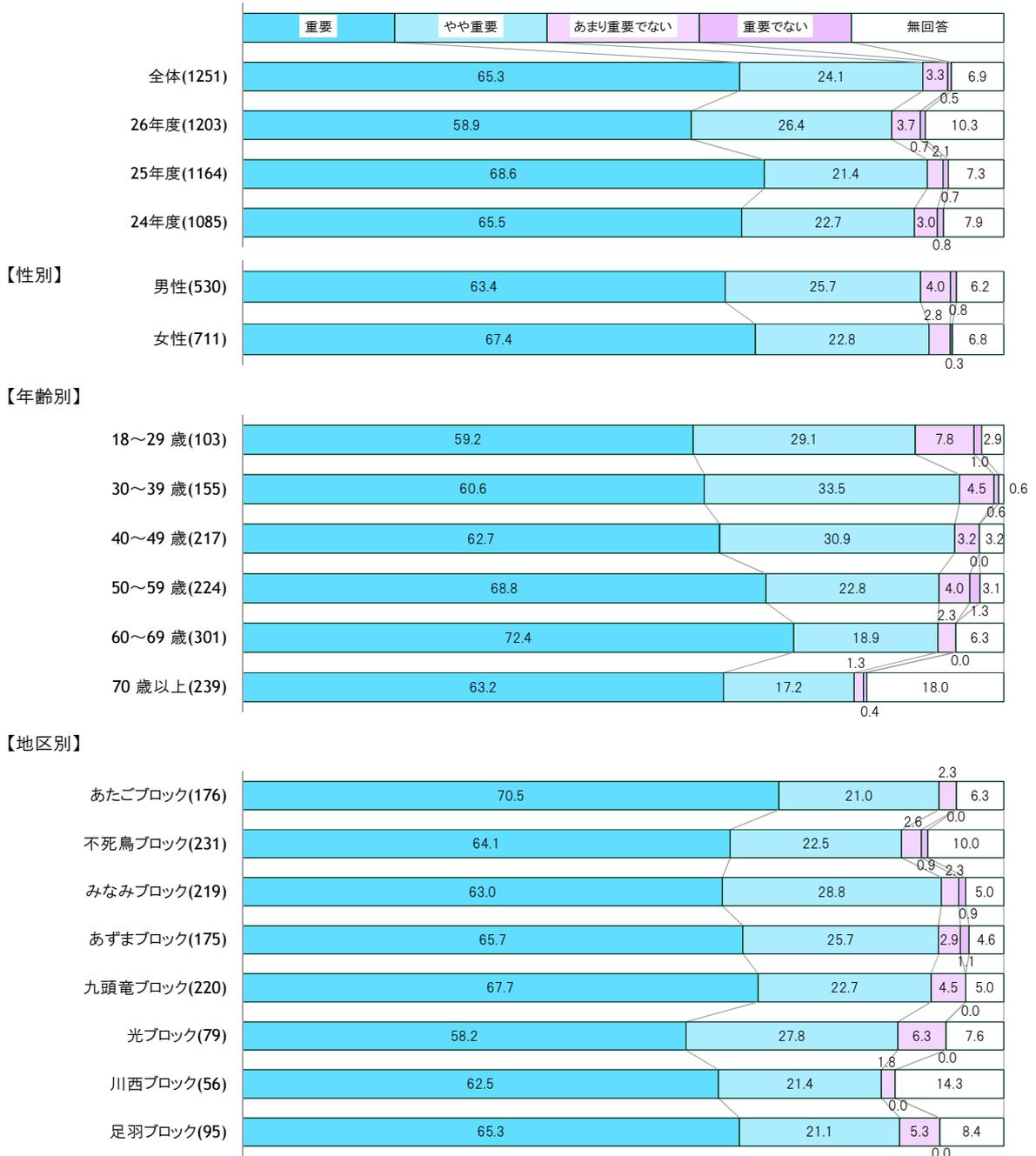
満足度は83.5%、不満度は11.6%と、満足度が不満度を71.9ポイント上回っている。26年度(79.4%)と比べて満足度が4.1ポイント高くなっている。性別では、満足度・不満度ともに差は見られない。年齢別にみると、30～39歳(89.7%)の満足度が最も高い。地区別では、満足度はあたご(86.9%)、あずまブロック(86.3%)が高く、川西ブロック(71.5%)が最も低い。



重要度

「年齢の高い世代」ほど「重要」の割合が高い

「重要である」は89.4%、「重要でない」は3.8%と、「重要である」が「重要でない」を85.6ポイント上回っている。26年度（85.3%）と比べて「重要である」は4.1ポイント高くなっている。性別では、「重要である」「重要でない」ともに差は見られない。年齢別にみると、「重要である」は30～39歳（94.1%）が最も高いが、「重要」だけみると、年齢の高い世代ほどその割合が高くなっている。地区別では、「重要である」はみなみ（91.8%）、あたご（91.5%）、あずまブロック（91.4%）が高い。

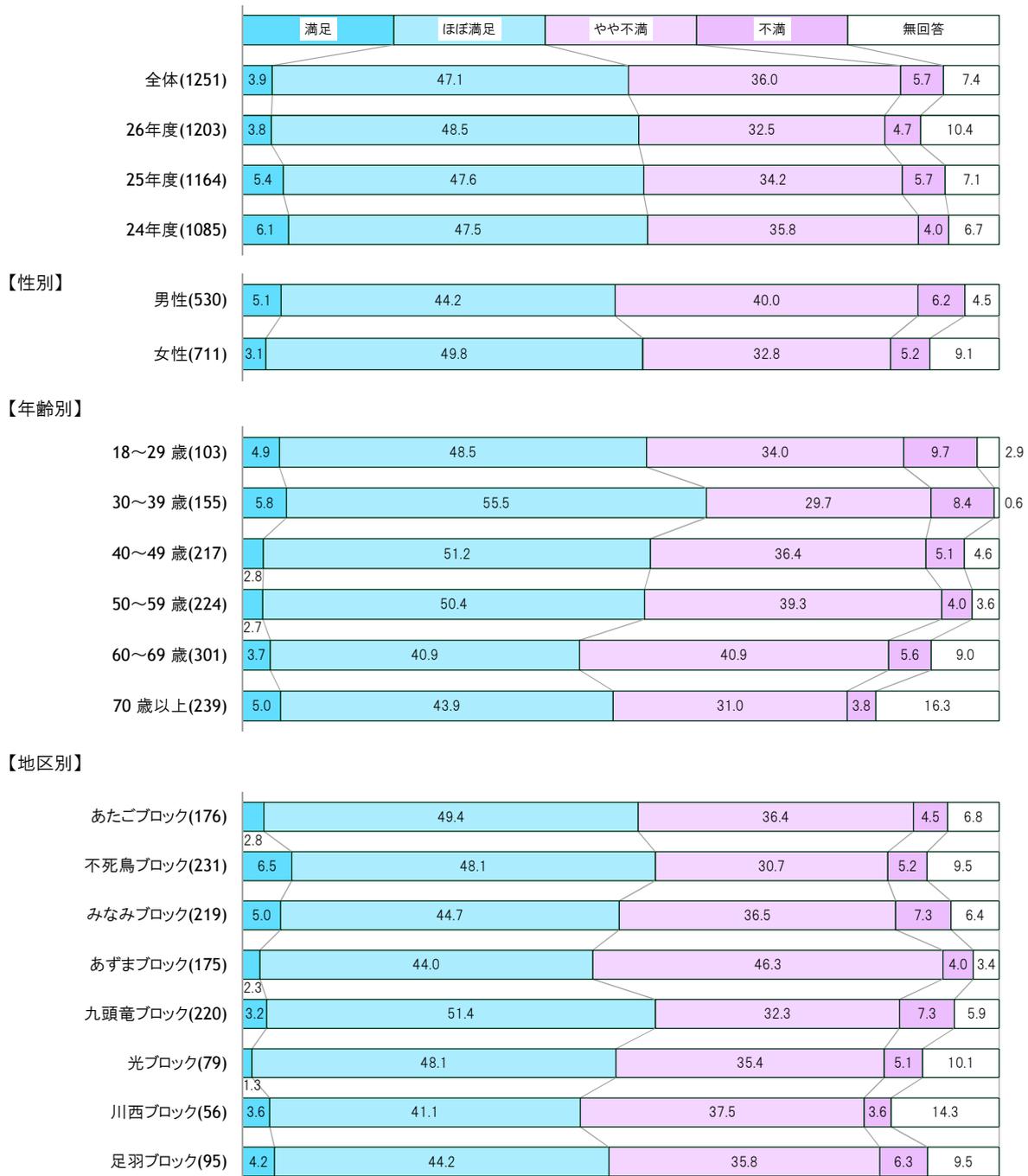


6 ともに責任を担う協働のまちをつくる

満足度

「30～39 歳」の満足度が高い

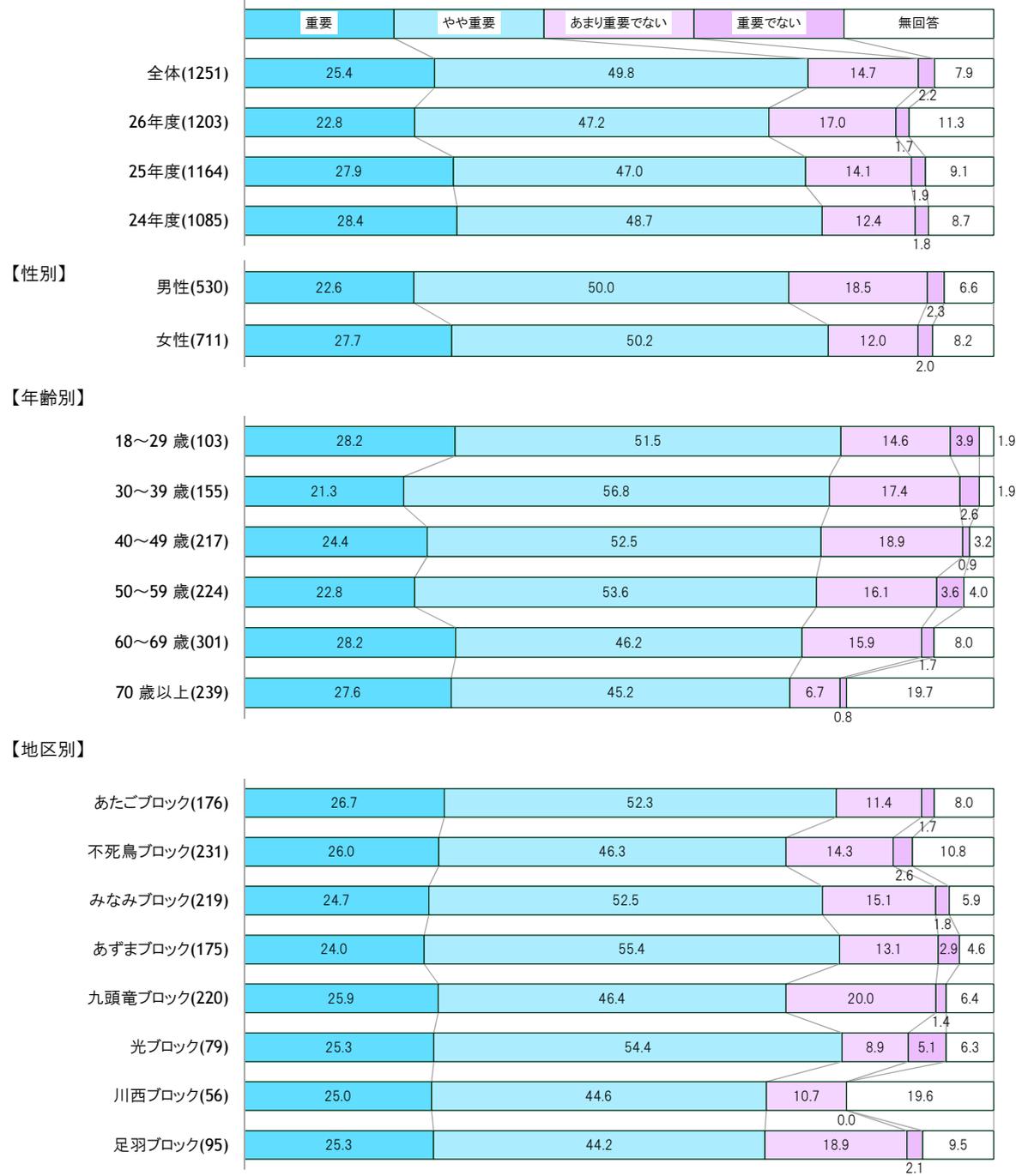
満足度は 51.0%、不満度は 41.7%と、満足度が不満度を 9.3 ポイント上回っている。26 年度 (37.2%) と比べて不満度が 4.5 ポイント高くなっている。性別では、満足度に差は見られないが、不満度は男性 (46.2%) が女性 (38.0%) を 8.2 ポイント上回っている。年齢別にみると、30～39 歳 (61.3%) の満足度が最も高い。地区別では、不死鳥 (54.6%)、九頭竜ブロック (54.6%) の満足度が高い。



重要度

「女性」と「若い年代」の重要度が高い

「重要である」は75.2%、「重要でない」は16.9%と、「重要である」が「重要でない」を58.3ポイント上回っている。26年度（70.0%）と比べて「重要である」は5.2ポイント高くなっている。性別では、「重要である」は女性（77.9%）の方が男性（72.6%）より5.3ポイント高い。年齢別にみると、「重要である」は若い年代ほど高くなっている。地区別では、「重要である」は光（79.7%）、あずま（79.4%）、あたごブロック（79.0%）が高い。

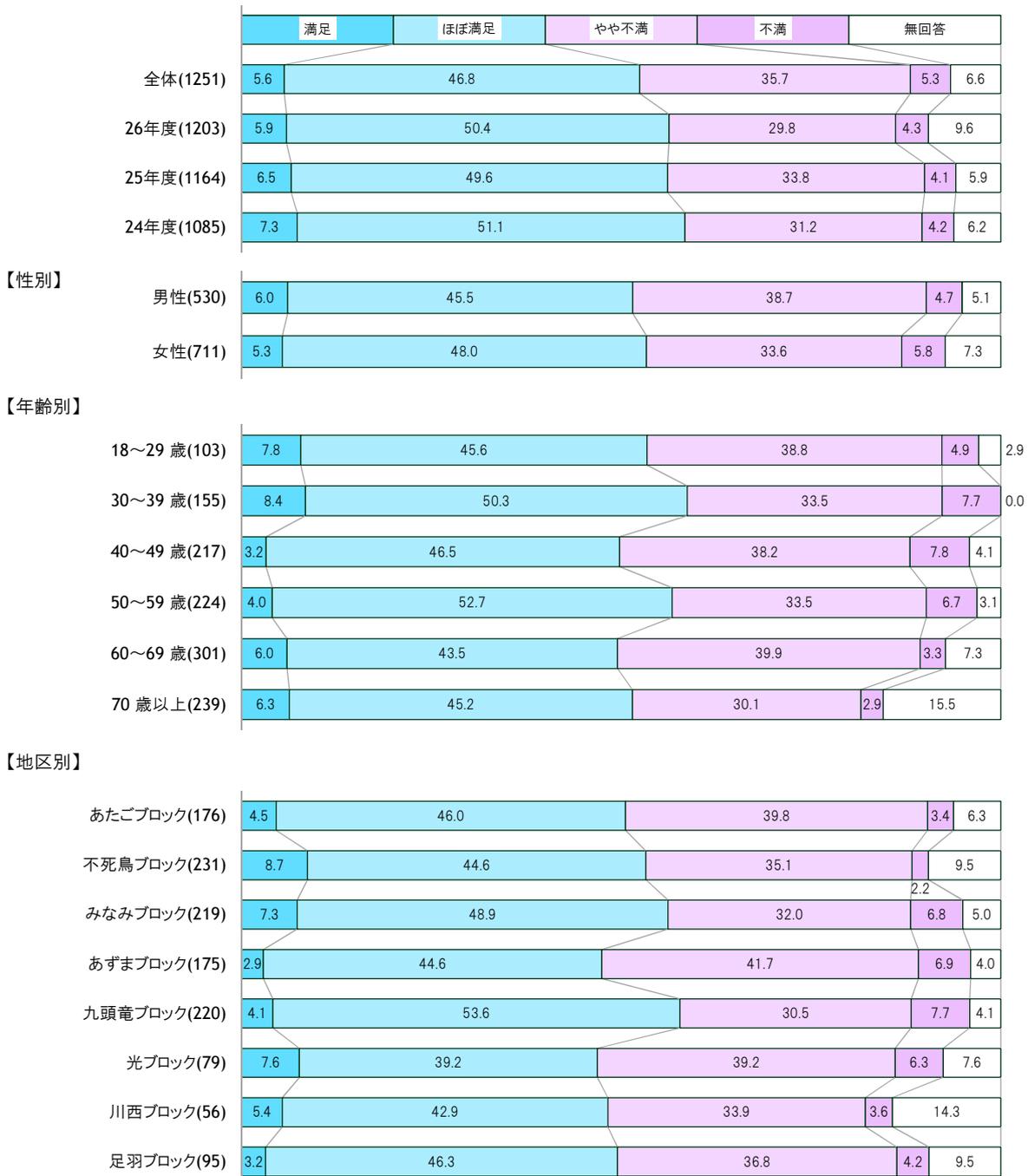


7 誰もが尊重される住みよいまちをつくる

満足度

「九頭竜ブロック」の満足度が高い

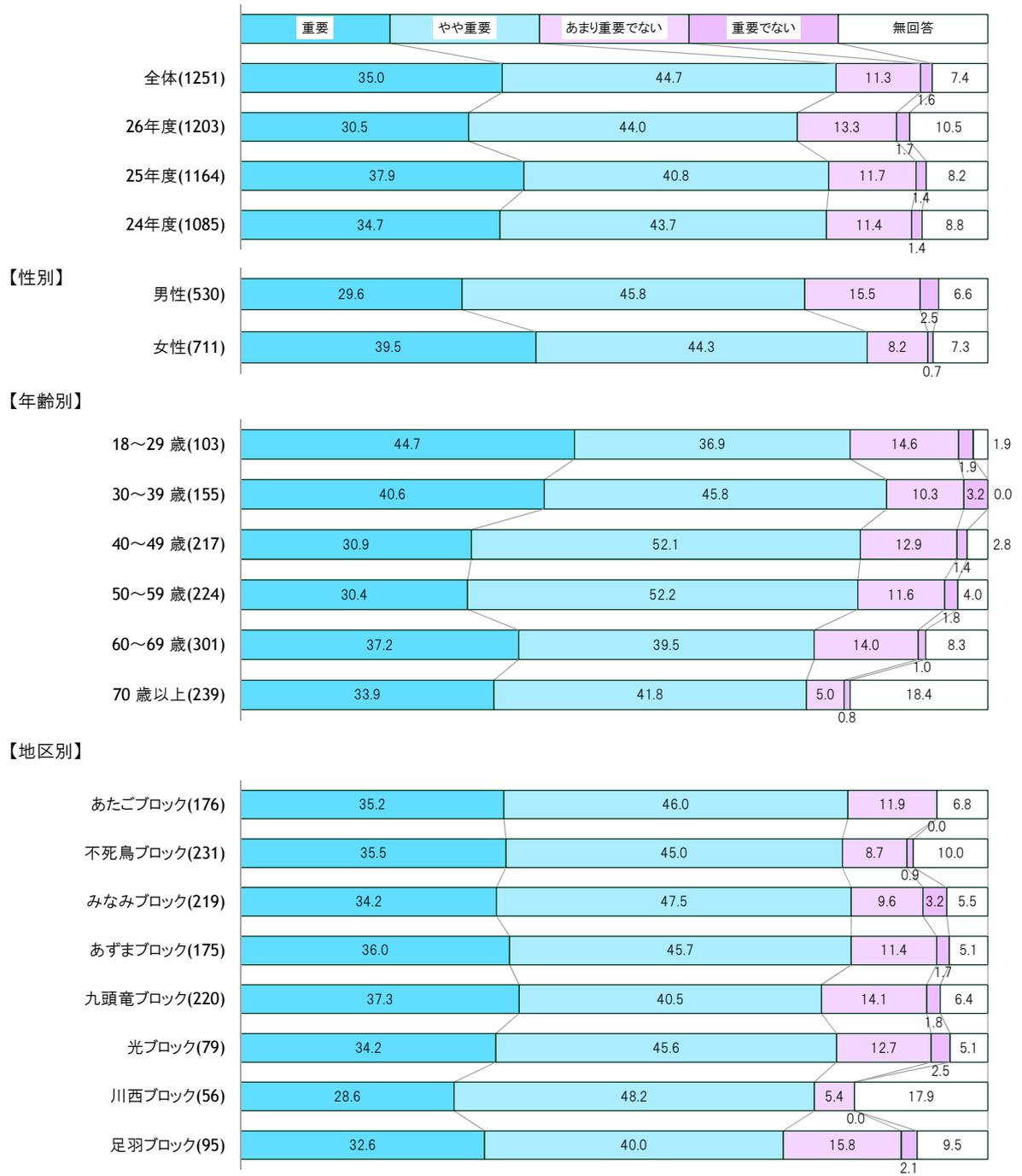
満足度は52.4%、不満度は41.0%と、満足度が不満度を11.4ポイント上回っている。26年度(34.1%)と比べて不満度が6.9ポイント高くなっている。性別では、満足度・不満度ともに差は見られない。年齢別にみると、30～39歳(58.7%)の満足度が最も高い。地区別では、満足度は九頭竜ブロック(57.7%)が最も高く、光ブロック(46.8%)が最も低い。



重要度

「女性」の重要度が高い

「重要である」は79.7%、「重要でない」は12.9%と、「重要である」が「重要でない」を66.8ポイント上回っている。26年度（74.5%）と比べて「重要である」は5.2ポイント高くなっている。性別では、「重要である」は女性（83.8%）が男性（75.4%）を8.4ポイント上回っている。年齢別にみると、「重要である」は30～39歳（86.4%）が最も高い。地区別では、「重要である」はあずま（81.7%）、みなみブロック（81.7%）が高く、足羽ブロック（72.6%）が最も低い。

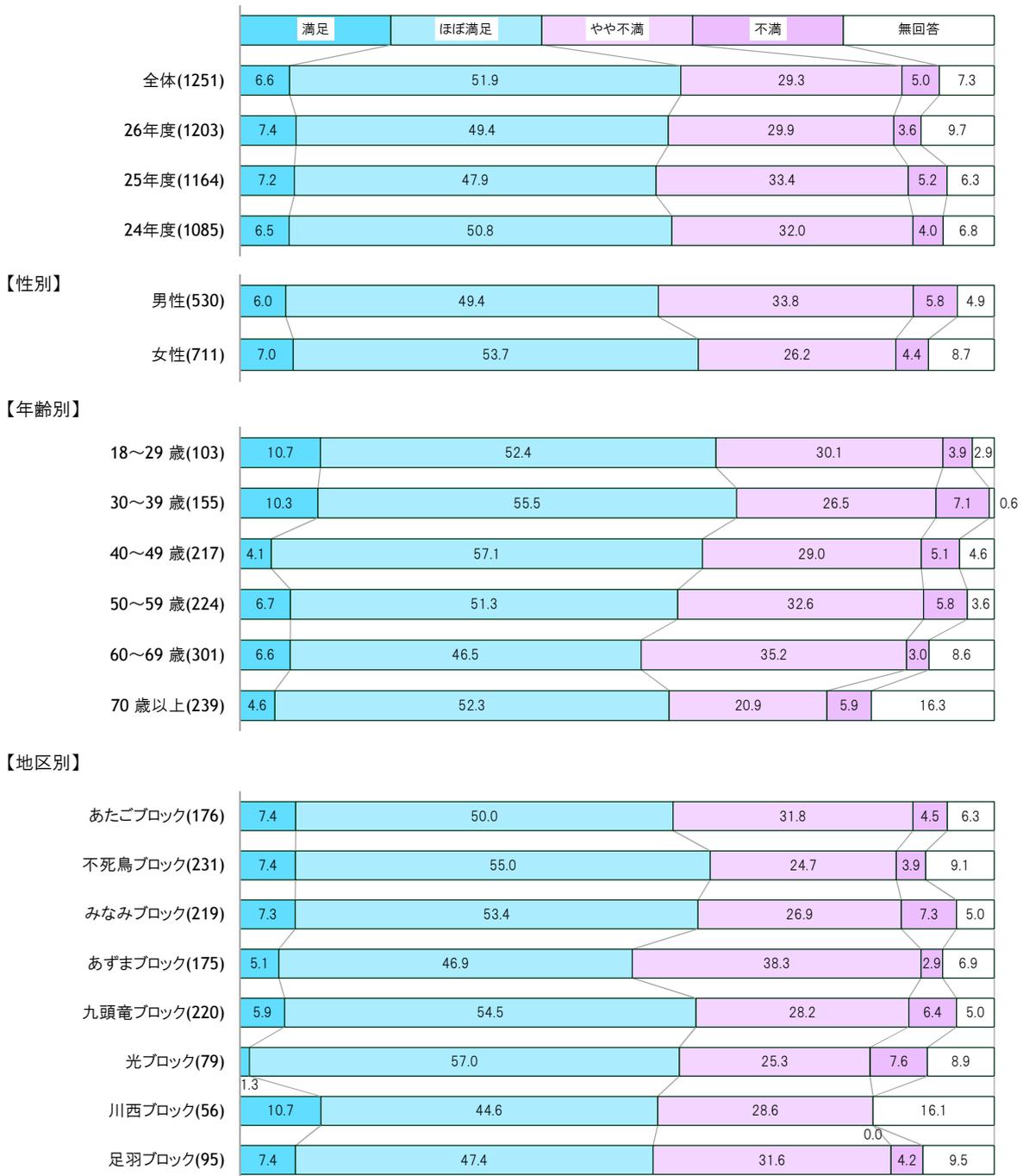


8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる

満足度

「女性」の満足度が高い

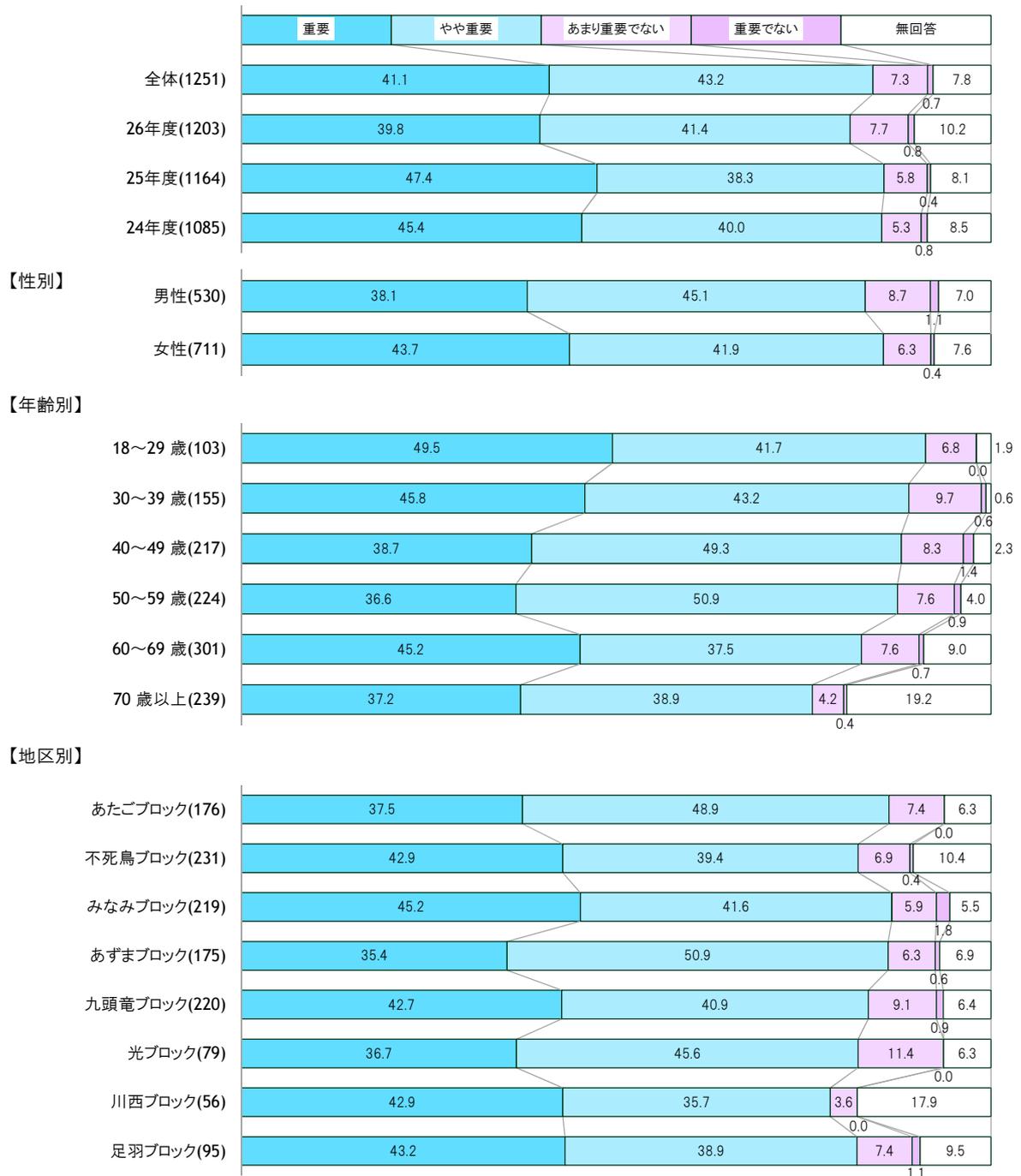
満足度は58.5%、不満度は34.3%と、満足度が不満度を24.2ポイント上回っている。26年度との差は見られない。性別では、満足度は女性(60.7%)が男性(55.4%)を5.3ポイント上回っている。年齢別にみると、30～39歳(65.8%)の満足度が最も高い。地区別では、満足度は不死鳥ブロック(62.4%)が最も高く、あずまブロック(52.0%)が最も低い。



重要度

「若い年代」ほど重要度が高い

「重要である」は84.3%、「重要でない」は8.0%と、「重要である」が「重要でない」を76.3ポイント上回っている。26年度（81.2%）と比べて「重要である」は3.1ポイント高くなっている。性別では、「重要である」「重要でない」ともに差は見られない。年齢別にみると、「重要である」は若い年代ほど高くなっている。地区別では、「重要である」は川西ブロック（78.6%）が最も低い。

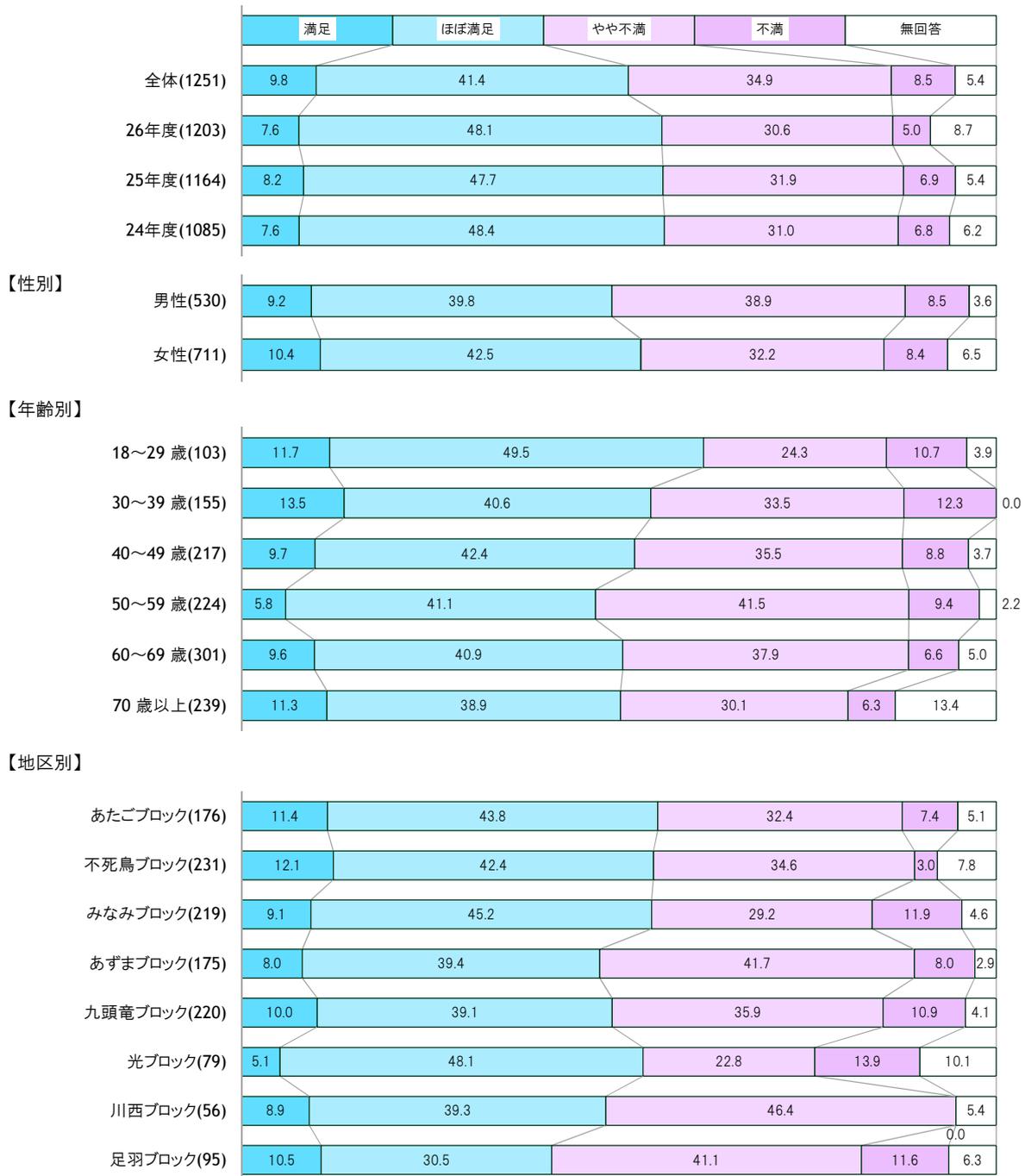


9 すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる

満足度

「18～29 歳」の満足度が高い

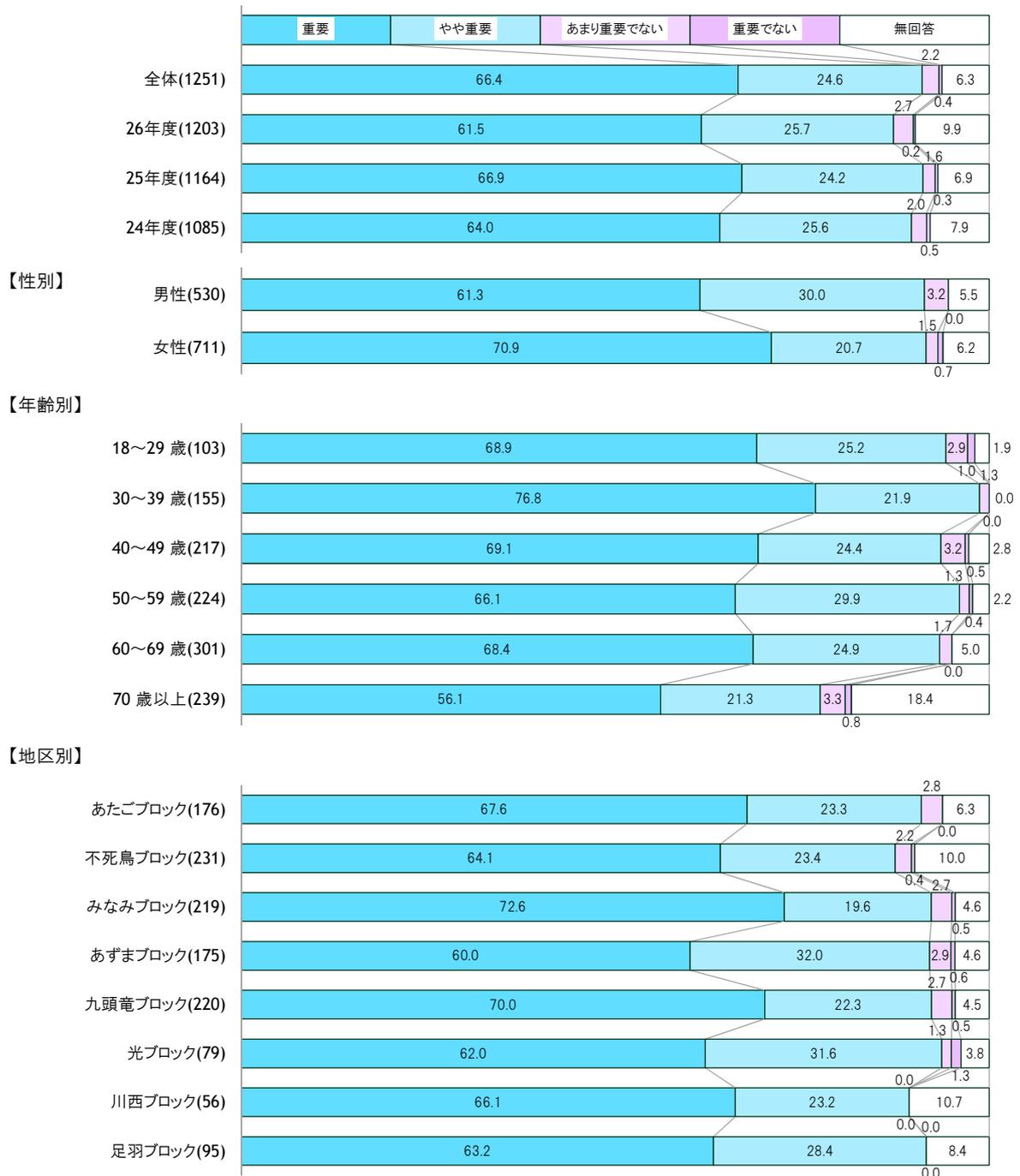
満足度は 51.2%、不満度は 43.4%と、満足度が不満度を 7.8 ポイント上回っている。26 年度（55.7%）と比べて満足度は 4.5 ポイント低くなっている。性別では、満足度は女性（52.9%）の方が男性（49.0%）より 3.9 ポイント高い。年齢別にみると、満足度は 18～29 歳（61.2%）が最も高く、50～59 歳（46.9%）が最も低い。地区別では、あたご（55.2%）、不死鳥（54.5%）、みなみブロック（54.3%）の満足度が高い。



重要度

「60～69 歳」までの年代で重要度が高い

「重要である」は91.0%、「重要でない」は2.6%と、「重要である」が「重要でない」を88.4ポイント上回っている。26年度（87.2%）と比べて、「重要である」は3.8ポイント高くなっている。性別では、「重要である」「重要でない」ともに差は見られない。年齢別にみると、「重要である」は30～39歳（98.7%）が最も高く、「60～69歳」までの年代でその割合が高くなっている。地区別では、「重要である」は光ブロック（93.6%）が最も高い。

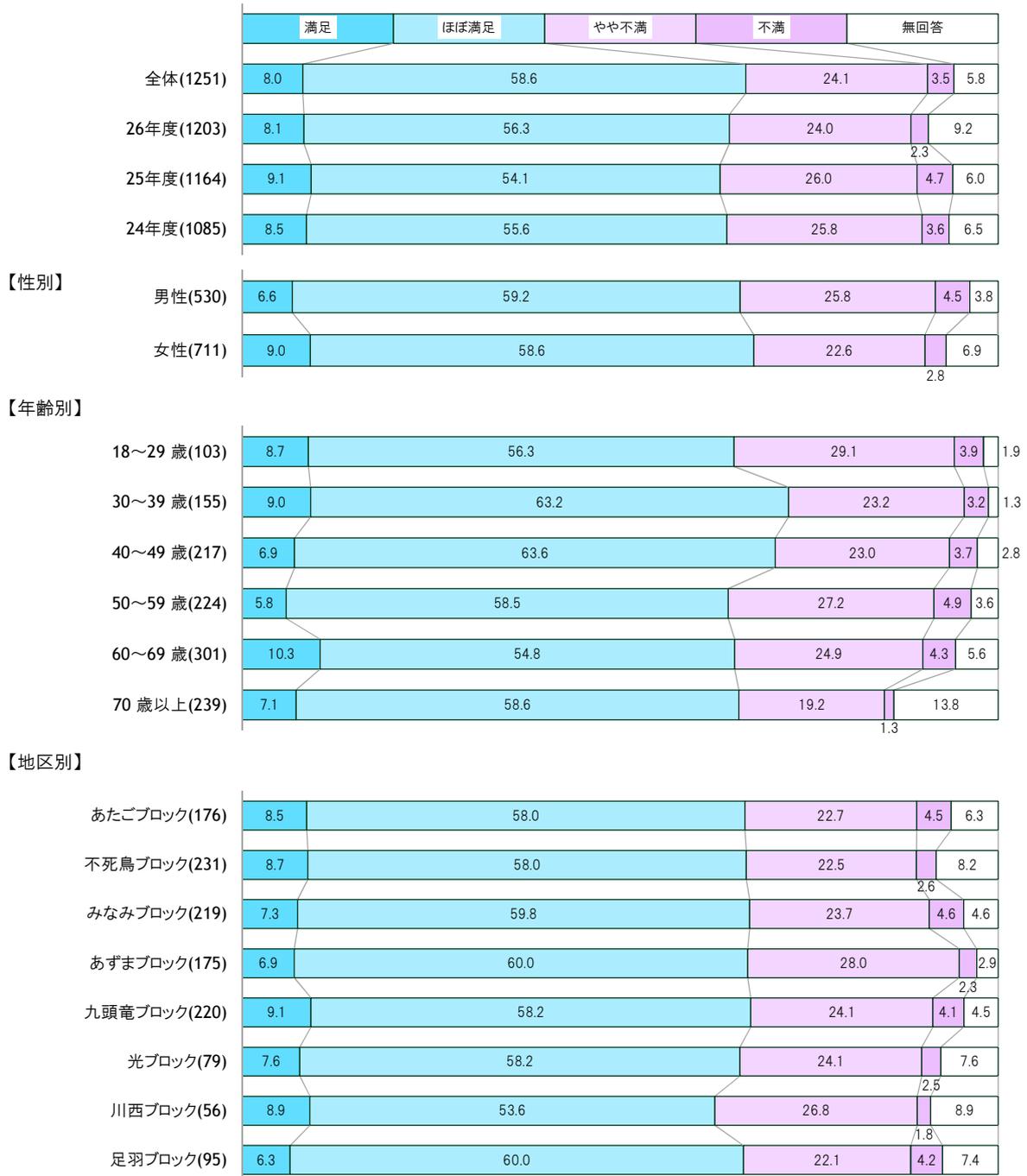


10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる

満足度

「30～39 歳」「40～49 歳」の満足度が高い

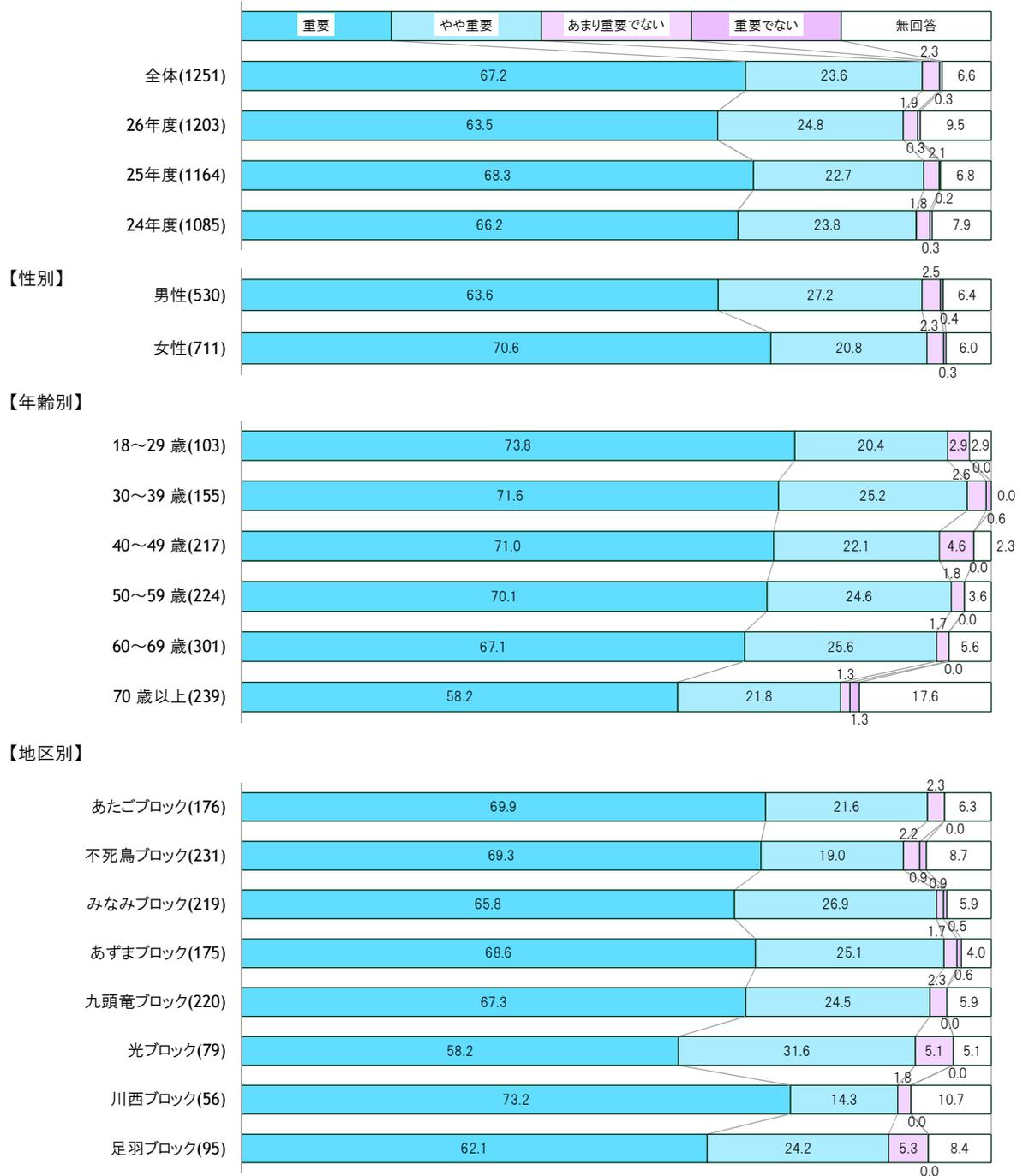
満足度は 66.6%、不満度は 27.6%と、満足度が不満度を 39.0 ポイント上回っている。26 年度との差は見られない。性別では、満足度・不満度ともに差は見られない。年齢別にみると、30～39 歳 (72.2%)、40～49 歳 (70.5%) の満足度が高い。地区別では、満足度に差は見られない。



重要度

全体の9割が「重要」「やや重要」を回答

「重要である」は90.8%、「重要でない」は2.6%と、「重要である」が「重要でない」を88.2ポイント上回っている。26年度（88.3%）と比べて、「重要である」は2.5ポイント高くなっている。性別では、「重要である」「重要でない」ともに差は見られない。年齢別にみると、「重要である」は30～39歳（96.8%）が最も高く、70歳以上（80.0%）が最も低い。地区別では、「重要である」はあずまブロック（93.7%）が最も高い。

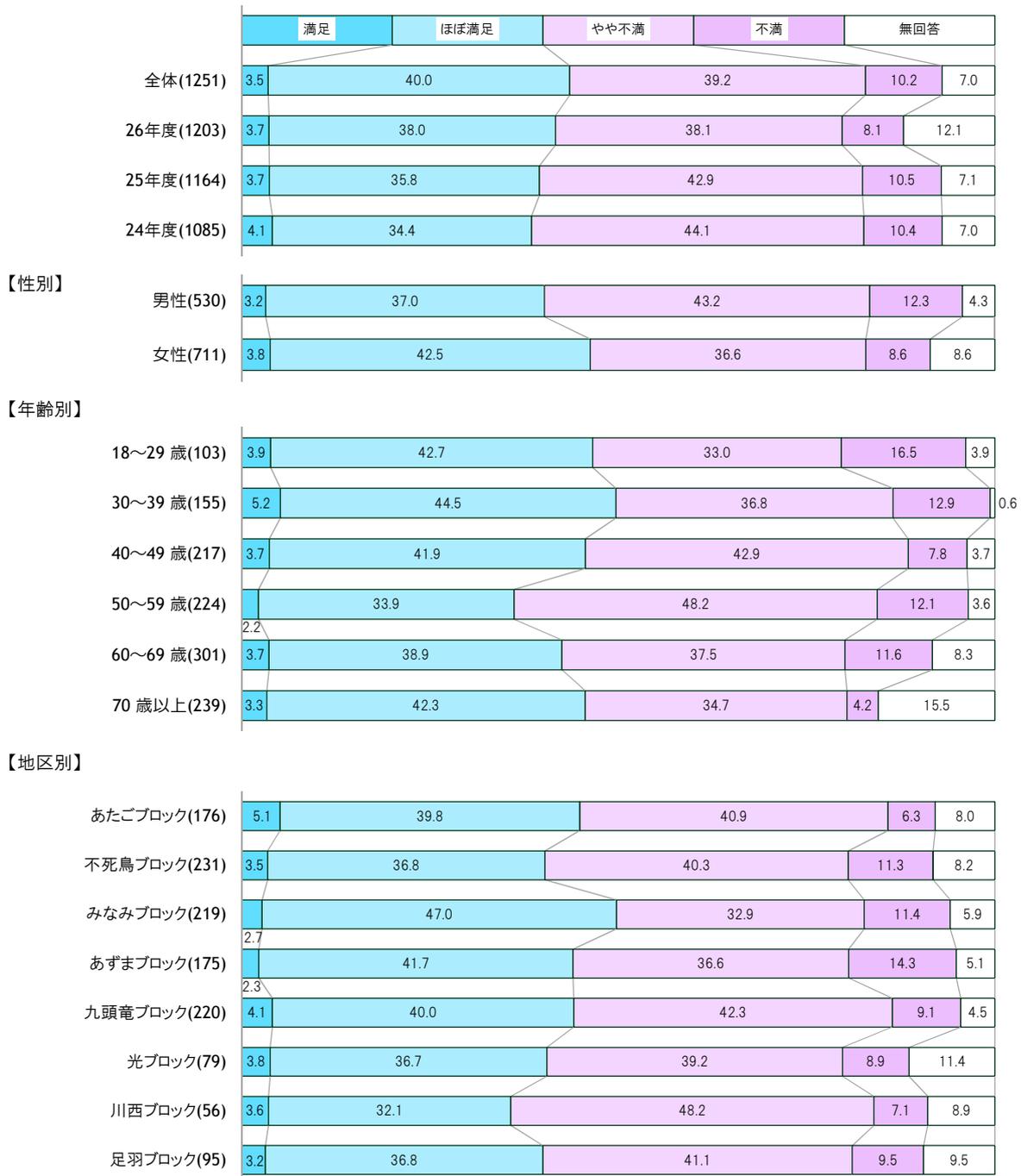


11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる

満足度

「男性」と「50～59歳」の不満足度が高い

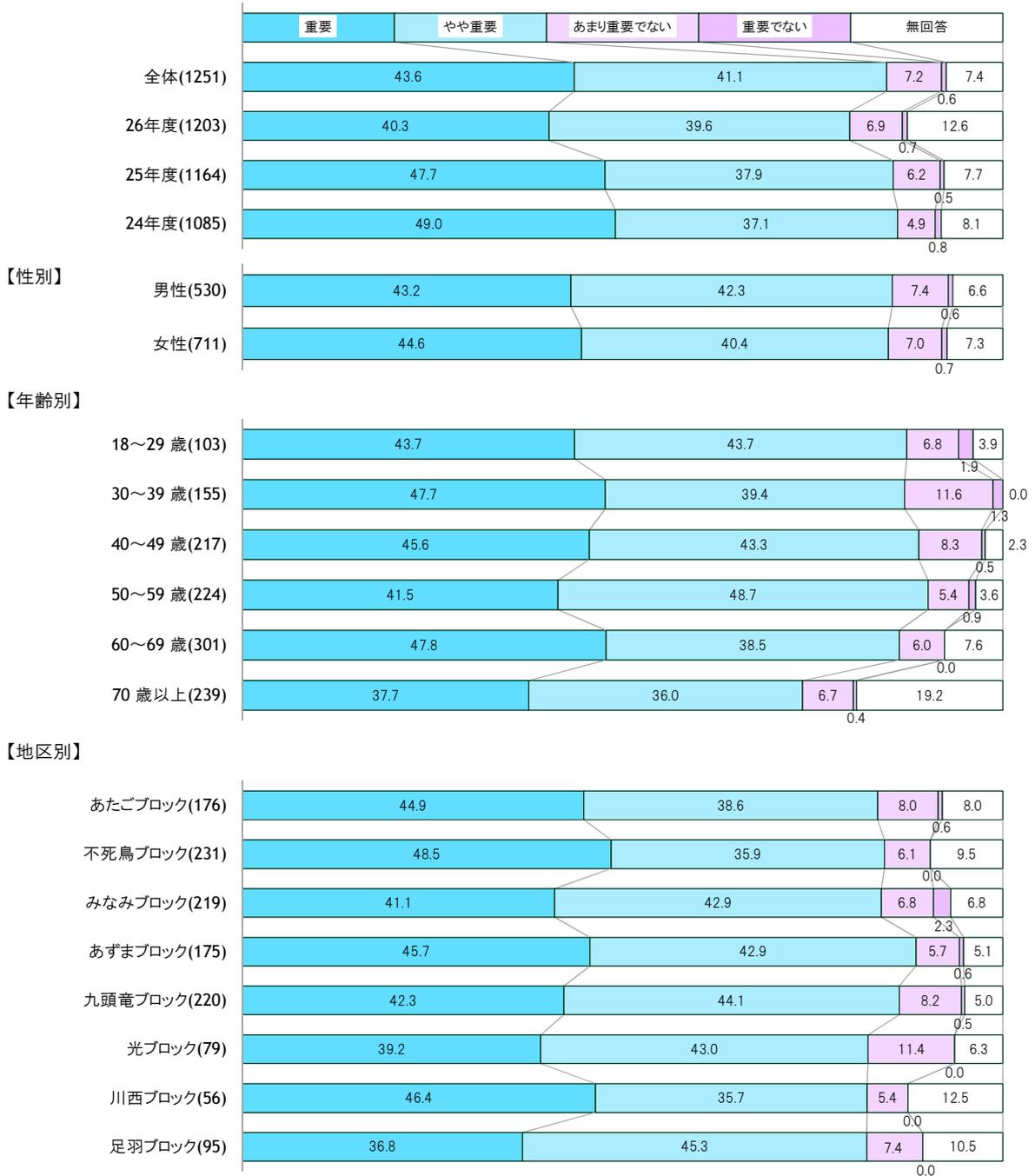
満足度は43.5%、不満足度は49.4%と、不満足度が満足度を5.9ポイント上回っている。26年度との差は見られない。性別では、不満足度は男性(55.5%)の方が女性(45.2%)より10.3ポイント高い。年齢別にみると、不満足度は50～59歳(60.3%)が最も高く、70歳以上(38.9%)が最も低い。地区別では、不満足度は川西ブロック(55.3%)が最も高く、みなみブロック(44.3%)が最も低い。



重要度

「60～69 歳」までの年代で重要度が高い

「重要である」は84.7%、「重要でない」は7.8%と、「重要である」が「重要でない」を76.9ポイント上回っている。26年度（79.9%）と比べて、「重要である」は4.8ポイント高くなっている。性別では、「重要である」「重要でない」ともに差は見られない。年齢別にみると、「重要である」は50～59歳（90.2%）が最も高く、60～69歳までの年代でその割合が高くなっている。地区別では、「重要である」はあずまブロック（88.6%）が最も高くなっている。

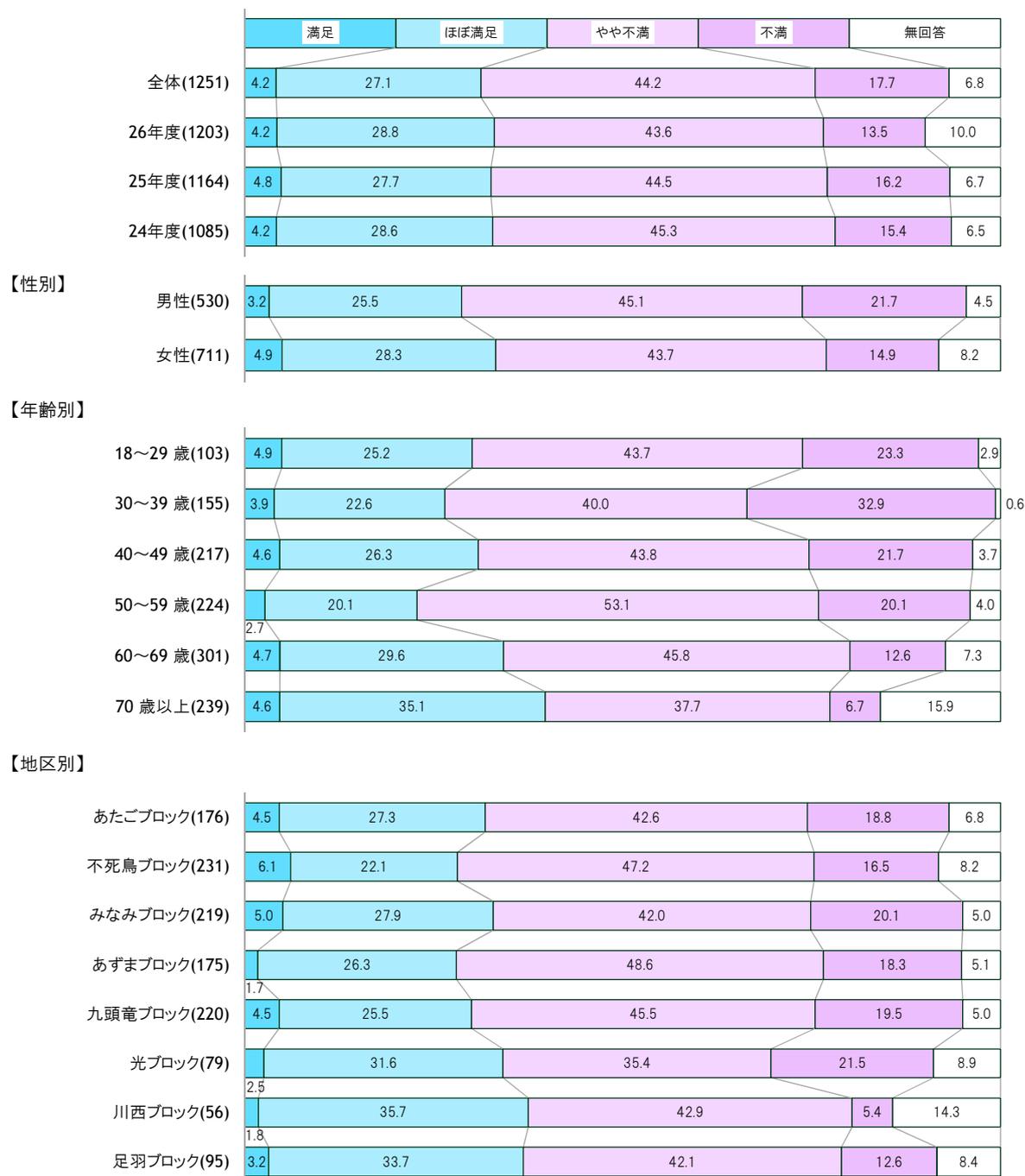


12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる

満足度

「男性」と「50～59歳」「30～39歳」の不満足度が高い

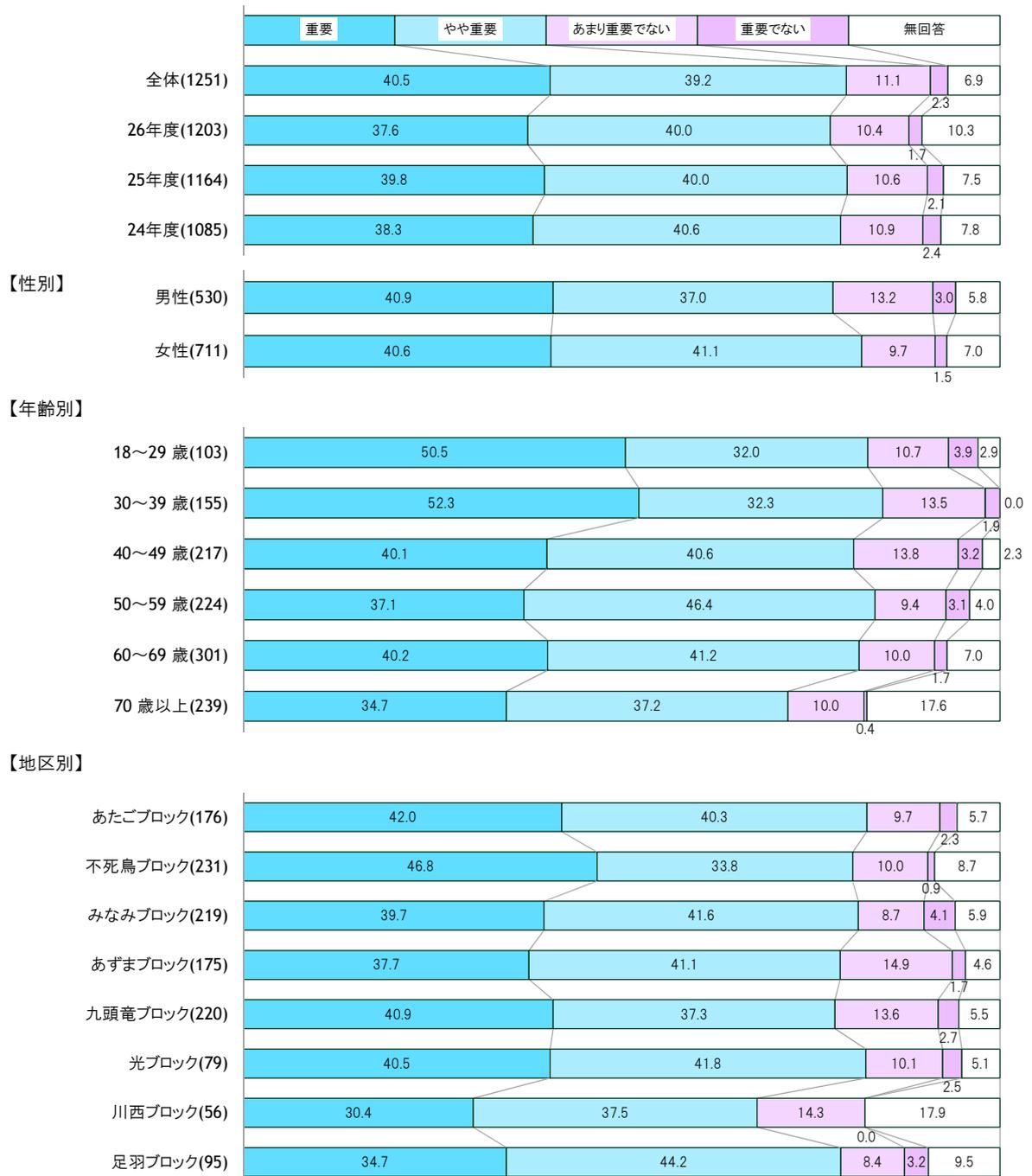
満足度は31.3%、不満度は61.9%と、不満度が満足度を30.6ポイント上回っている。26年度(57.1%)と比べて不満度が4.8ポイント高くなっている。性別では、不満度は男性(66.8%)の方が女性(58.6%)より8.2ポイント高い。年齢別にみると、不満度は50～59歳(73.2%)、30～39歳(72.9%)が高く、70歳以上(44.4%)が最も低い。地区別では、不満度はあずま(66.9%)、九頭竜ブロック(65.0%)が高く、川西ブロック(48.3%)が最も低い。



重要度

「女性」の重要度が高い

「重要である」は79.7%、「重要でない」は13.4%と、「重要である」が「重要でない」を66.3ポイント上回っている。26年度との差は見られない。性別では、「重要である」は女性(81.7%)の方が男性(77.9%)より3.8ポイント高い。年齢別にみると、「重要である」は30～39歳(84.6%)が最も高く、70歳以上(71.9%)が最も低い。地区別では、「重要である」はあたご(82.3%)、光ブロック(82.3%)が高い。

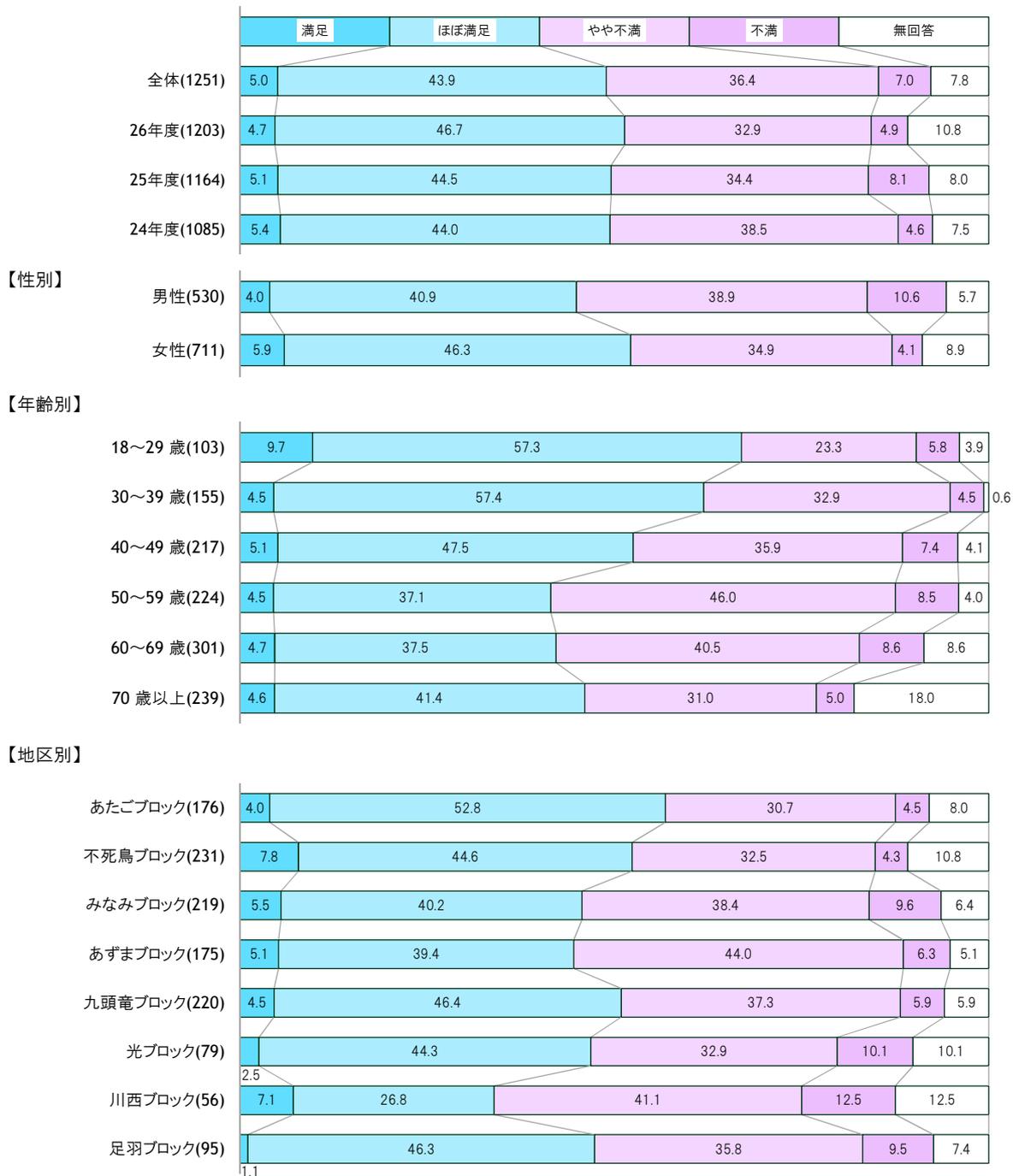


13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる

満足度

「女性」と「18～29歳」と「あたごブロック」の満足度が高い

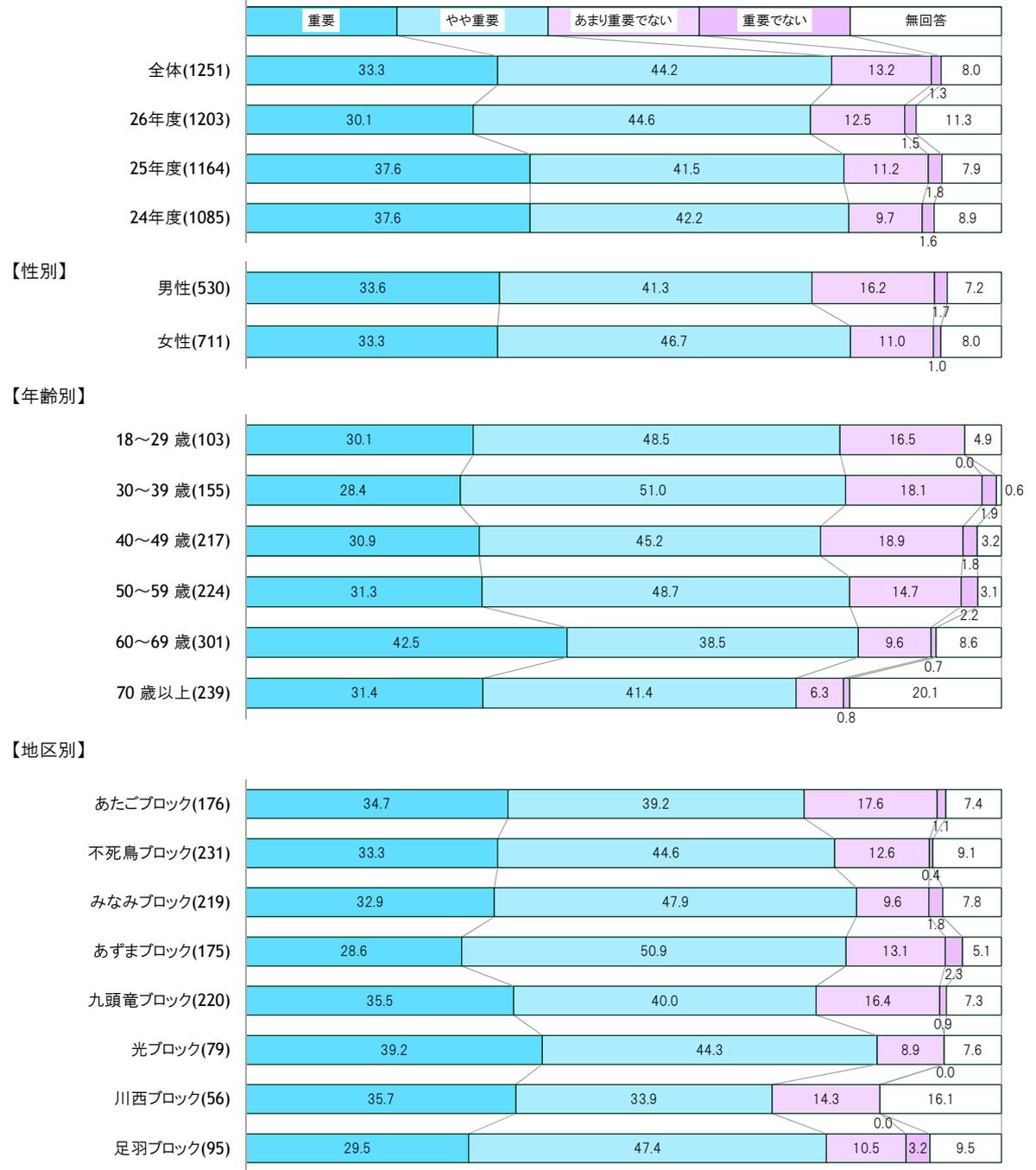
満足度は48.9%、不満度は43.4%と、満足度が不満度を5.5ポイント上回っている。26年度(37.8%)と比べて不満度は5.6ポイント高くなっている。性別では、満足度は女性(52.2%)の方が男性(44.9%)より7.3ポイント高い。年齢別にみると、満足度は若い年代ほど高く、18～29歳(67.0%)の割合が最も高くなっている。地区別では、満足度はあたごブロック(56.8%)が最も高く、川西ブロック(33.9%)が最も低い。



重要度

「女性」の重要度が高い

「重要である」は77.5%、「重要でない」は14.5%と、「重要である」が「重要でない」を63.0ポイント上回っている。26年度との差は見られない。性別では、「重要である」は女性（80.0%）が男性（74.9%）と比べて5.1ポイント高くなっている。年齢別にみると、「重要である」は60～69歳（81.0%）、50～59歳（80.0%）が高い。地区別では、「重要である」は光ブロック（83.5%）が最も高く、川西ブロック（69.6%）が最も低い。

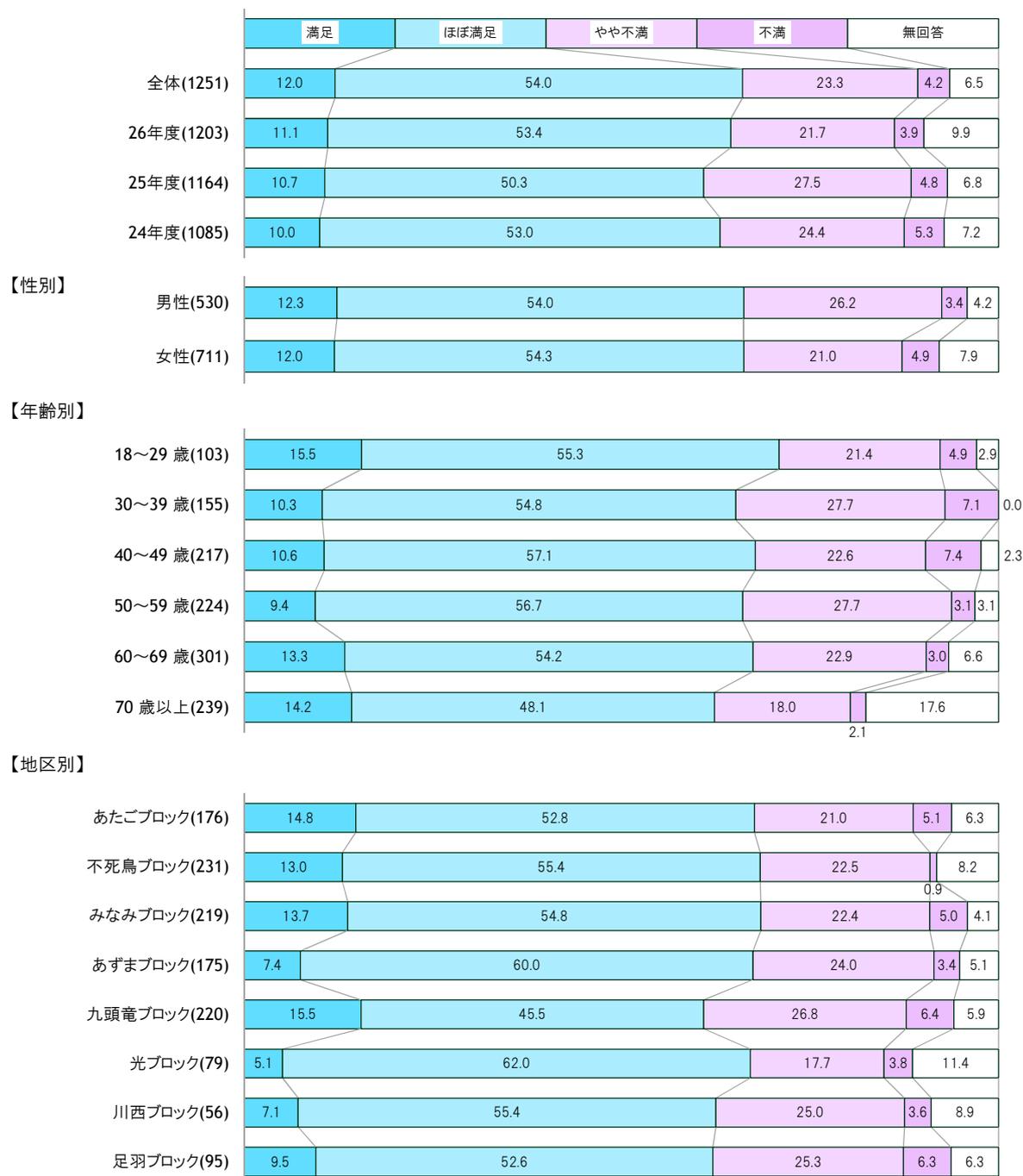


1.4 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる

満足度

「18～29 歳」の満足度が高い

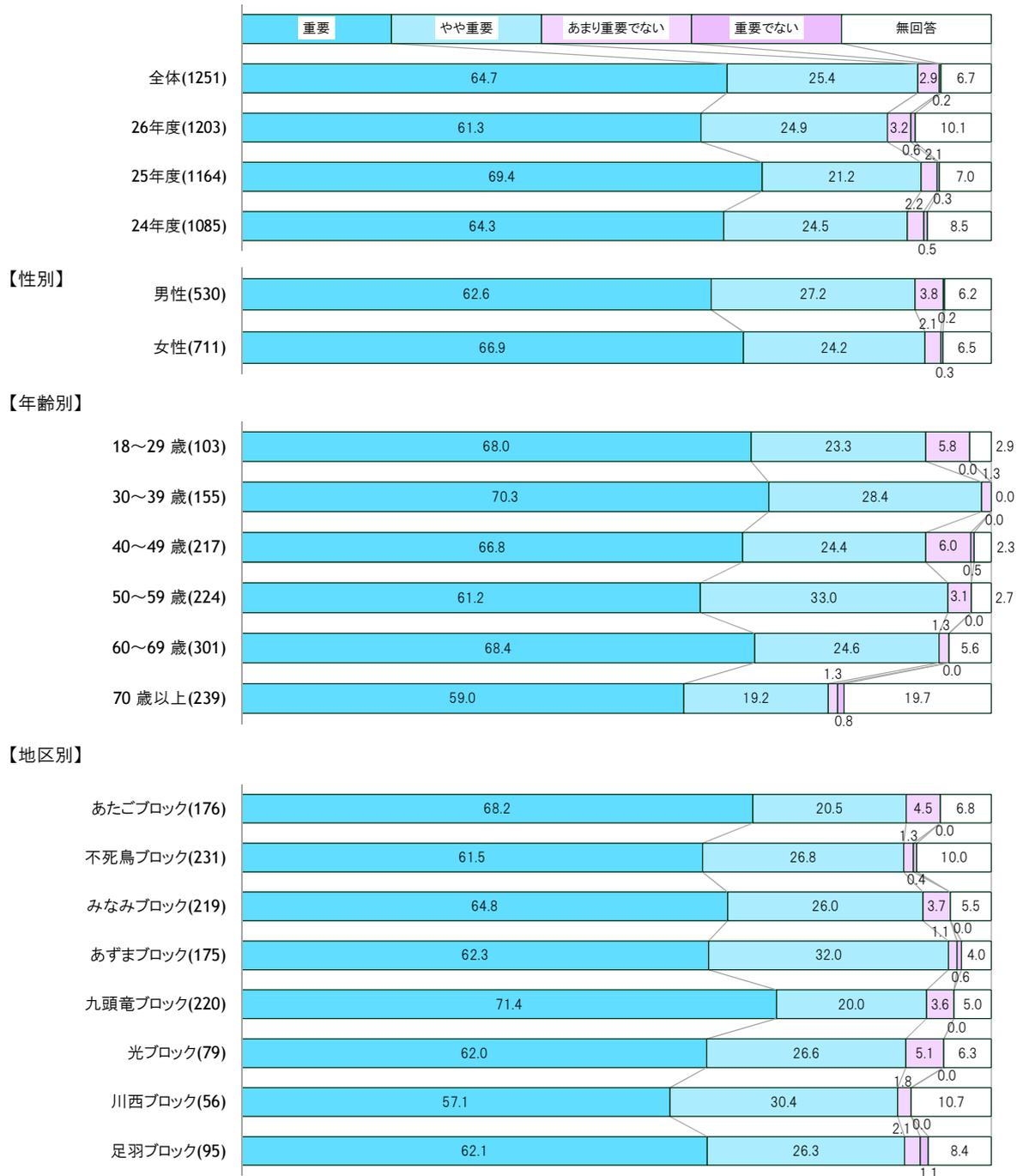
満足度は 66.0%、不満度は 27.5%と、満足度が不満度を 38.5 ポイント上回っている。26 年度との差は見られない。性別では、満足度・不満度ともに差は見られない。年齢別にみると、満足度は 18～29 歳（70.8%）が最も高く、70 歳以上（62.3%）が最も低い。地区別では、満足度はみなみ（68.5%）、不死鳥ブロック（68.4%）が高く、九頭竜ブロック（61.0%）が最も低い。



重要度

全体の9割が「重要」「やや重要」を回答

「重要である」は90.1%、「重要でない」は3.1%と、「重要である」が「重要でない」を87.0ポイント上回っている。26年度（86.2%）と比べて「重要である」は3.9ポイント高くなっている。性別では、「重要である」「重要でない」ともに差は見られない。年齢別にみると、「重要である」は30～39歳（98.7%）が最も高く、70歳以上（78.2%）が最も低い。地区別では、「重要である」はあずまブロック（94.3%）が最も高い。

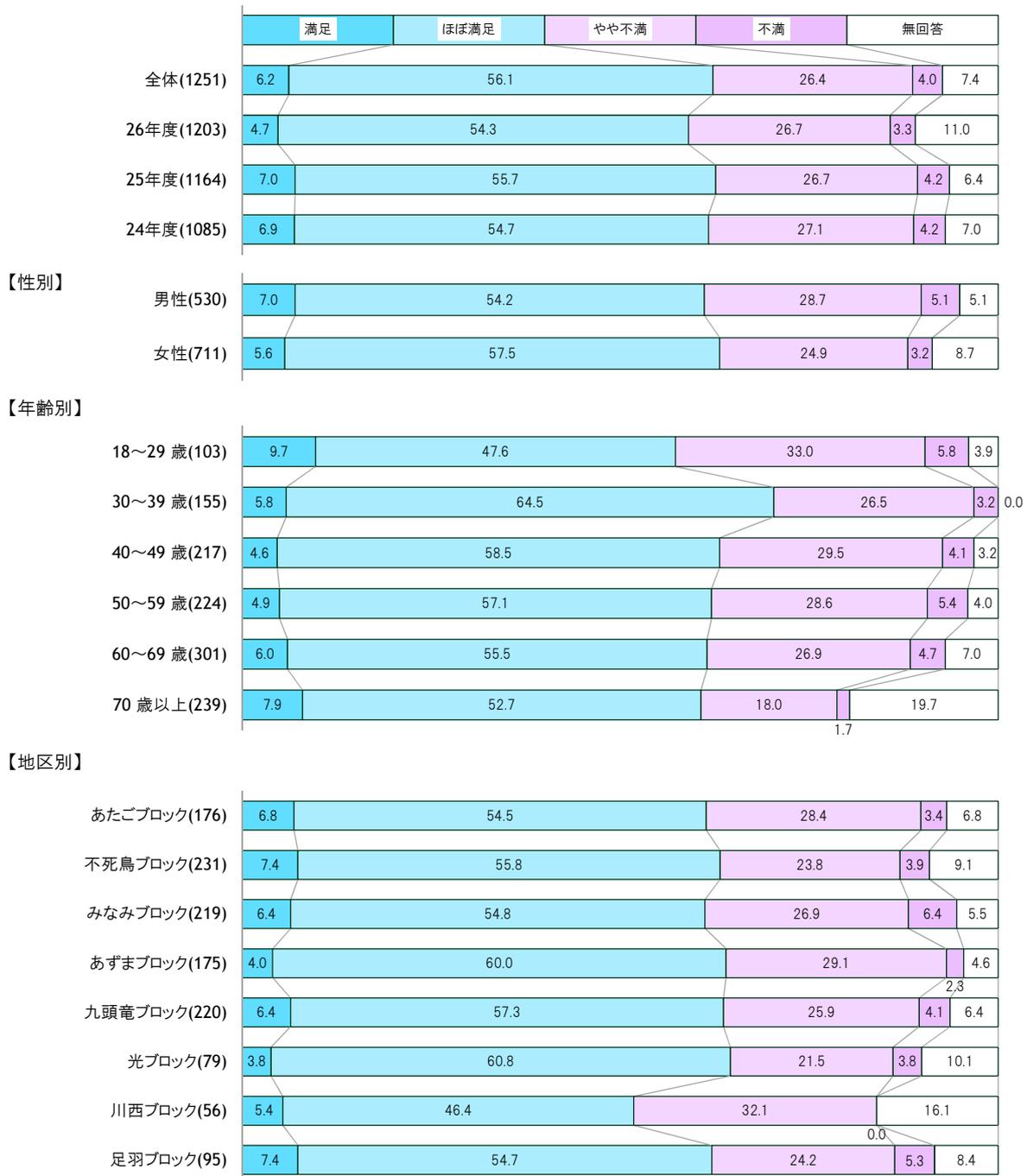


15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる

満足度

「30～39 歳」の満足度が高い

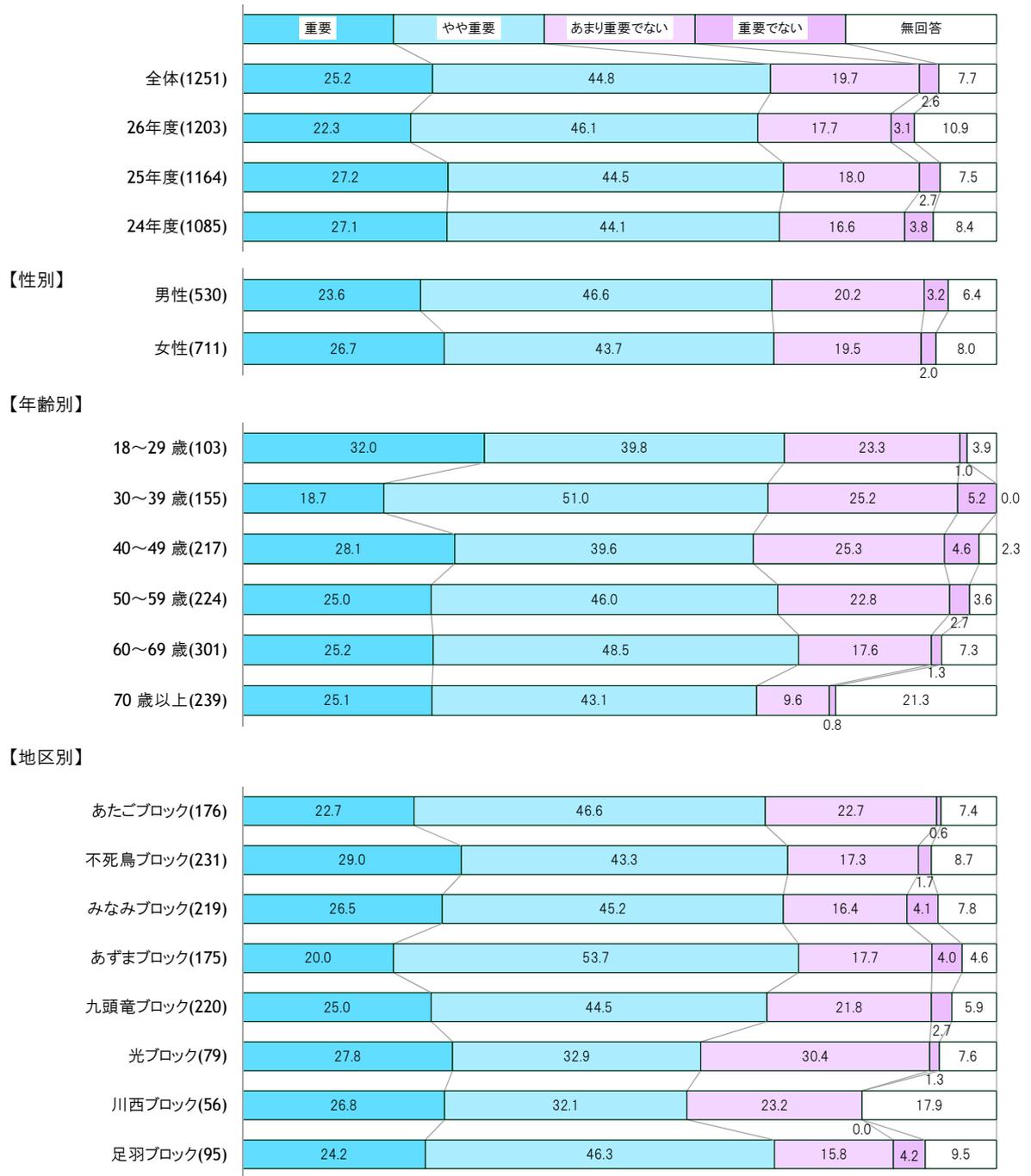
満足度は 62.3%、不満度は 30.4%と、満足度が不満度を 31.9 ポイント上回っている。26 年度との差は見られない。性別では、満足度には差が見られないが、不満度は男性（33.8%）が女性（28.1%）を 5.7 ポイント上回っている。年齢別にみると、30～39 歳（70.3%）の満足度が最も高い。地区別では、川西ブロック（51.8%）の満足度が最も低い。



重要度

「60～69 歳」の重要度が高い

「重要である」は70.0%、「重要でない」は22.3%と、「重要である」が「重要でない」を47.7ポイント上回っている。26年度との差は見られない。性別では、「重要である」「重要でない」ともあまり差は見られない。年齢別にみると、「重要である」は60～69歳（73.7%）が最も高い。地区別では、「重要である」はあずまブロック（73.7%）が最も高く、川西ブロック（58.9%）が最も低い。

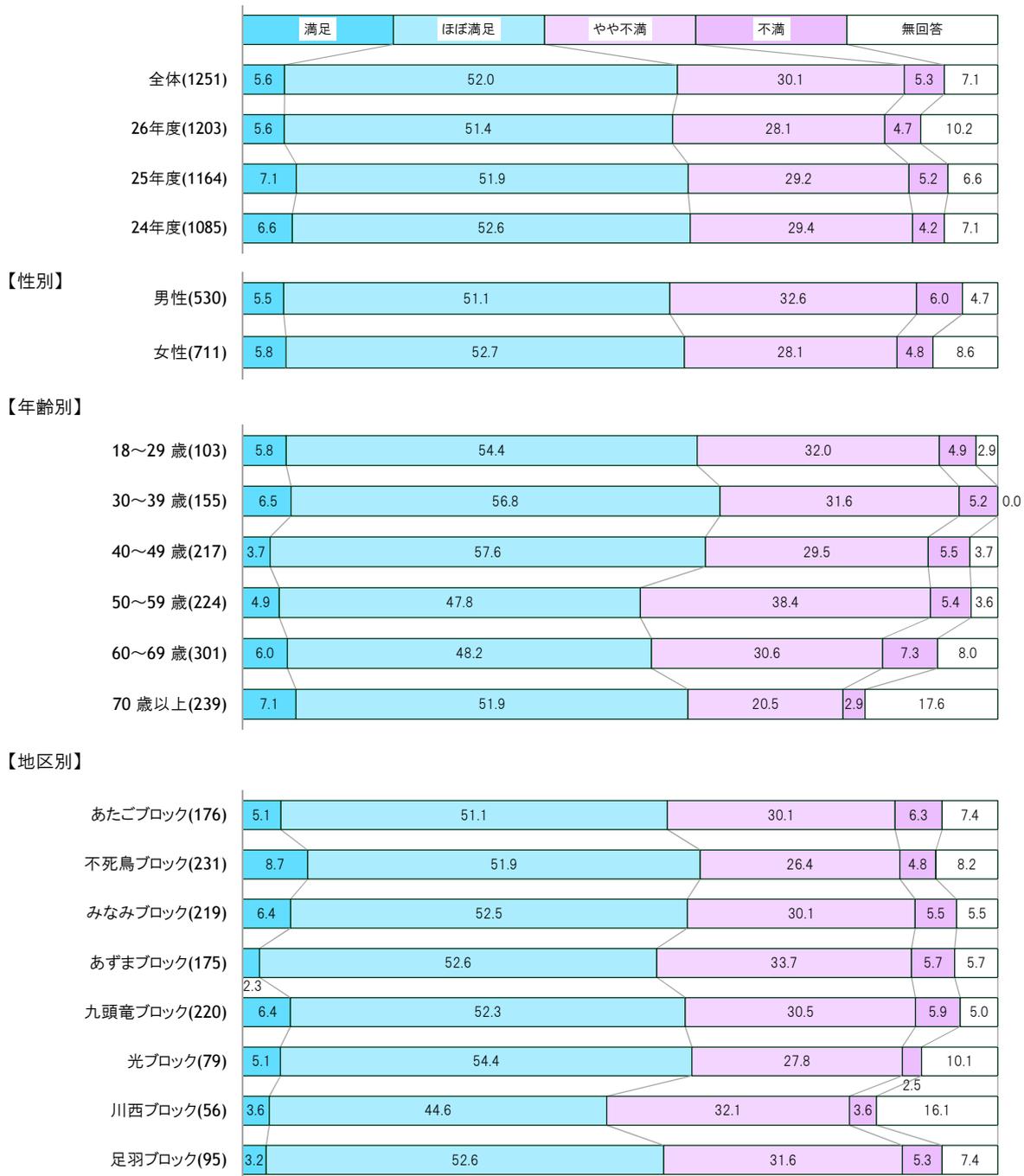


16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる

満足度

「若い年代」の満足度が高い

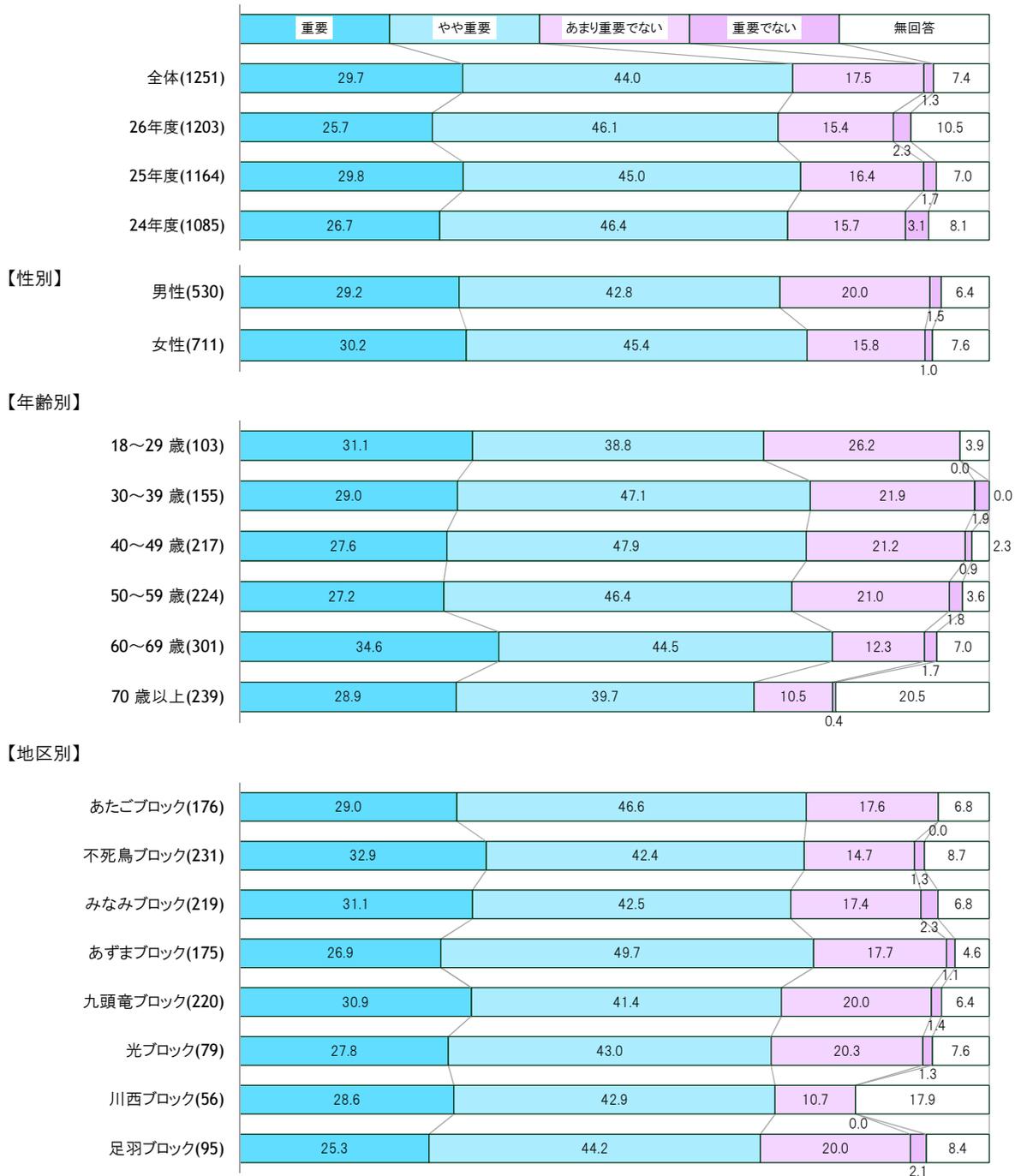
満足度は57.6%、不満度は35.4%と、満足度が不満度を22.2ポイント上回っている。26年度との差は見られない。性別では、満足度に差は見られないが、不満度は男性(38.6%)の方が女性(32.9%)より5.7ポイント高い。年齢別にみると30～39歳(63.3%)を中心とした若い年代で満足度が高い。地区別では、川西ブロック(48.2%)の満足度が最も低い。



重要度

「女性」と「60～69歳」の重要度が高い

「重要である」は73.7%、「重要でない」は18.8%と、「重要である」が「重要でない」を54.9ポイント上回っている。26年度との差は見られない。性別では、「重要である」は女性（75.6%）が男性（72.0%）を3.6ポイント上回っている。年齢別にみると、「重要である」は60～69歳（79.1%）が最も高い。地区別では、「重要である」はあずまブロック（76.6%）が最も高く、足羽ブロック（69.5%）が最も低い。



◆共食（家族と共に食事を取る）について

※この項目では、全回答者（1,251）から調査票内（F5）の家族構成で「一人暮らし」及び「無回答」と回答した数等（103）を除いて集計しています。

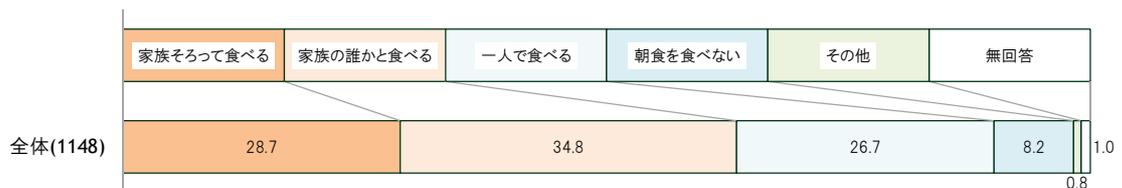
問1 あなたは、普段朝食を誰と一緒に食べていますか。（1つ）

全体の6割が「家族と朝食を食べる」

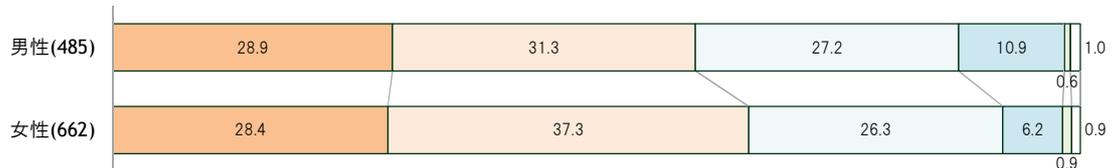
「家族と朝食を食べる」（「家族そろって食べる」（28.7%）と「家族の誰かと食べる」（34.8%）の合計）は全体の63.5%となっている。

性別では「家族と朝食を食べる」は女性（65.7%）の方が男性（60.2%）より5.5ポイント高い。年齢別にみると「家族と朝食を食べる」は70歳以上（78.9%）が最も高く、年齢の高い世代でその割合が高くなっている。

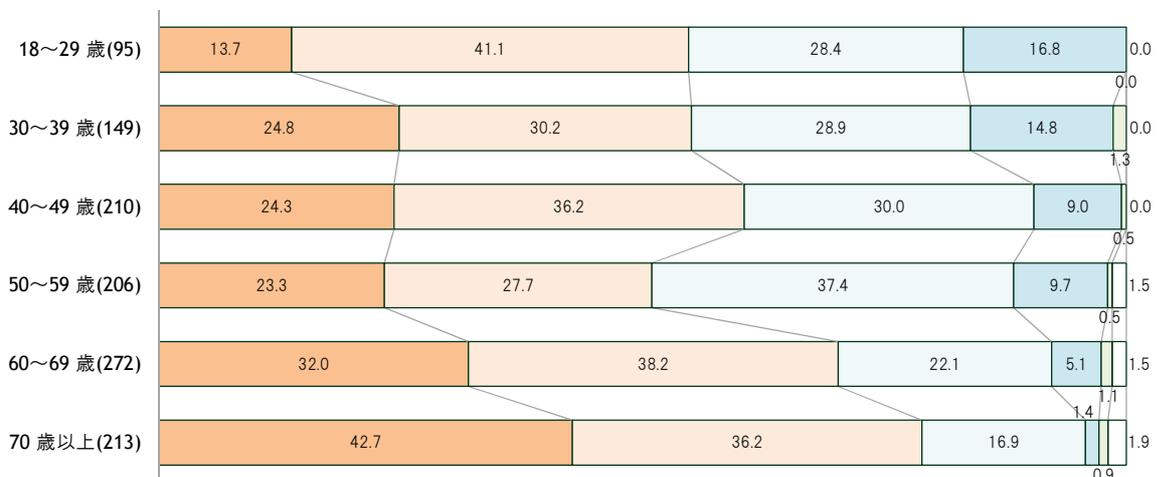
「朝食を食べない」は18～29歳が16.8%、30～39歳が14.8%となっている。



【性別】



【年齢別】

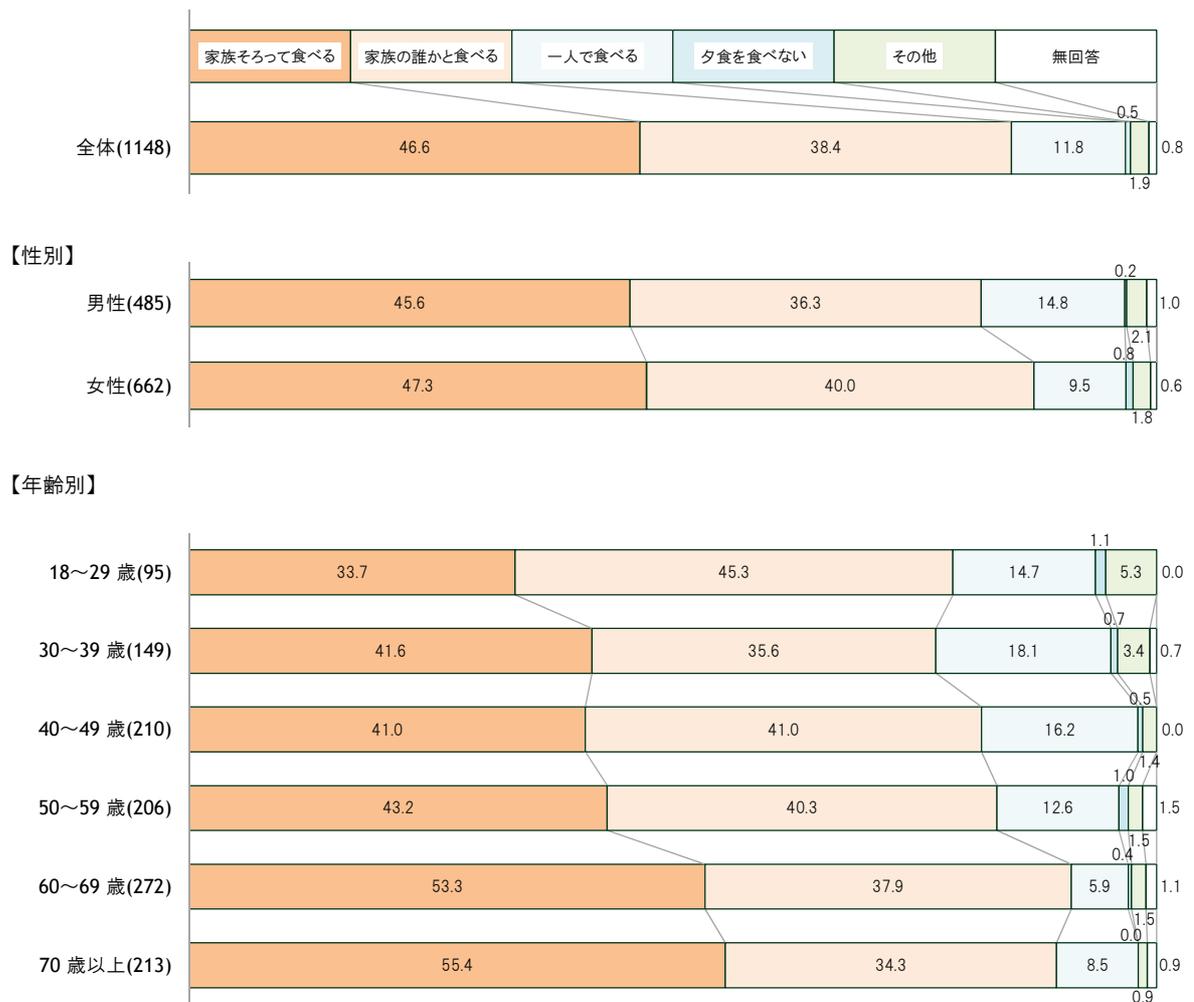


問2 あなたは、普段夕食を誰と一緒に食べていますか。(1つ)

全体の8割以上が「家族と夕食を食べる」

「家族と夕食を食べる」(「家族そろって食べる」(46.6%)と「家族の誰かと食べる」(38.4%)の合計)は全体の85.0%となっている。問1で「朝食を食べない」と回答した割合は全体の8.2%となっているが、「夕食を食べない」は全体の0.5%となっている。

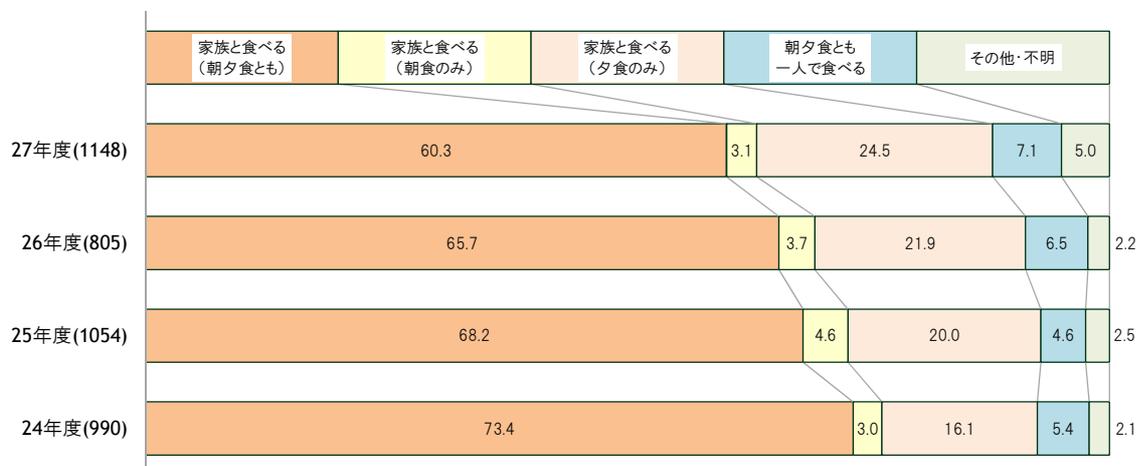
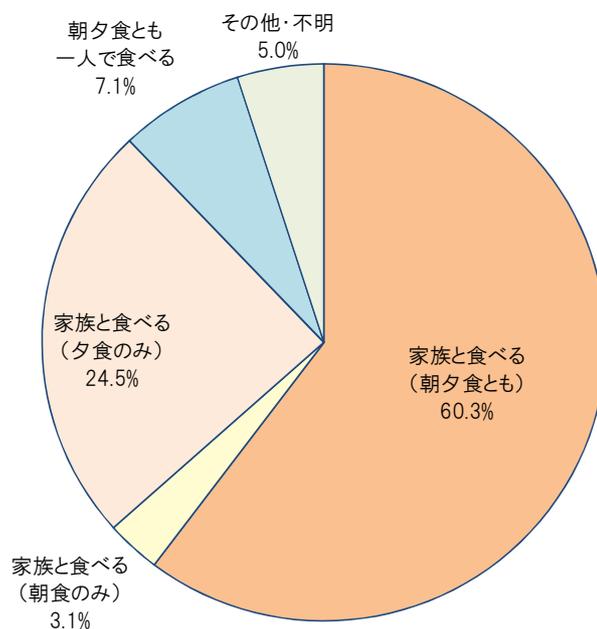
性別では「家族と夕食を食べる」は、女性(87.3%)の方が男性(81.9%)より5.4ポイント高い。



全体の6割が「朝夕食とも家族と食べる」

「朝夕食とも家族と食べる」は60.3%、「朝食のみ家族と食べる」は3.1%、「夕食のみ家族と食べる」は24.5%となっている。全体の約9割（87.9%）が、朝夕食とも、またはどちらかを家族と共に食べている。

「朝夕食とも、またはどちらかを家族と食べる」は26年度（91.3%）と比較すると3.4ポイント低くなっている。



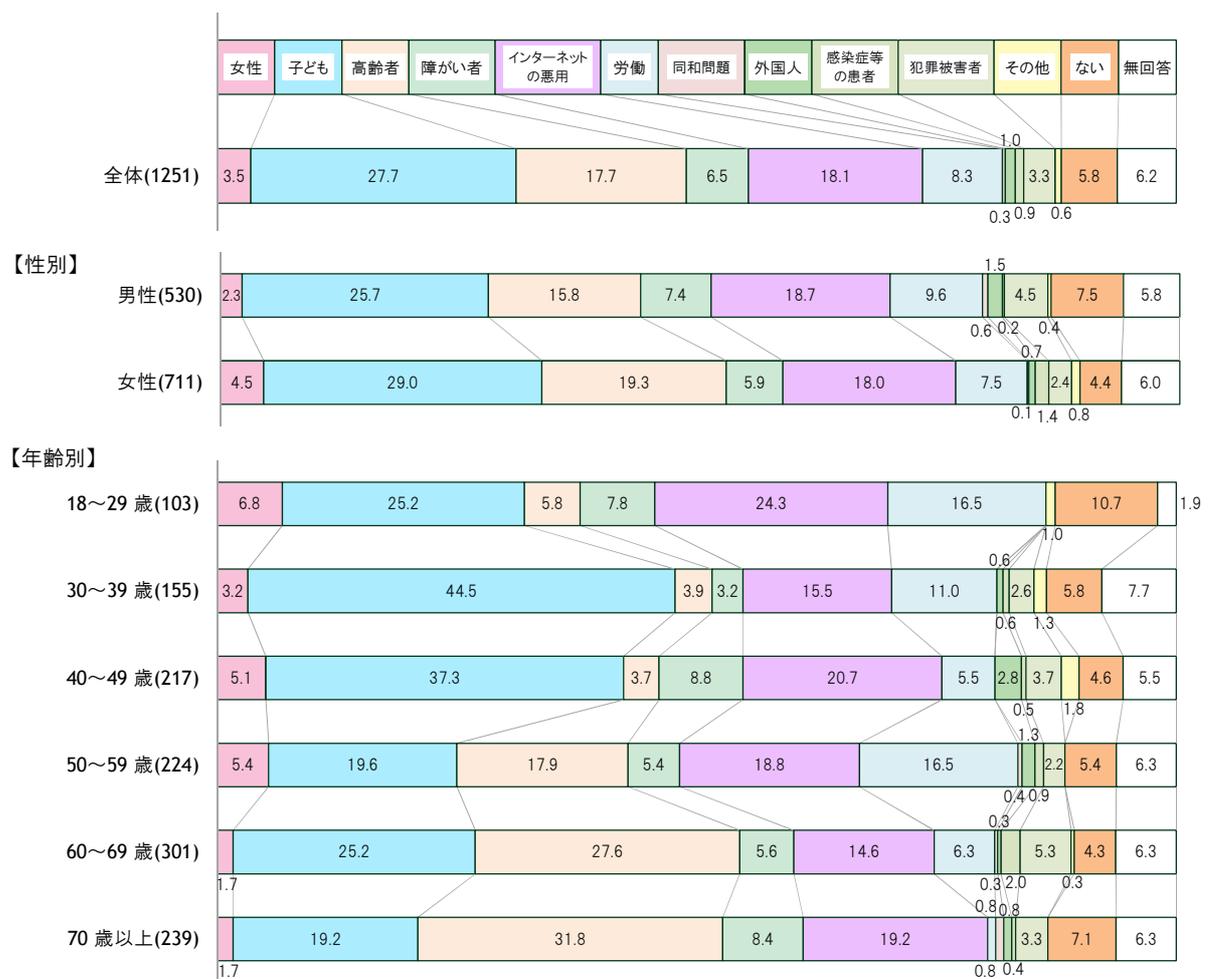
◆人権・男女共同参画について

問1 次の人権問題のうち、あなたが特に興味があるのはどれですか。(1つ)

全体の約3割が「子ども」を回答

「子ども」が全体の27.7%と最も高く、次に「インターネットの悪用」(18.1%)、「高齢者」(17.7%)が続いている。

性別では、「子ども」は女性(29.0%)の方が男性(25.7%)より3.3ポイント高い。年齢別にみると、「子ども」は30~39歳(44.5%)が最も高くなっている。「高齢者」は年齢の高い世代でその割合が高くなっている。

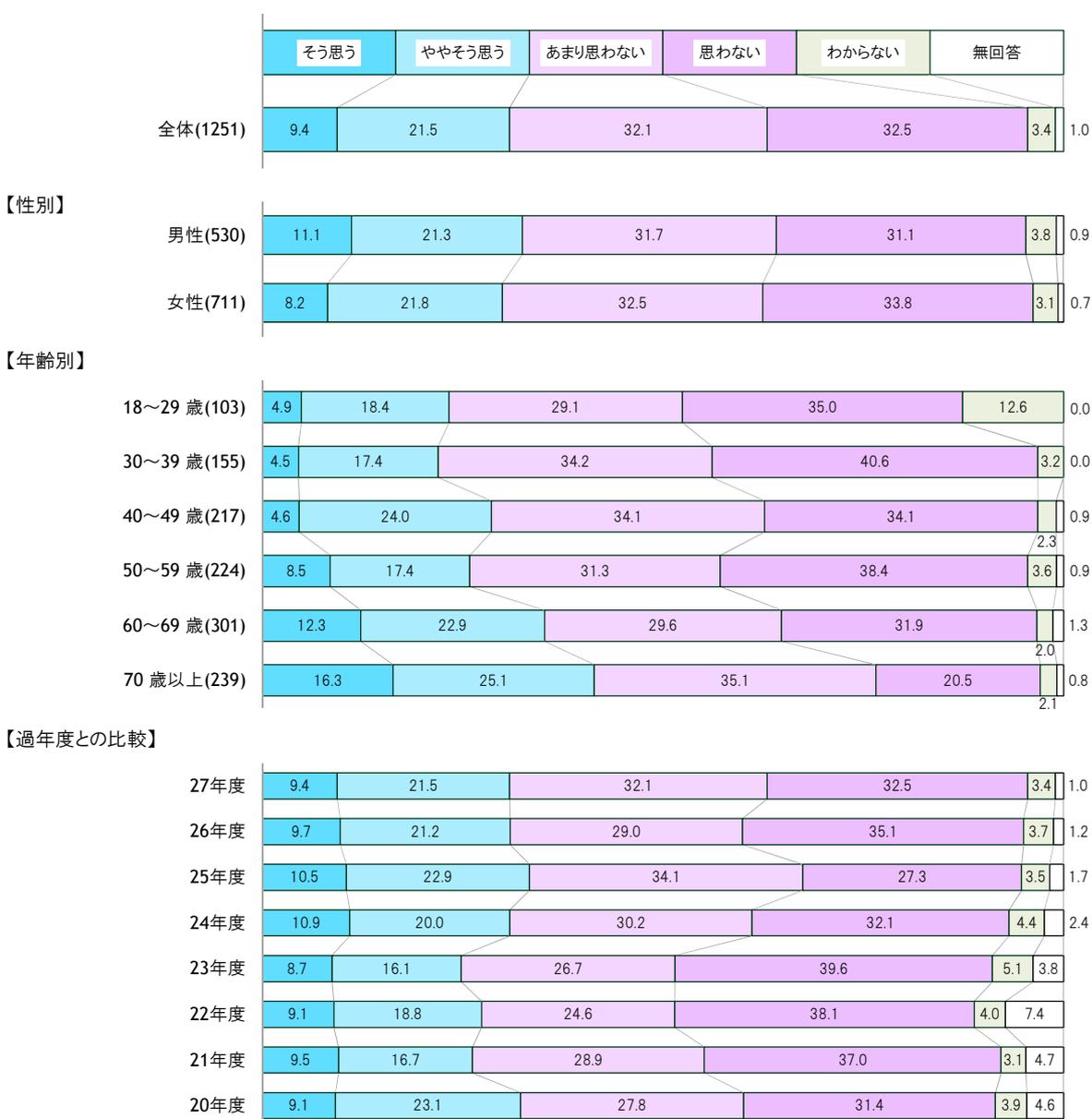


問2 あなたは、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだと思いますか。(1つ)

全体の6割以上が反対

「賛成」(「そう思う」(9.4%)と「ややそう思う」(21.5%)の合計)は全体の30.9%、「反対」(「あまり思わない」(32.1%)と「思わない」(32.5%)の合計)は全体の64.6%と、「反対」が「賛成」を33.7ポイント上回っている。

年齢別にみると「反対」は30～39歳(74.8%)が最も高く、70歳以上(55.6%)が最も低くなっている。過年度と比較すると、今回の結果は「賛成」、「反対」ともに平均的な割合となっている。

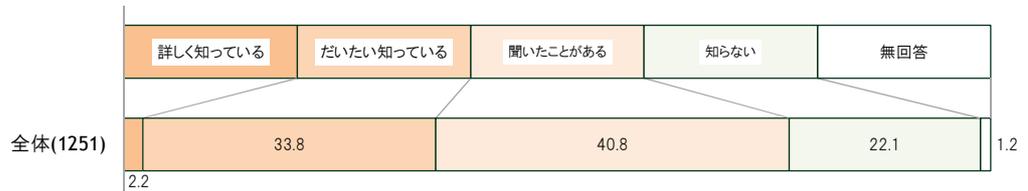


問3 あなたは、国をはじめ、県や市が男女共同参画社会の実現を目指して積極的に取り組んでいることをご存知ですか。(1つ)

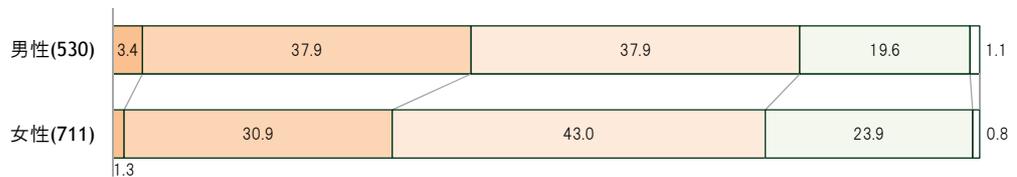
全体の約4割が「知っている」

「知っている」(「詳しく知っている」(2.2%)と「だいたい知っている」(33.8%)の合計)は、全体の36.0%となっている。

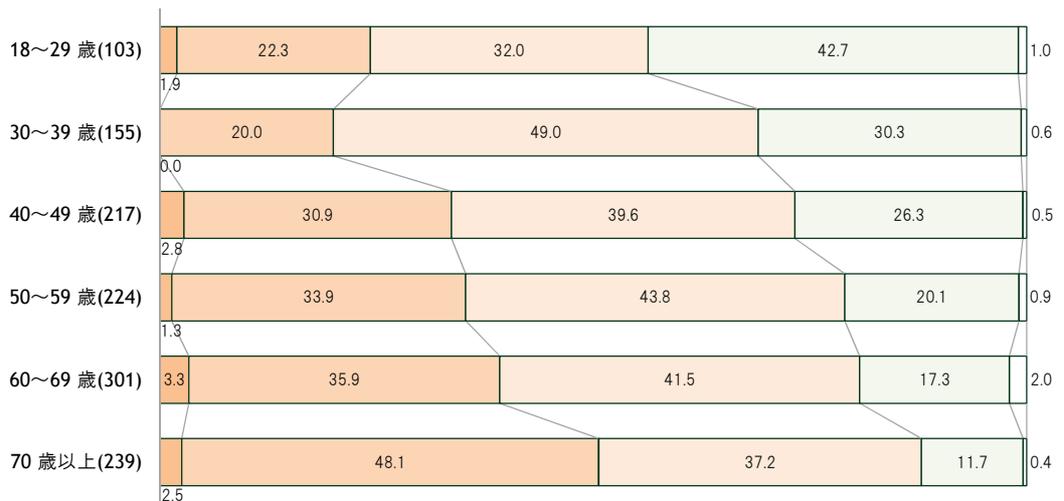
性別では、「知っている」は男性(41.3%)の方が女性(32.2%)より9.1ポイント高い。年齢別にみると、「知っている」は70歳以上(50.6%)が最も高く、高い年代ほどその割合が高い傾向がある。



【性別】



【年齢別】



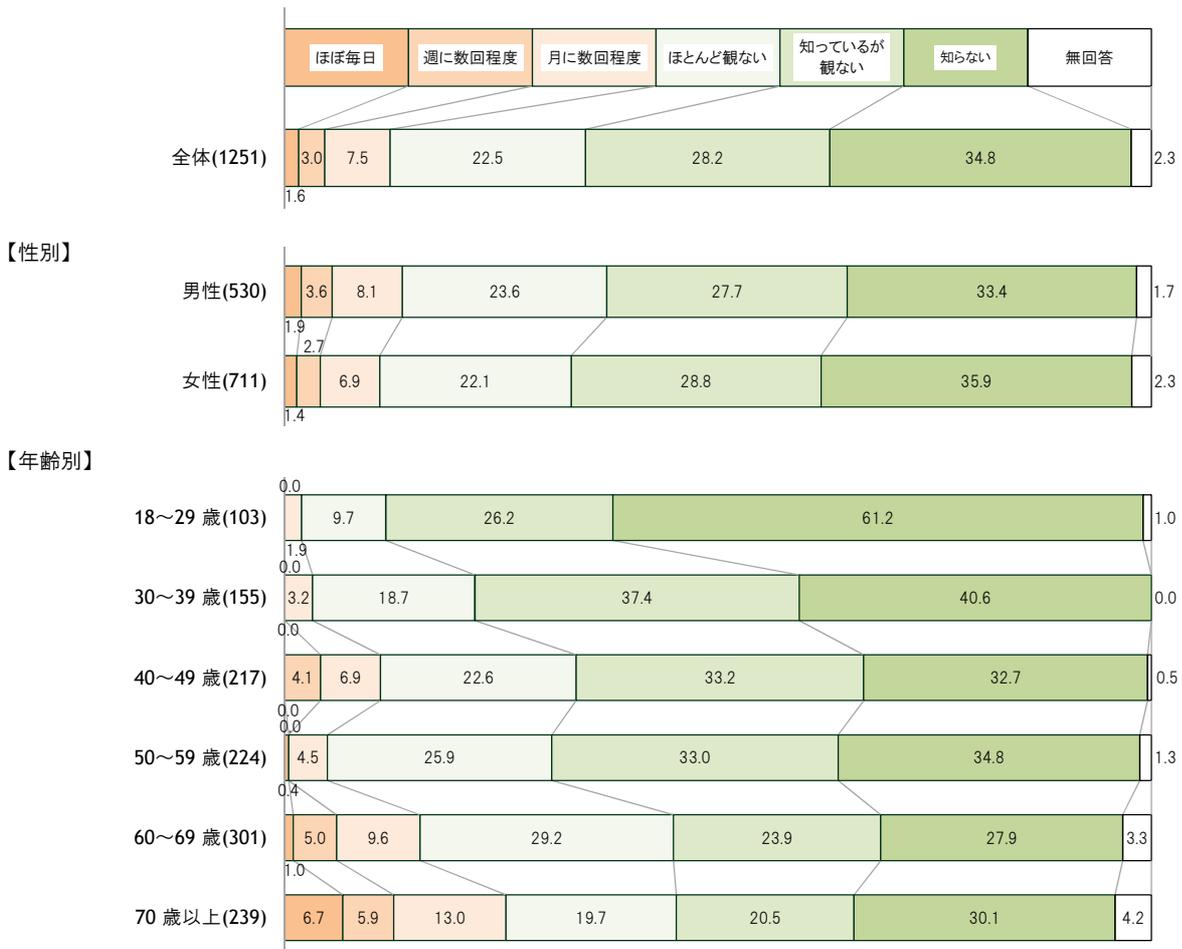
◆行政チャンネル「ふくチャンネル」について

問1 あなたは、ケーブルテレビの行政チャンネル「ふくチャンネル」を知っていますか。また、どのくらいの頻度でご覧になりますか。(1つ)

全体の6割が「ふくチャンネルを知っている」

「ふくチャンネルを知っている」(「ほぼ毎日」(1.6%)、「週に数回程度」(3.0%)、「月に数回程度」(7.5%)、「ほとんど観ない」(22.5%)、「知っているが観ない」(28.2%)の合計)は全体の62.8%となっている。

年齢別にみると、「ふくチャンネルを知っている」は18～29歳(37.8%)が最も低くなっている。

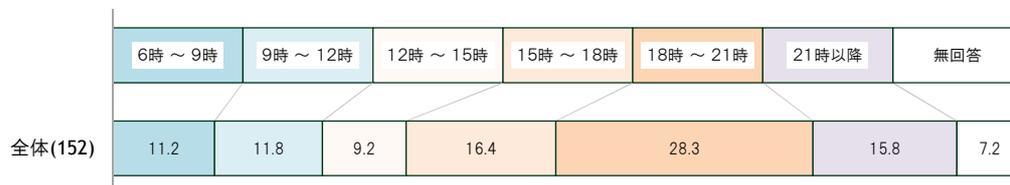


(問1で「ほぼ毎日」「週に数回程度」「月に数回程度」と答えた方にお聞きします)

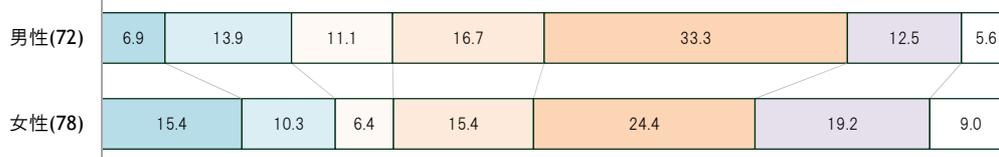
問1-2 ご覧いただいている主な時間帯はいつですか。(1つ)

全体の4割が「18時以降」にふくチャンネルを観る

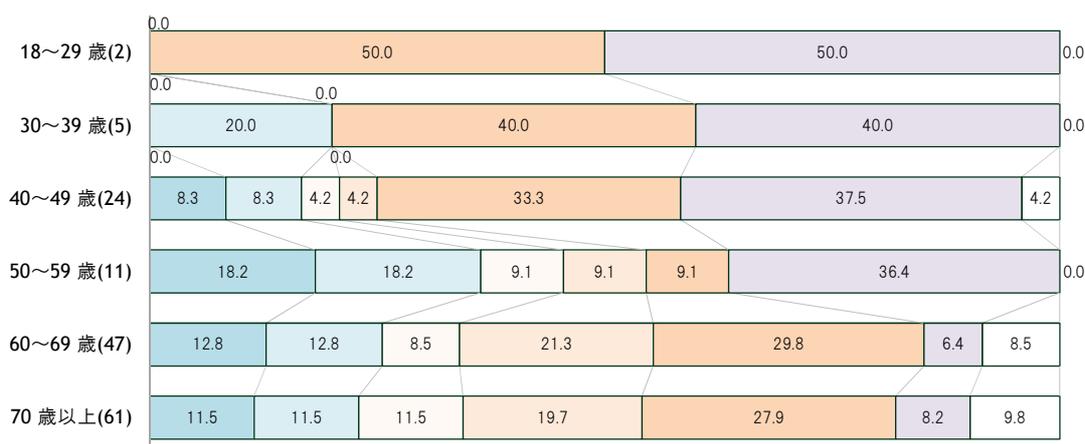
「18時～21時」が全体の28.3%と最も高く、「18時以降」(「18時～21時」(28.3%)、「21時以降」(15.8%)の合計)は全体の44.1%となっている。



【性別】



【年齢別】

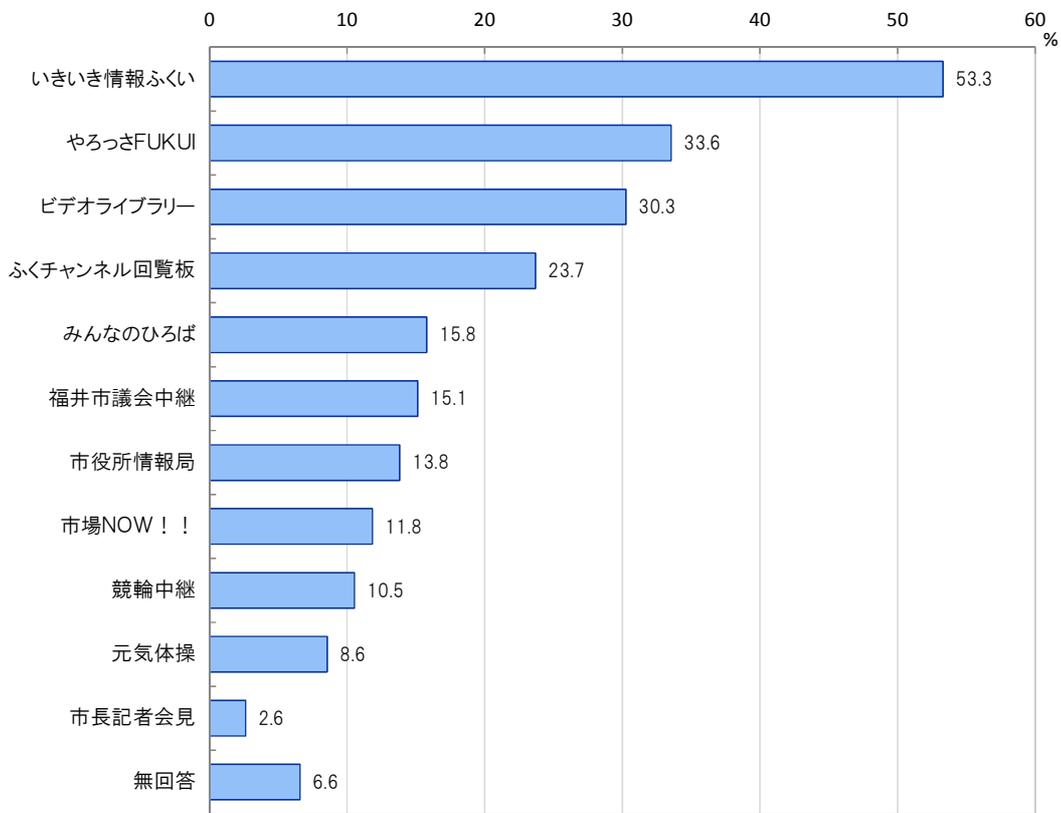


(問1で「ほぼ毎日」「週に数回程度」「月に数回程度」と答えた方にお聞きします)

問1-3 「ふくチャンネル」でよくご覧になる番組は何ですか。(3つまで)

全体の5割が「いきいき情報ふくい」を観ると回答

「いきいき情報ふくい」と回答した割合が53.3%と最も高く、次に「やろっさFUKUI」(33.6%)、「ビデオライブラリー」(30.3%)と続いている。



MA(N=152)

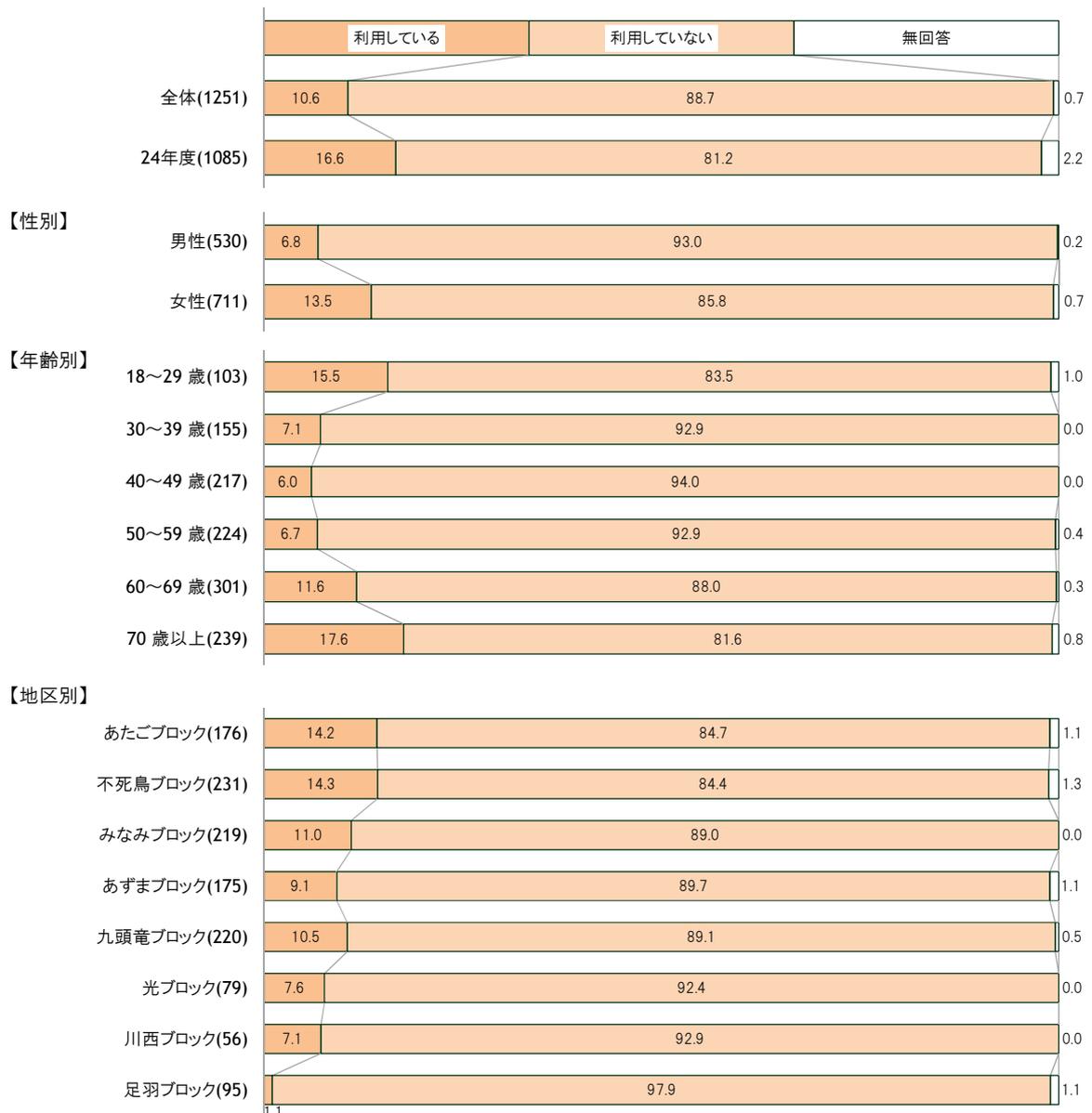
◆福井市の生活環境について

問1 あなたは、通勤・通学や買い物、通院など日常生活でバス・電車を利用していますか。
(1つ)

全体の約9割が「利用していない」

「利用していない」は全体の88.7%と、「利用している」(10.6%)を78.1ポイント上回っている。

性別では「利用している」は、女性(13.5%)の方が男性(6.8%)より6.7ポイント高い。24年度(16.6%)と比べて「利用している」は6.0ポイント低くなっている。

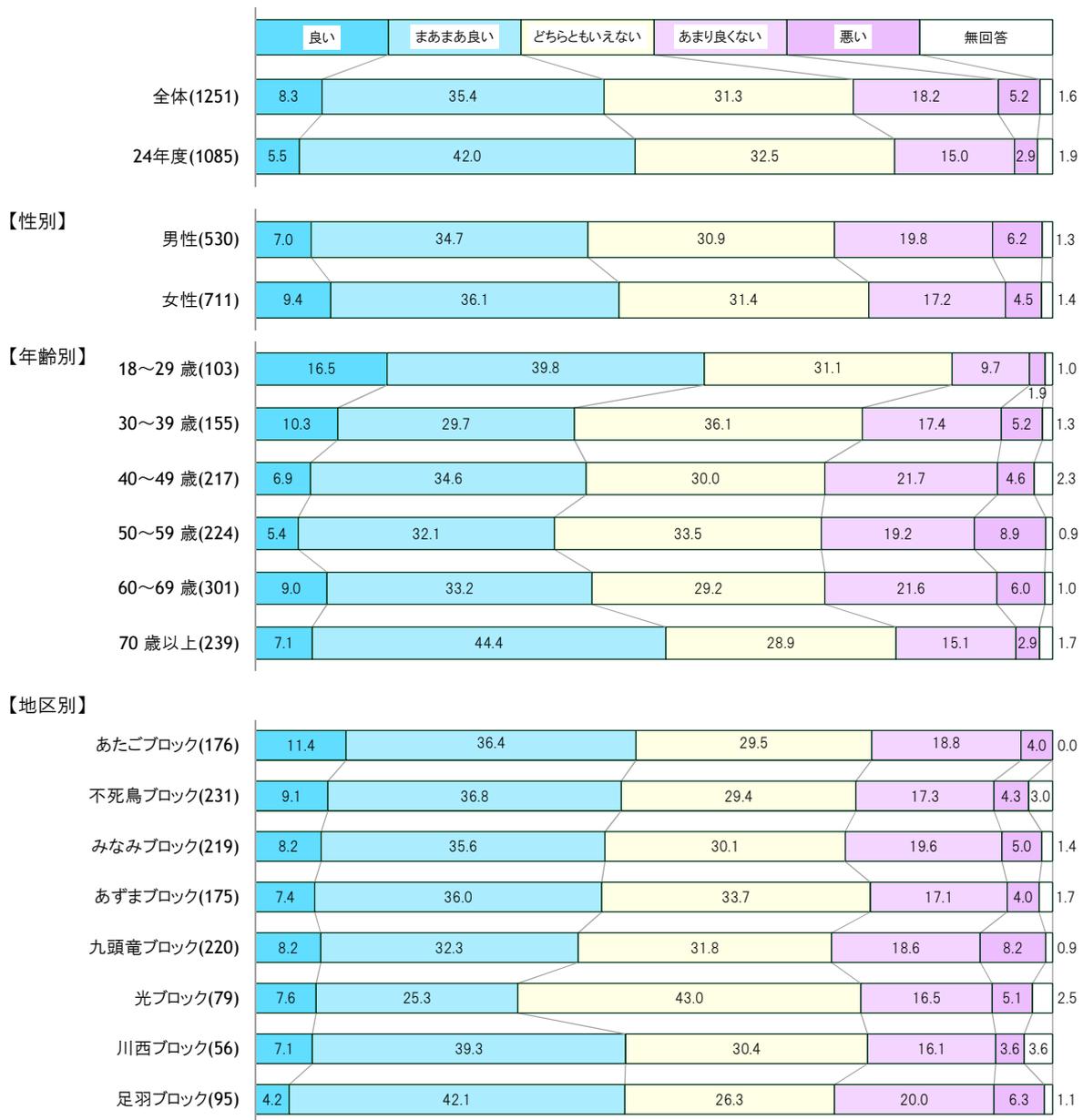


問2 あなたは、福井市の景観（自然と調和したまちなみ・市街地など）に対してどんな印象をお持ちですか。（1つ）

全体の4割が「良いイメージ」を持っている

「良いイメージ」（「良い」（8.3%）と「まあまあ良い」（35.4%）の合計）は全体の43.7%で、「悪いイメージ」（「あまり良くない」（18.2%）と「悪い」（5.2%）の合計）の23.4%を20.3ポイント上回っている。

性別では「良いイメージ」「悪いイメージ」ともにあまり差はみられない。年齢別にみると、「良いイメージ」は18～29歳（56.3%）が最も高くなっている。24年度（47.5%）と比べて「良いイメージ」は3.8ポイント低くなっている。



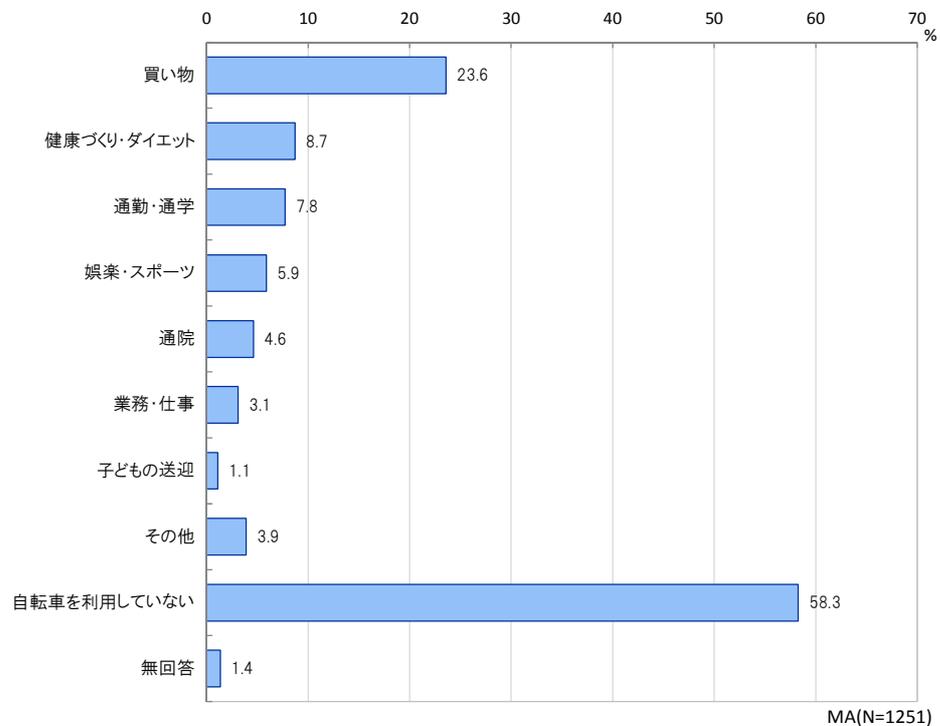
◆自転車の利用について

問1 あなたは、どのような目的で自転車を利用していますか。(2つまで)

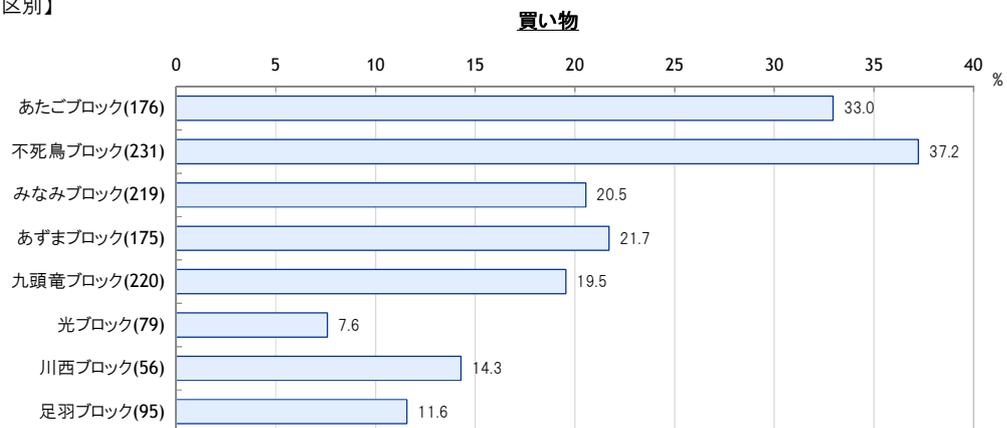
全体の2割が「買い物」で自転車を利用している

「自転車を利用していない」が全体の58.3%と最も高く、自転車を利用する目的としては「買い物」が全体の23.6%と最も高くなっている。

地区別にみると「買い物」は不死鳥ブロック(37.2%)とあたごブロック(33.0%)が高くなっている。



【地区別】

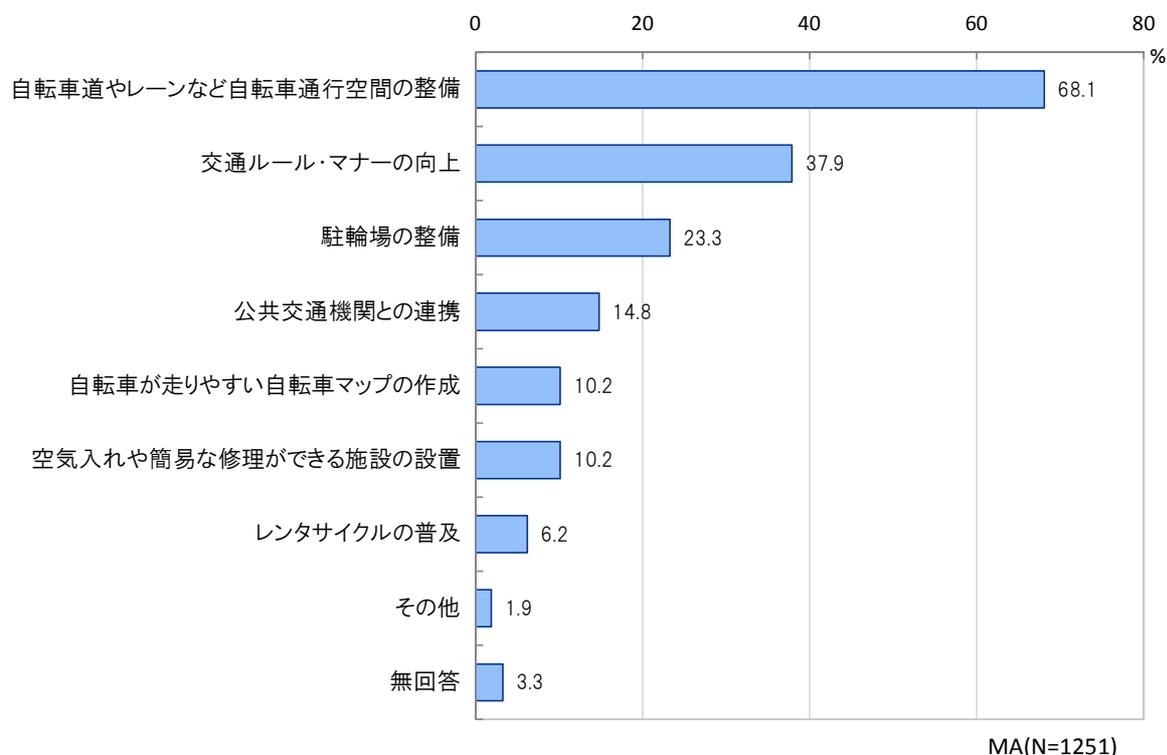


問2 あなたは、自転車の利用を推進するためには、どのような取組みが必要だと思いますか。
(2つまで)

全体の約7割が「自転車道やレーンなど自転車道通行空間の整備」が必要

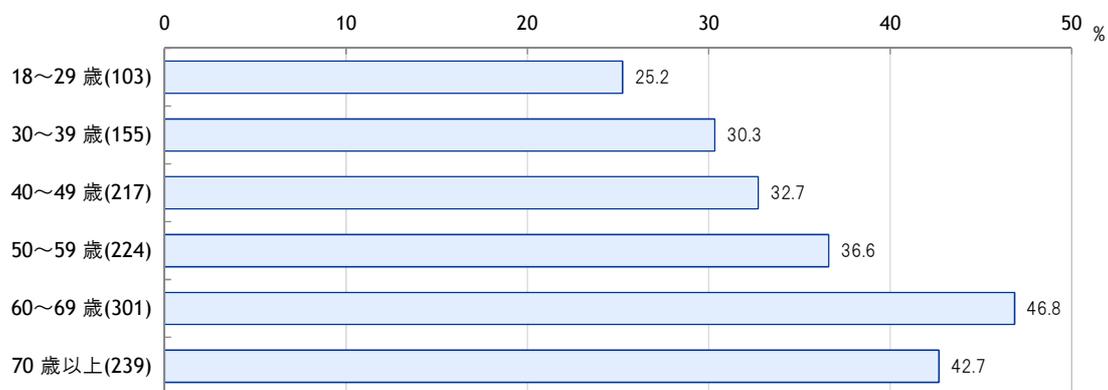
「自転車道やレーンなど自転車道通行空間の整備」が全体の68.1%と最も高く、次に「交通ルール・マナーの向上」(37.9%)が続いている。

年齢別にみると、「交通ルール・マナーの向上」は高い年代ほどその割合が高い傾向がある。



【年齢別】

交通ルール・マナーの向上



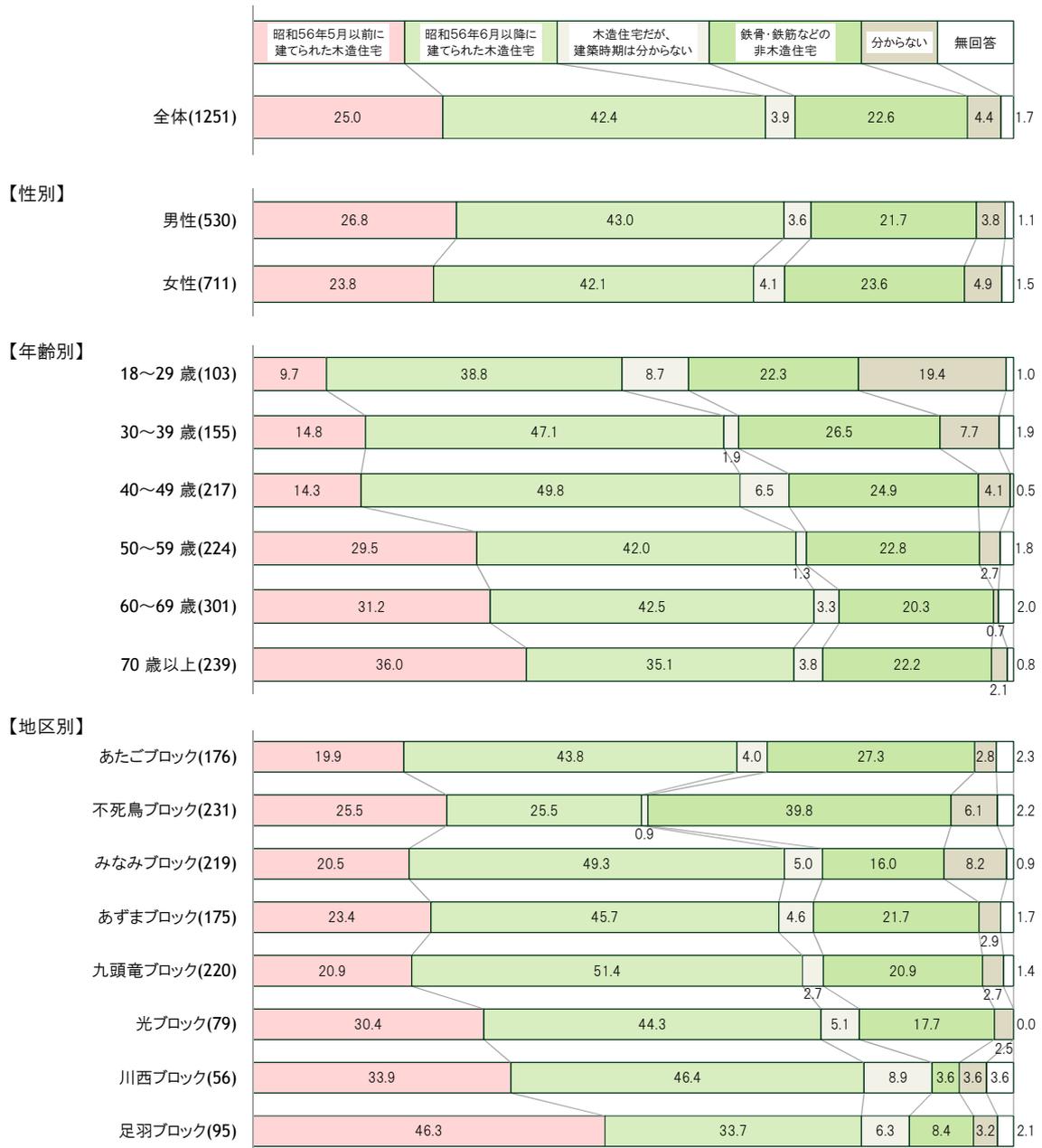
◆耐震について

問1 あなたのお住まいは、いつ頃建てられた、どのような建築構造の住宅ですか。(1つ)

全体の4割が「昭和56年6月以降に建てられた木造住宅」と回答

「昭和56年6月以降に建てられた木造住宅」が全体の42.4%と最も高く、次に「昭和56年5月以前に建てられた木造住宅」(25.0%)が続いている。

地区別にみると、「昭和56年5月以前の木造住宅」は足羽ブロック(46.3%)が最も高くなっている。



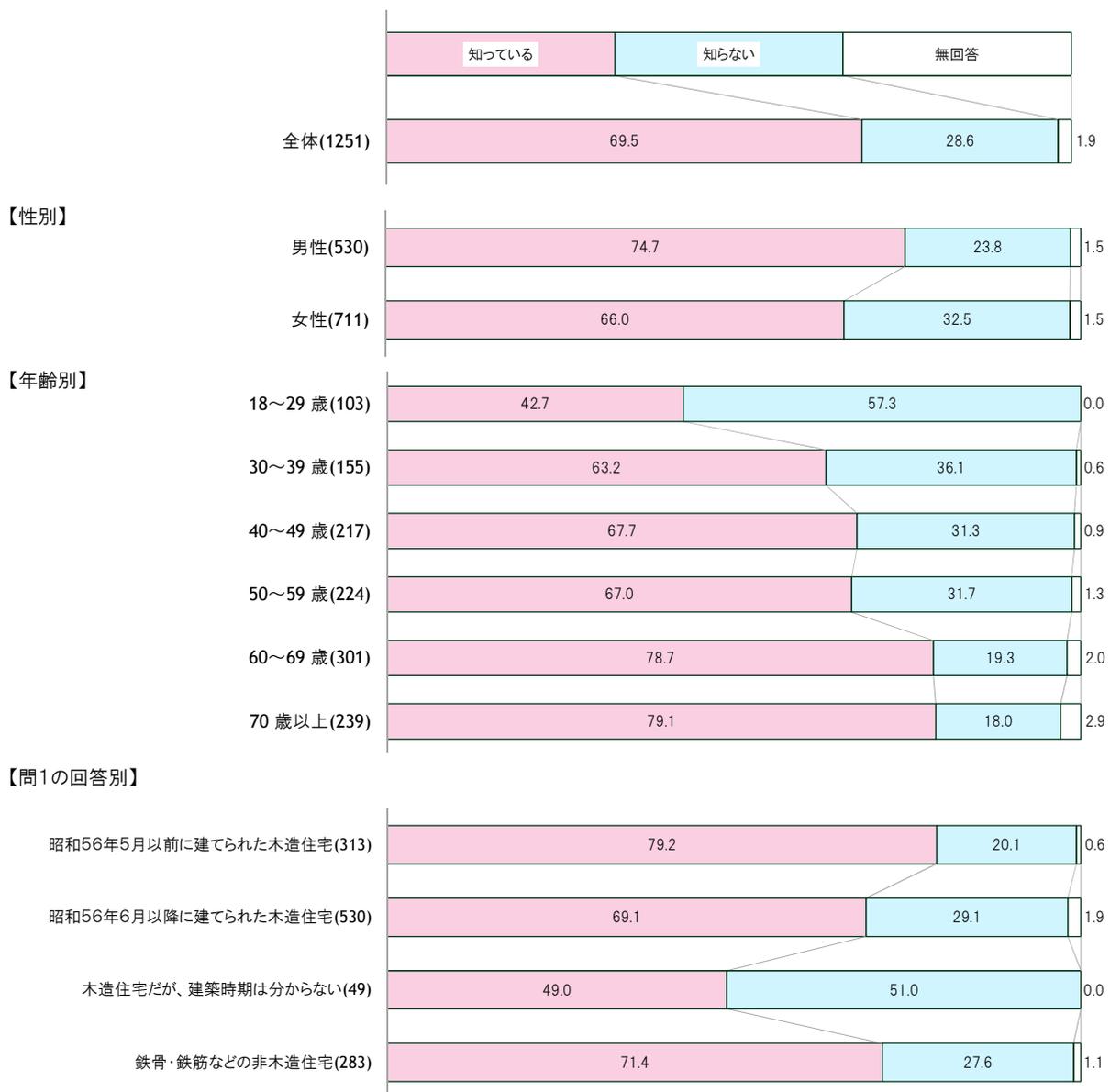
問2 あなたは、昭和56年5月以前に建てられた木造住宅が、強い地震が起きた場合に倒壊する可能性が高いと指摘されていることをご存知ですか。(1つ)

全体の約7割が「知っている」と回答

「知っている」が全体の69.5%と、「知らない」(28.6%)を40.9ポイント上回っている。

性別では、「知っている」は男性(74.7%)の方が女性(66.0%)より8.7ポイント高い。年齢別にみると、「知っている」は年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向がある。

問1で「昭和56年5月以前に建てられた木造住宅」に住んでいると回答した方の79.2%が「知っている」と回答している。



問3 あなたは、大きな地震が発生した時に、今住んでいる建物の被害はどの程度だとお考えですか。(1つ)

全体の7割が「被害を受ける」と回答

「被害を受ける」(「多少の被害を受ける」(38.6%)と「かなりの被害を受ける」(32.4%)の合計)は全体の71.0%となっている。

問1で「昭和56年5月以前に建てられた木造住宅」に住んでいると回答した方の61.3%が「かなりの被害を受ける」と回答している。一方で、「鉄骨・鉄筋などの非木造住宅」に住んでいると回答した方の14.1%が「かなりの被害を受ける」と回答している。



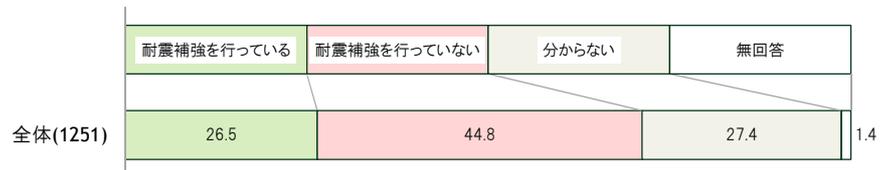
問4 あなたのお住まいは、耐震補強を行っていますか。(1つ)

全体の4割が「耐震補強を行っていない」

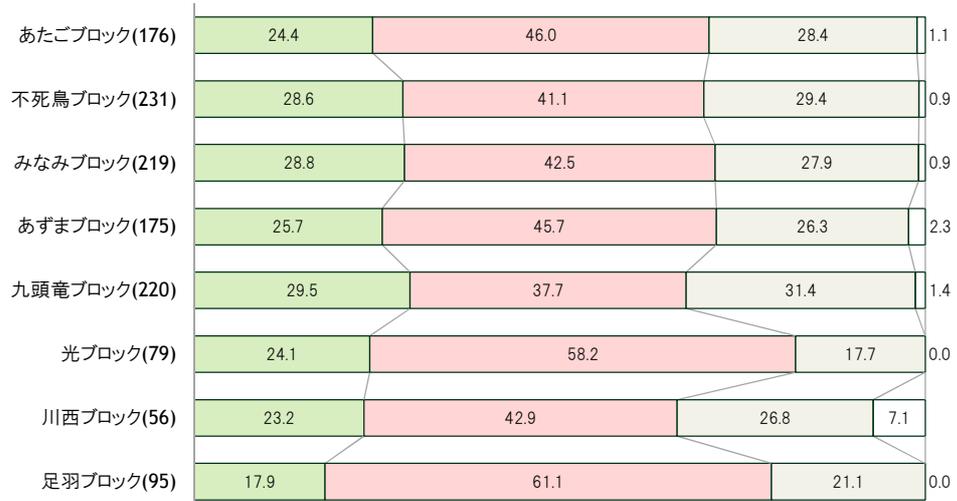
「耐震補強を行っていない」が全体の44.8%と最も高くなっている。

地区別に見ると、「耐震補強を行っていない」は足羽ブロック(61.1%)が最も高くなっている。

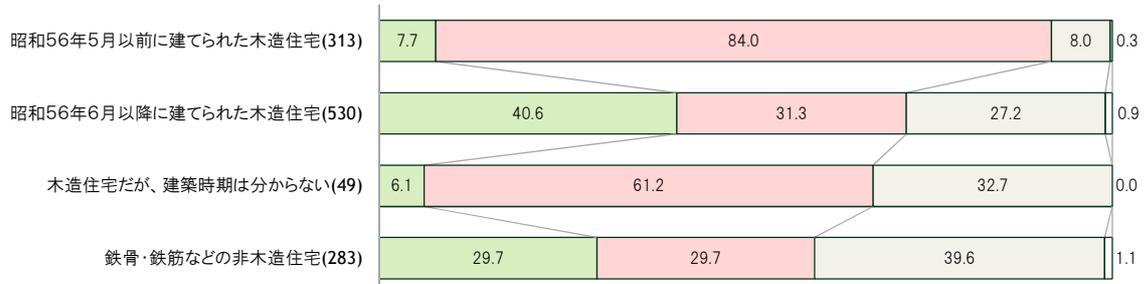
問1で「昭和56年5月以前に建てられた木造住宅」と回答した方の84.0%が「耐震補強を行っていない」と回答している。



【地区別】



【問1の回答別】



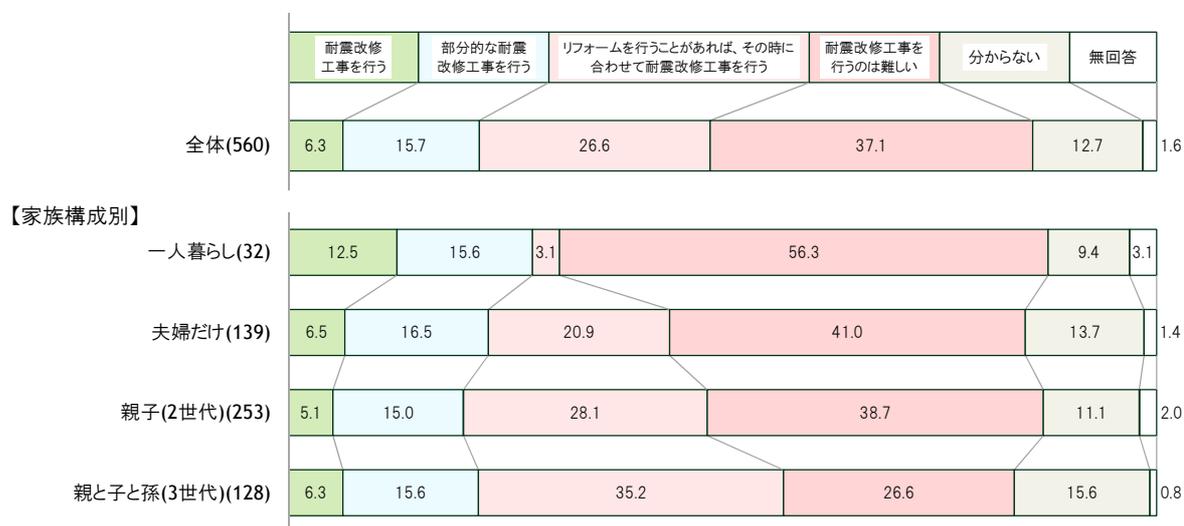
(問4で「耐震補強を行っていない」と答えた方にお聞きします)

問4-2 耐震診断を行った結果、あなたのお住まいの耐震性が低く「倒壊する可能性が高い」と分かった場合、あなたは、耐震改修工事を行いますか。(1つ)

全体の約4割が「耐震改修工事を行うのは難しい」と回答

「耐震改修工事を行うのは難しい」が全体の37.1%と最も高くなっている。

家族構成別に見ると、「耐震改修工事を行うのは難しい」は一人暮らし(56.3%)が最も高く、世帯人員が少ないほどその割合が高くなっている。



◆福井市の住みやすさについて

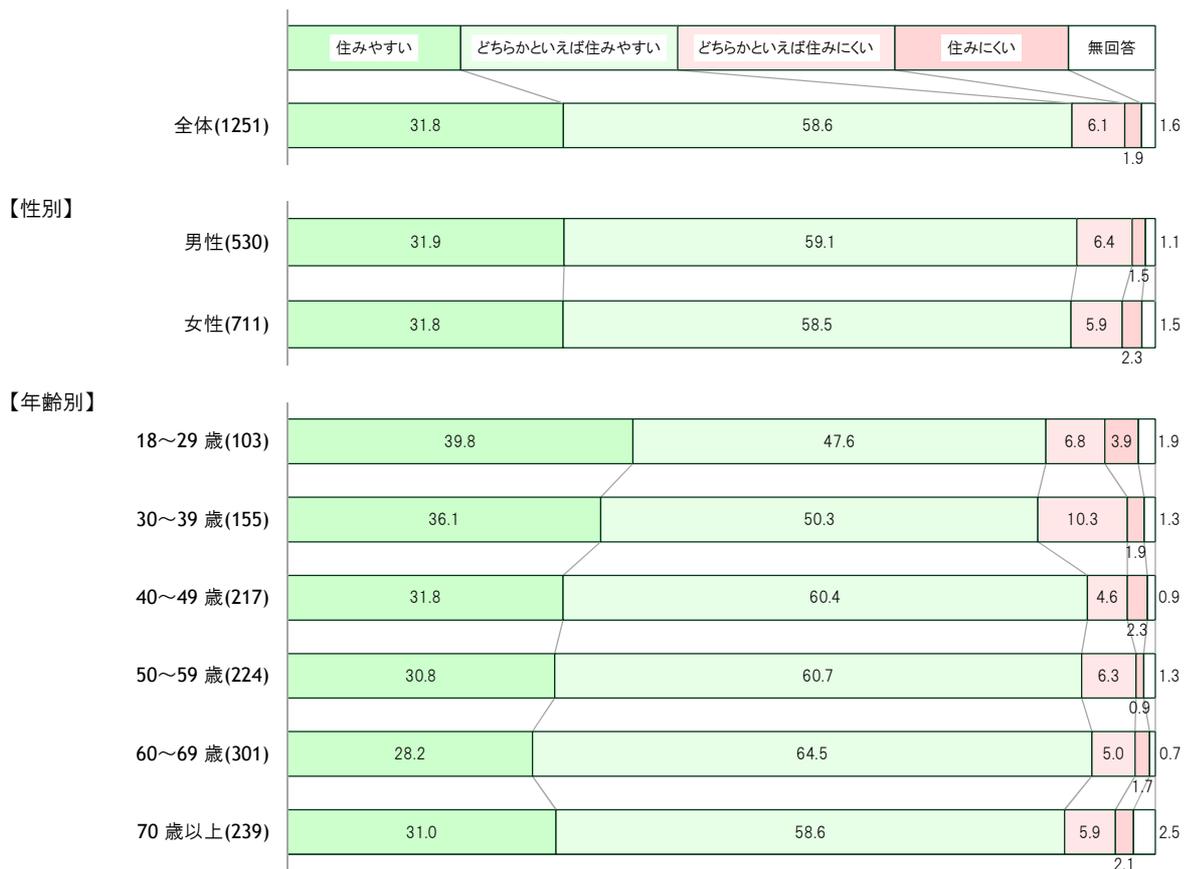
※問1の調査結果については、20ページ以降をご覧ください。

問2 あなたは、福井市は住みやすいまちだと思いますか。(1つ)

全体の9割が「福井市は住みやすい」と回答

「福井市は住みやすい」(「住みやすい」(31.8%)と「どちらかといえば住みやすい」(58.6%)の合計)は全体の90.4%で、「福井市は住みにくい」(「どちらかといえば住みにくい」(6.1%)と「住みにくい」(1.9%)の合計)の8.0%を82.4ポイント上回っている。

性別や年齢にあまり差はみられない。

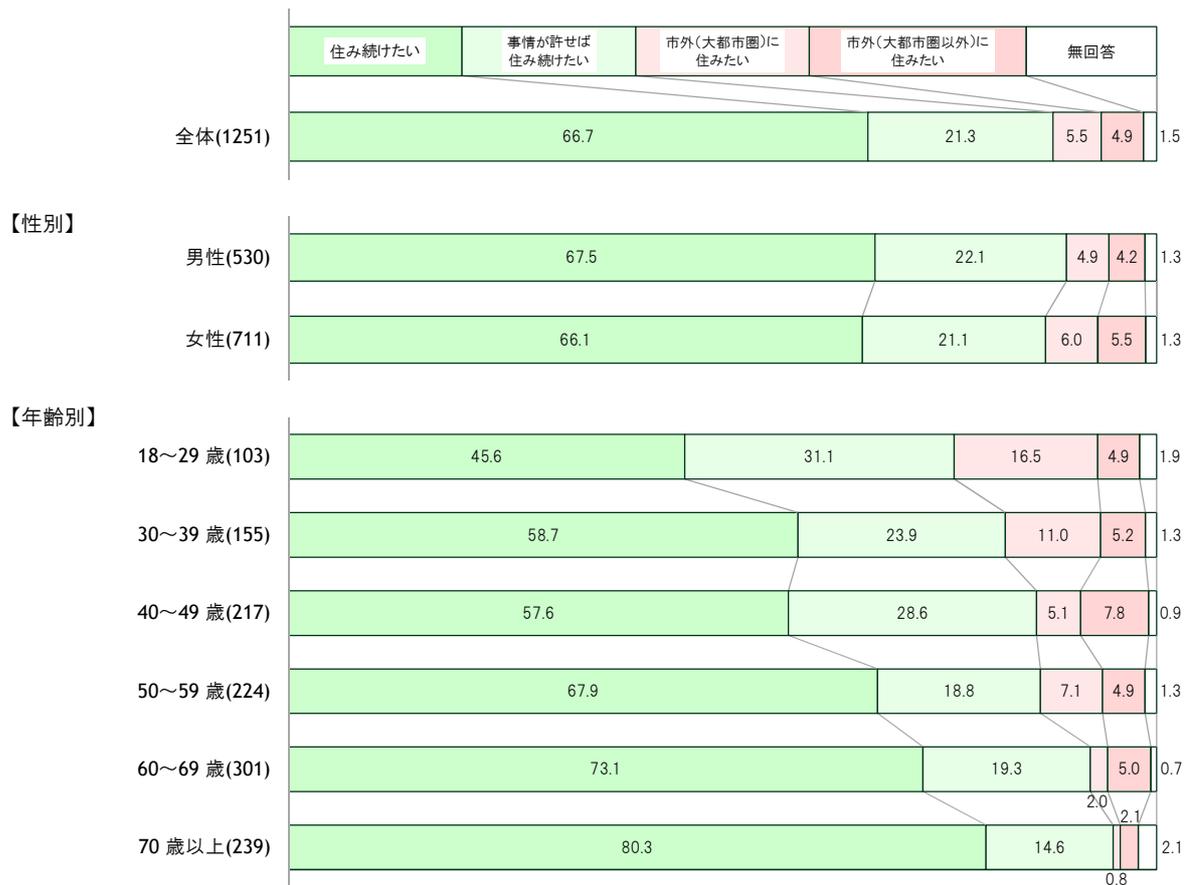


問3 あなたは、福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。(1つ)

全体の約9割が「これからも住み続けたい」

「これからも住み続けたい」(「住み続けたい」(66.7%)と「事情が許せば住み続けたい」(21.3%)の合計)は全体の88.0%で、「市外に住みたい」(「大都市圏に住みたい」(5.5%)と「大都市圏以外に住みたい」(4.9%)の合計)の10.4%を、77.6ポイント上回っている。

性別による差はみられない。年齢別にみると、「住み続けたい」は60～69歳(92.4%)が最も高く、高い年代ほど割合が高くなる傾向がある。



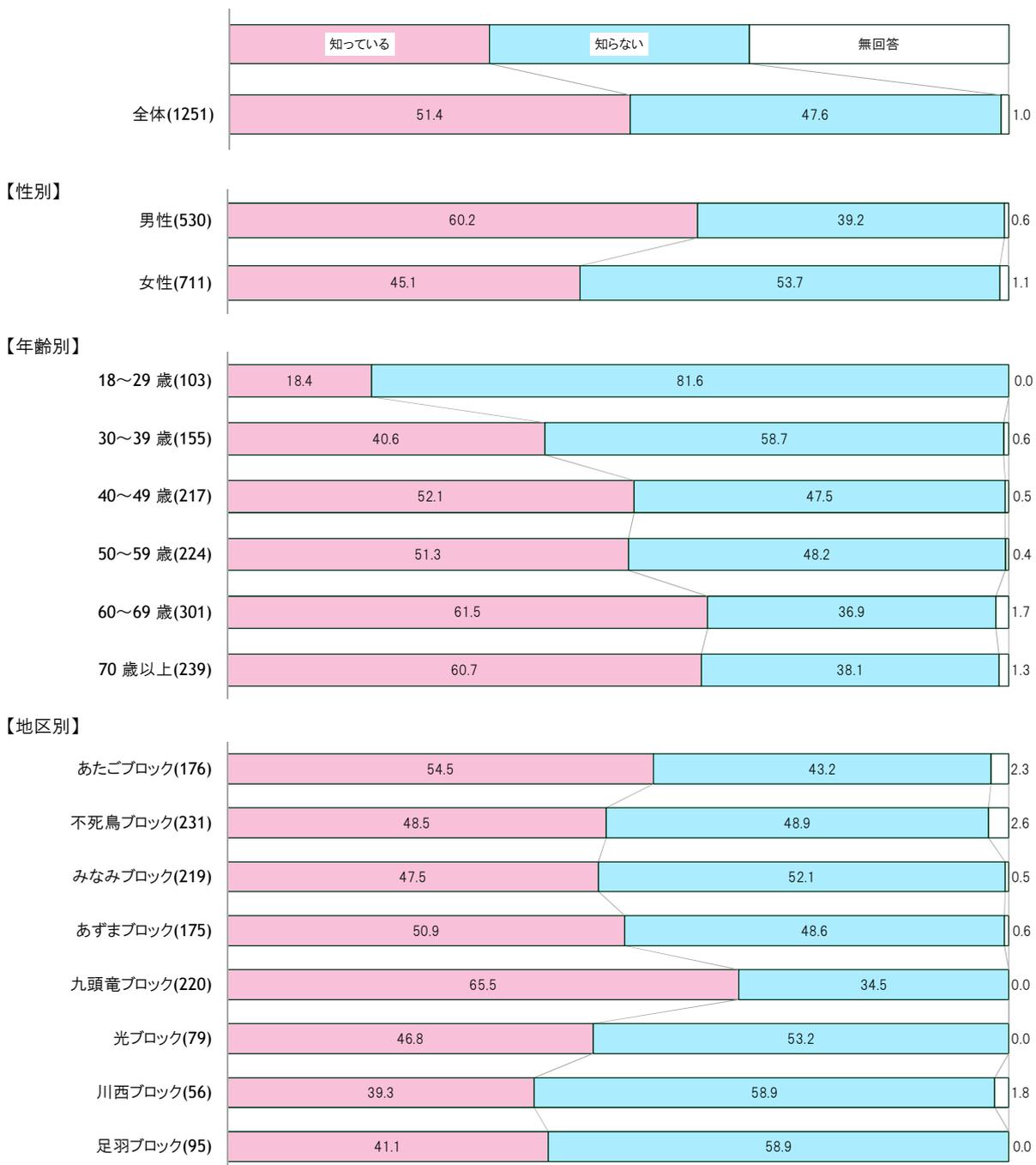
◆保留地について

問1 あなたは、福井市が土地区画整理事業によって生まれた新しい土地「保留地」を販売していることをご存知ですか。(1つ)

全体の半数が「知っている」と回答

「知っている」は全体の51.4%となっている。

性別では、「知っている」は男性(60.2%)の方が女性(45.1%)より15.1ポイント高い。地区別にみると、「知っている」は九頭竜ブロック(65.5%)が最も高い。



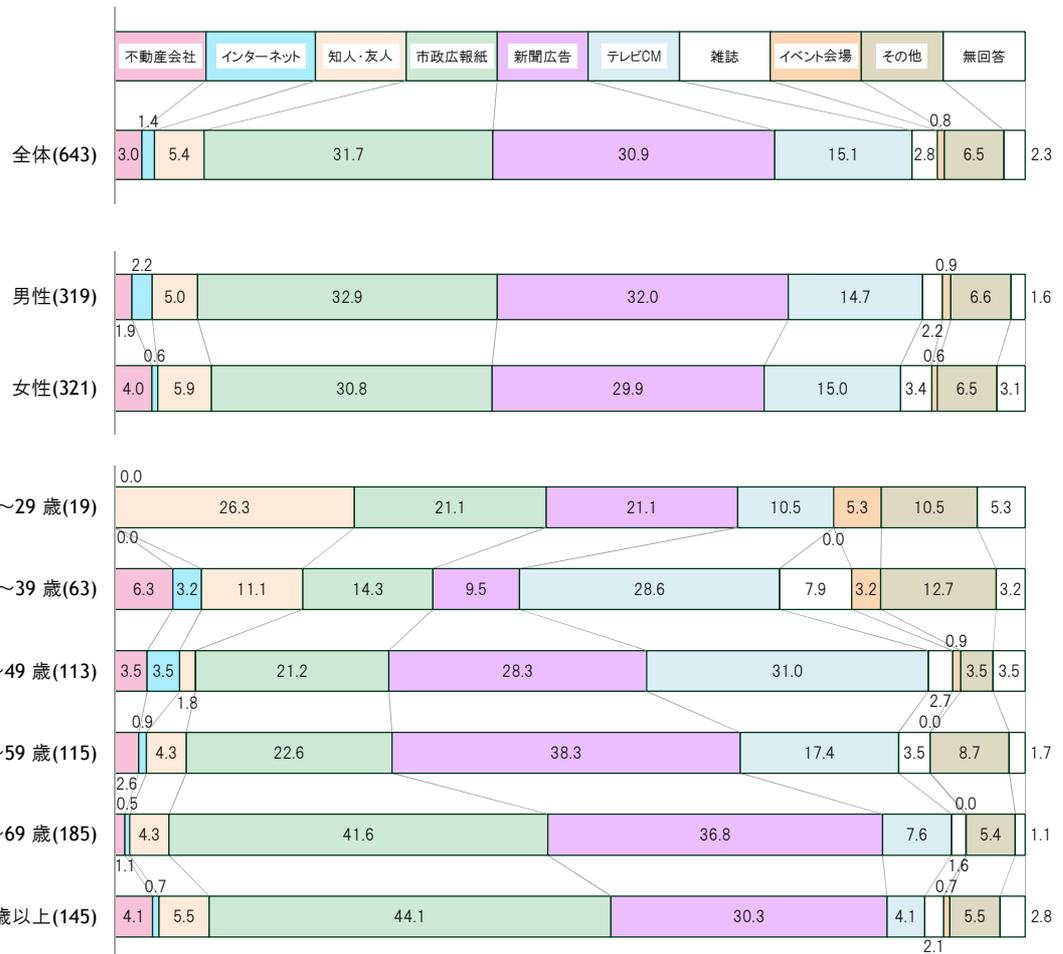
(問1で「知っている」と答えた方にお聞きします)

問1-2 あなたは、福井市が保留地を販売していることをどのようにして知りましたか。最も印象に残ったものをお答えください。(1つ)

「市政広報紙」と「新聞広告」の割合が高い

全体では「市政広報紙」(31.7%)と「新聞広告」(30.9%)の割合が高くなっている。

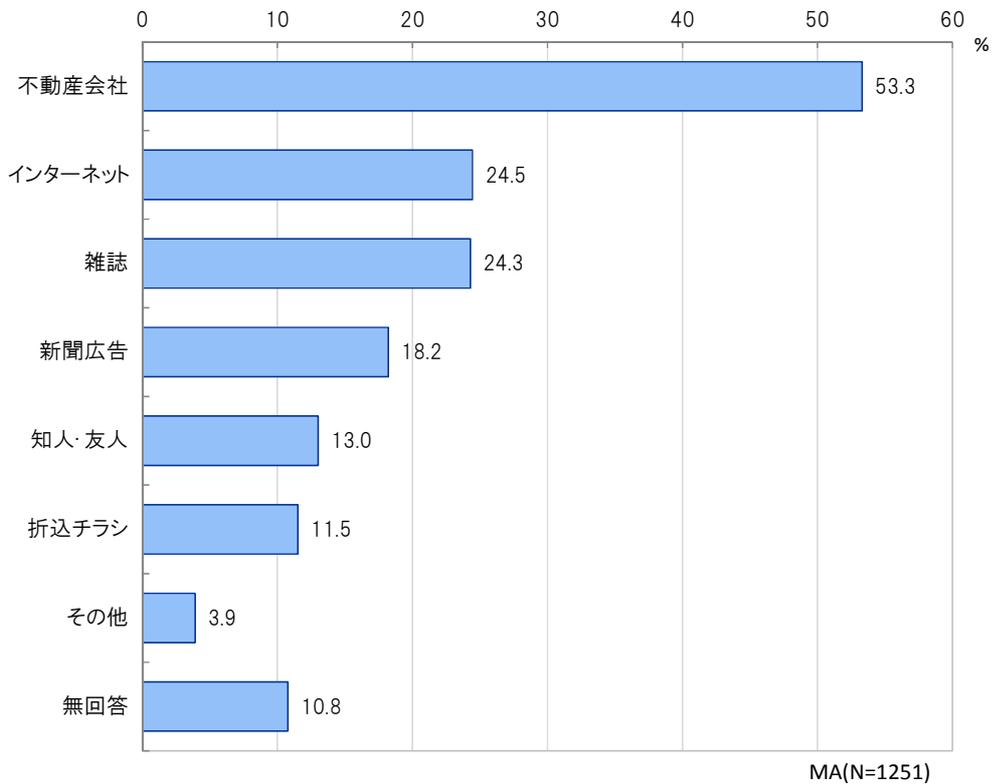
性別による差はみられない。年齢別にみると、「市政広報紙」は70歳以上(44.1%)と60～69歳(41.6%)が高くなっている。



問2 あなたは、土地の購入を検討する場合、どのようにして情報を得ますか。(2つまで)

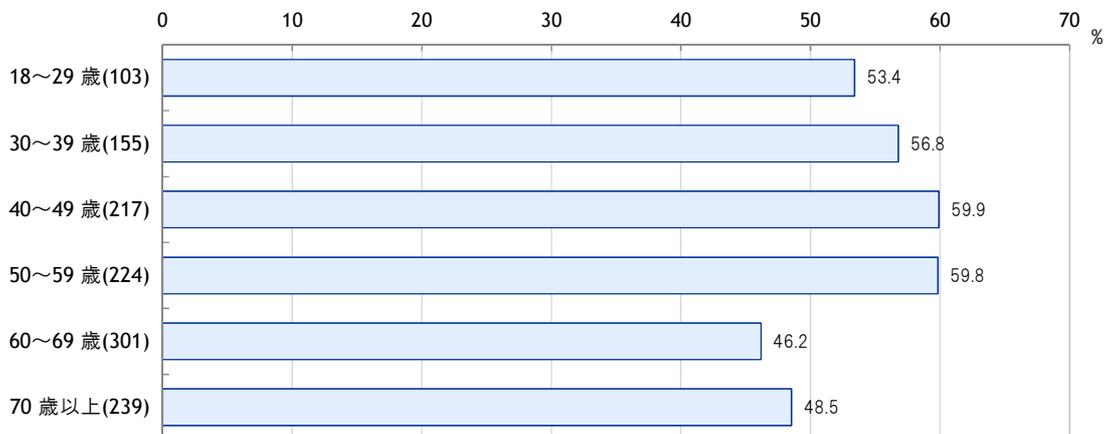
全体の半数が「不動産会社」で情報を得ると回答

「不動産会社」が全体の53.3%と最も高くなっている。
 年齢別にみると、「不動産会社」は40～49歳(59.9%)と50～59歳(59.8%)が高くなっている。



【年齢別】

不動産会社



◆福井市の緑と公園について

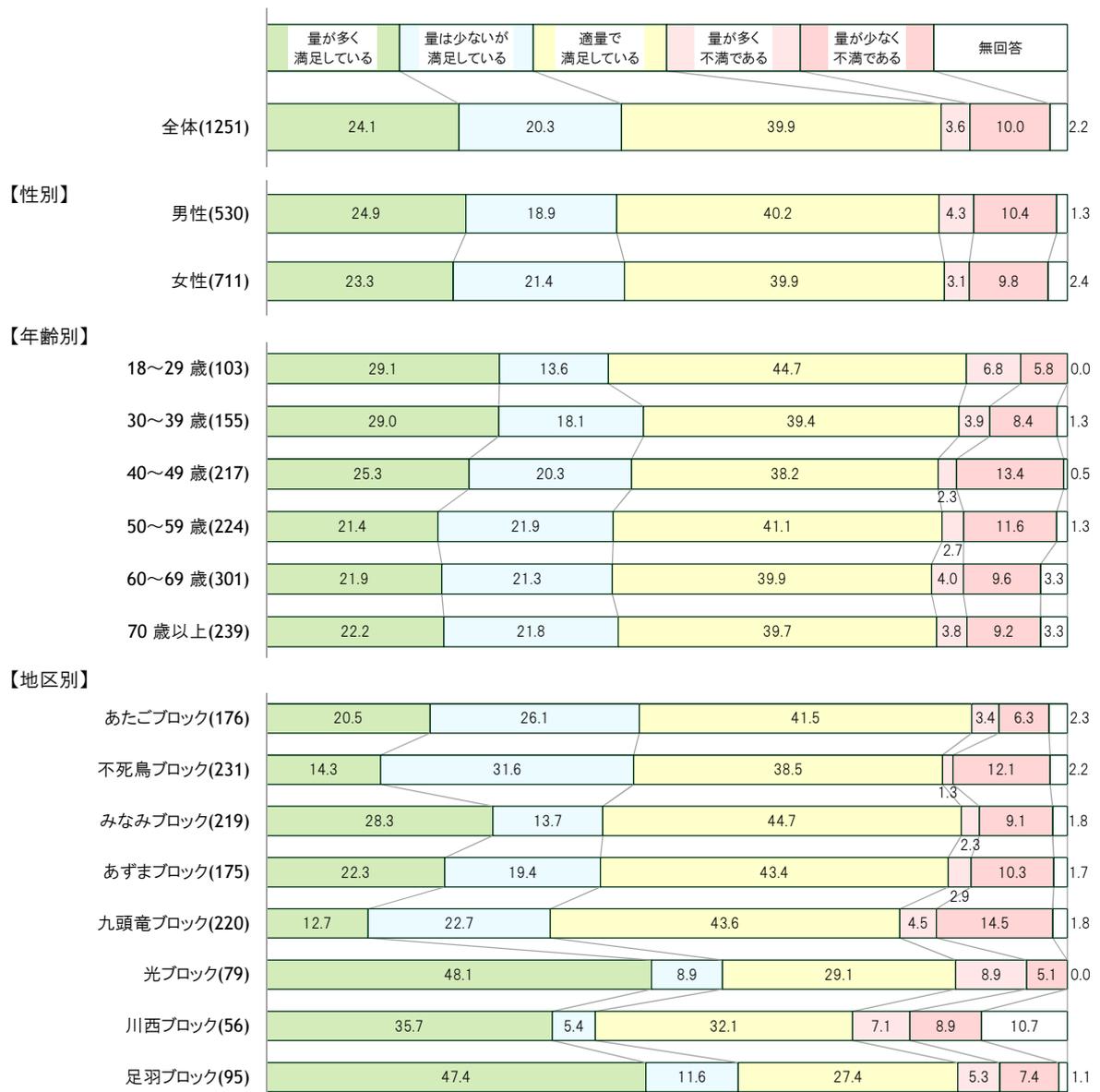
問1 あなたは、お住まい近くの 緑の量（山林や街路樹など、身の周りの樹木や草花）と公園の量に満足していますか。（1つ）

緑の量

全体の8割以上が「満足している」

「満足している」（「量が多く満足している」（24.1%）、「量は少ないが満足している」（20.3%）、「適量で満足している」（39.9%）の合計）は全体の84.3%と、「不満である」（「量が多く不満である」（3.6%）と「量が少なく不満である」（10.0%）の合計）の13.6%を70.7ポイント上回っている。

性別及び年齢別では、「満足している」「不満である」に差はみられない。地区別にみると、「量が多く満足している」は光ブロック（48.1%）と足羽ブロック（47.4%）が高くなっている。

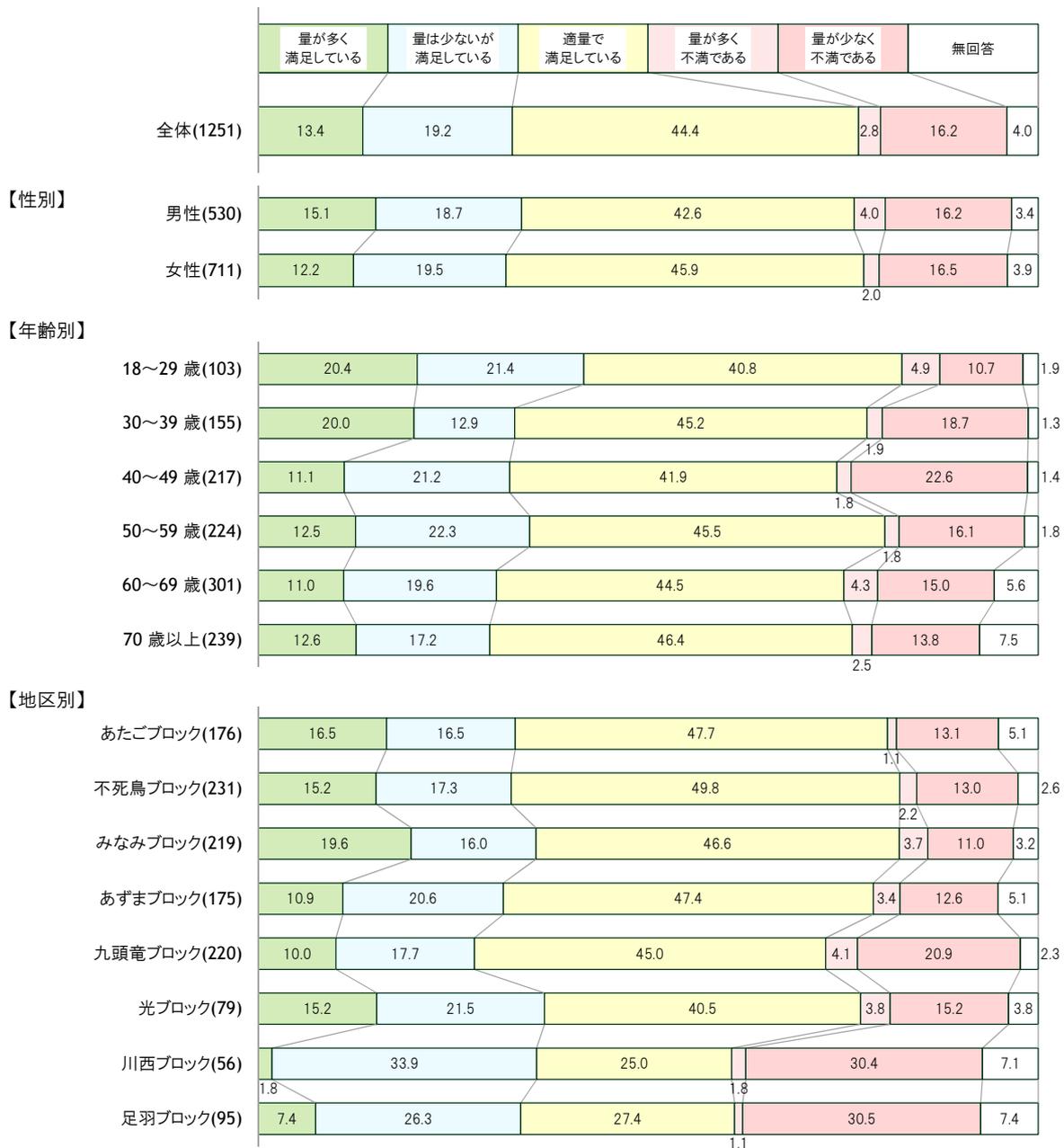


公園の量

全体の約8割が「満足している」

「満足している」（「量が多く満足している」（13.4%）、量は少ないが満足している」（19.2%）、「適量で満足している」（44.4%）の合計）は全体の77.0%と、「不満である」（「量が多く不満である」（2.8%）と「量が少なく不満である」（16.2%）の合計）の19.0%を58.0ポイント上回っている。

性別及び年齢別では、「満足している」「不満である」に差はみられない。地区別にみると、「量が少なく不満である」は川西ブロック（30.4%）と足羽ブロック（30.5%）が高くなっている。

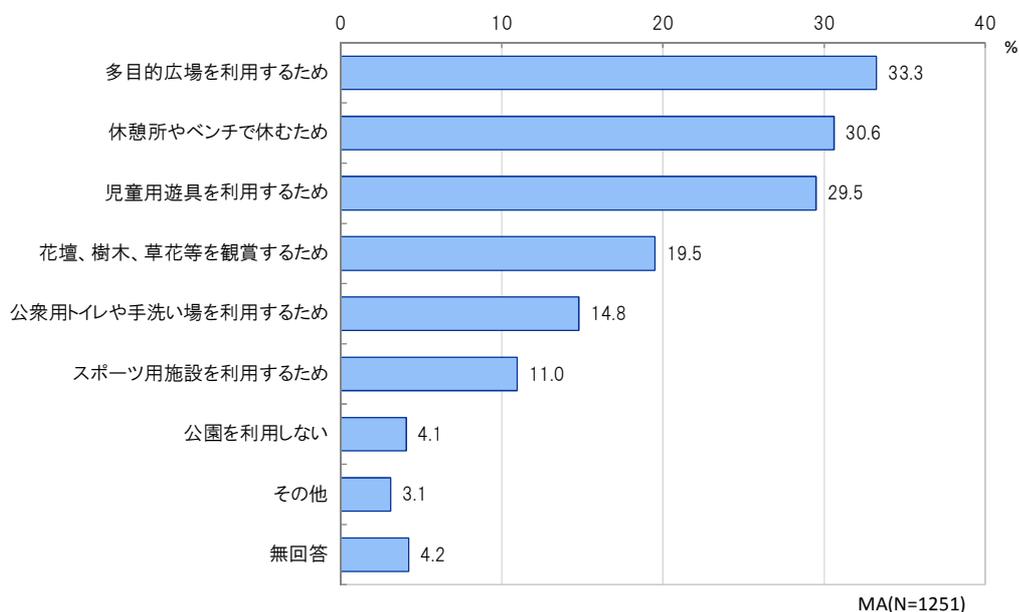


問2 あなたが公園を利用する主な目的は何ですか。(2つまで)

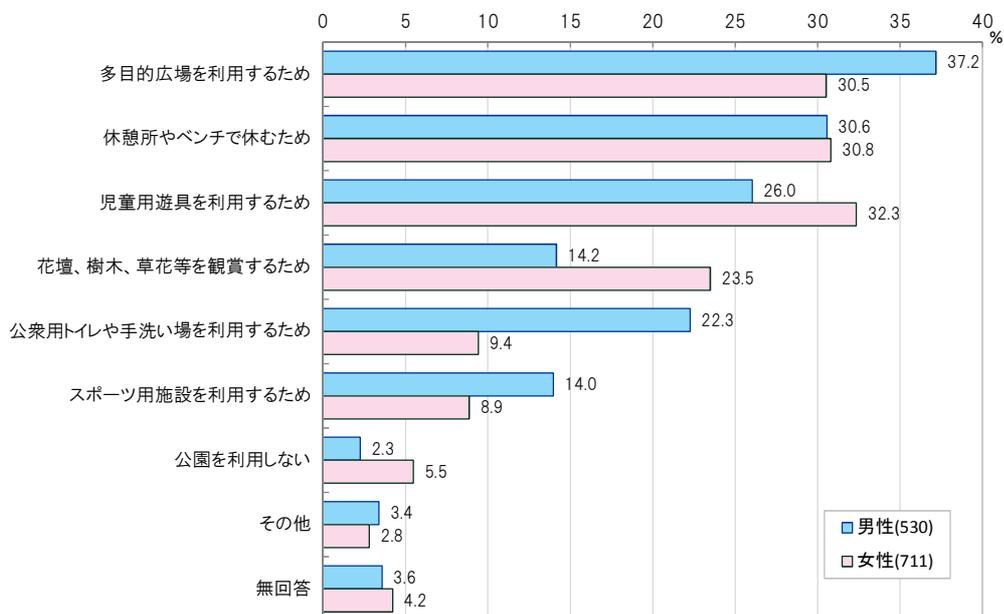
「多目的広場を利用するため」「休憩所やベンチで休むため」「児童用遊具を利用するため」の割合が高い

全体では「多目的広場を利用するため」(33.3%)、「休憩所やベンチで休むため」(30.6%)、「児童用遊具を利用するため」(29.5%)が高くなっている。

性別では「多目的広場」は、男性(37.2)の方が女性(30.5%)より6.7ポイント高いが、一方、「児童用遊具を利用するため」は、女性(32.3%)の方が男性(26.0%)より6.3ポイント高くなっている。「休憩所やベンチで休むため」は、性別による差はみられない。



【性別】

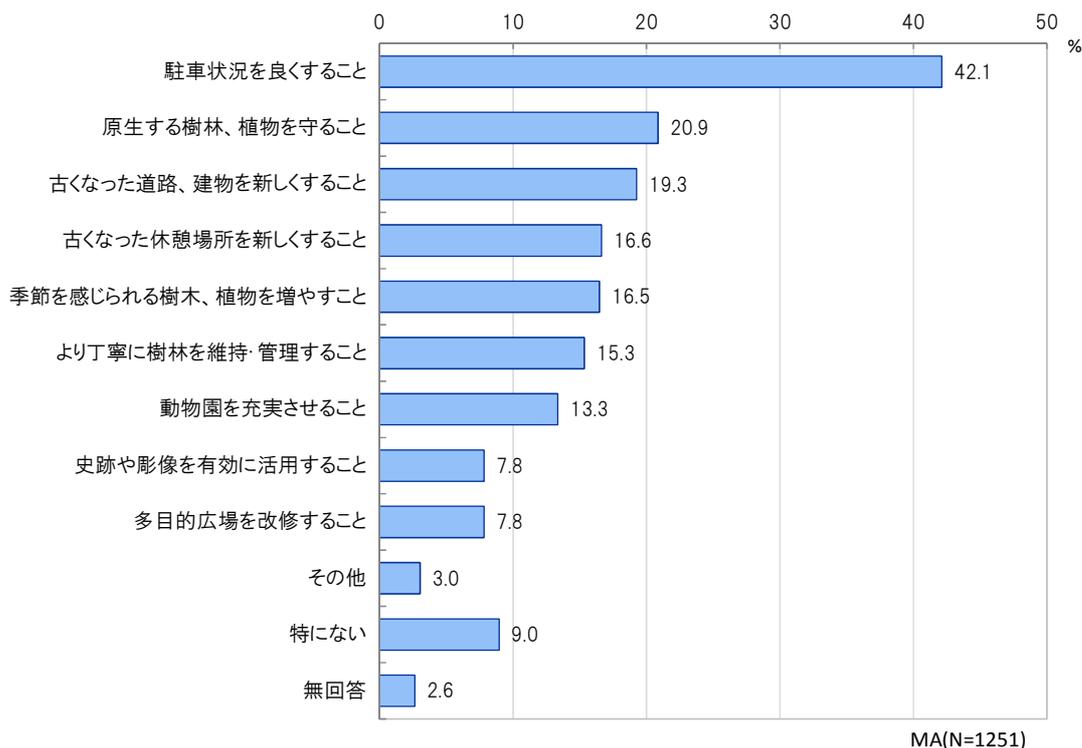


問3 足羽山公園に、これから特に求めたいことはありますか。(2つまで)

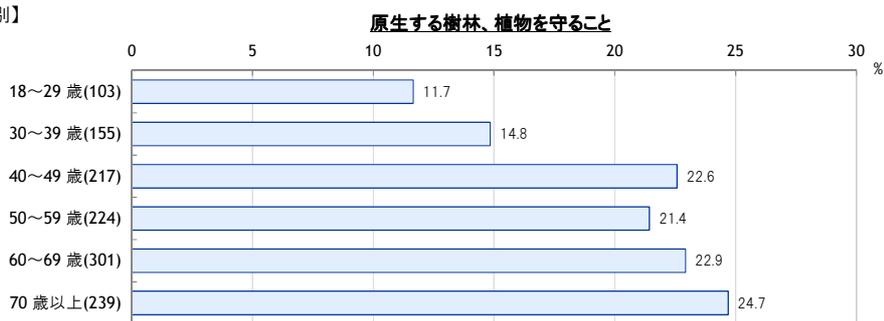
全体の4割が「駐車状況をよくすること」を回答

「駐車状況をよくすること」が全体の42.1%と最も高くなっている。

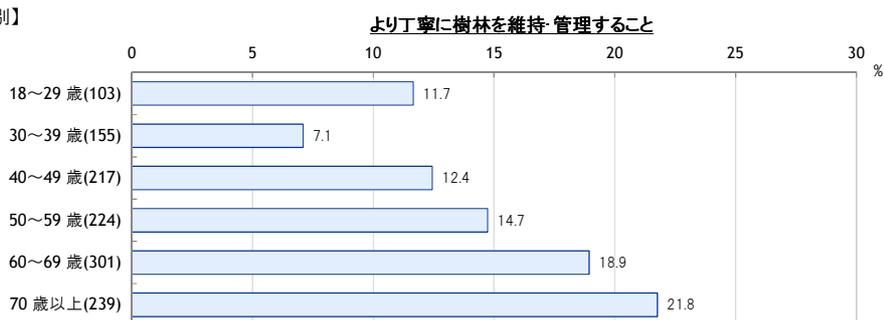
年齢別にみると、「原生する樹林、植物を守ること」「より丁寧に樹林を維持管理すること」等植物に関する回答の割合は、年齢の高い世代ほど高くなる傾向がある。



【年齢別】



【年齢別】



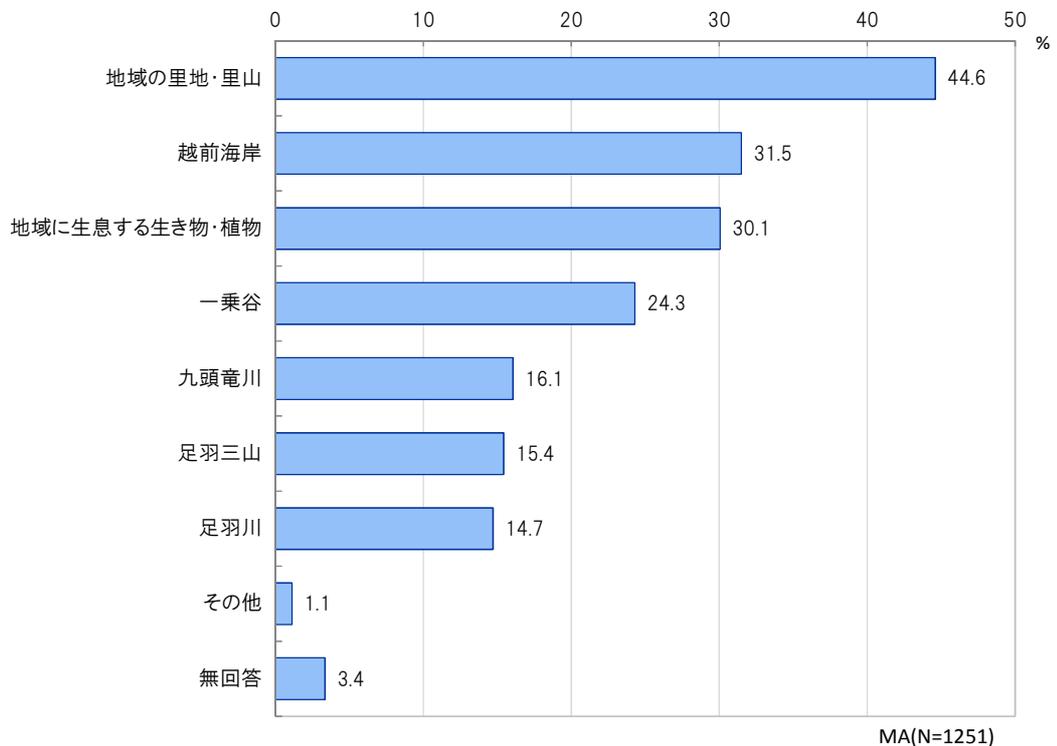
◆福井市の環境について

問1 将来に伝えたい福井市の自然と言われてイメージするものは何ですか。(1つ)

全体の4割が「地域の里地・里山」と回答

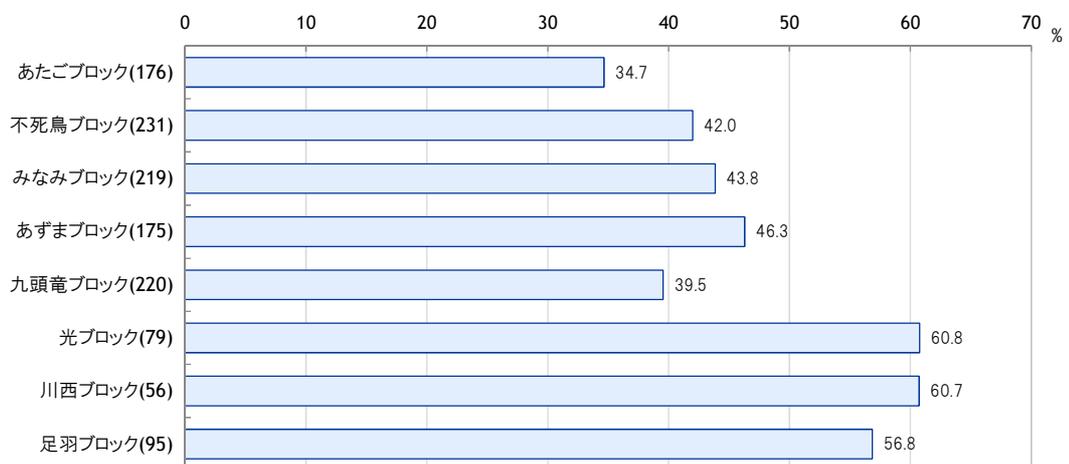
「地域の里地・里山」が全体の44.6%と最も高くなっている。

地区別にみると、「地域の里地・里山」は光ブロック(60.8%)、川西ブロック(60.7%)、足羽ブロック(56.8%)が高くなっている。



【地区別】

地域の里地・里山

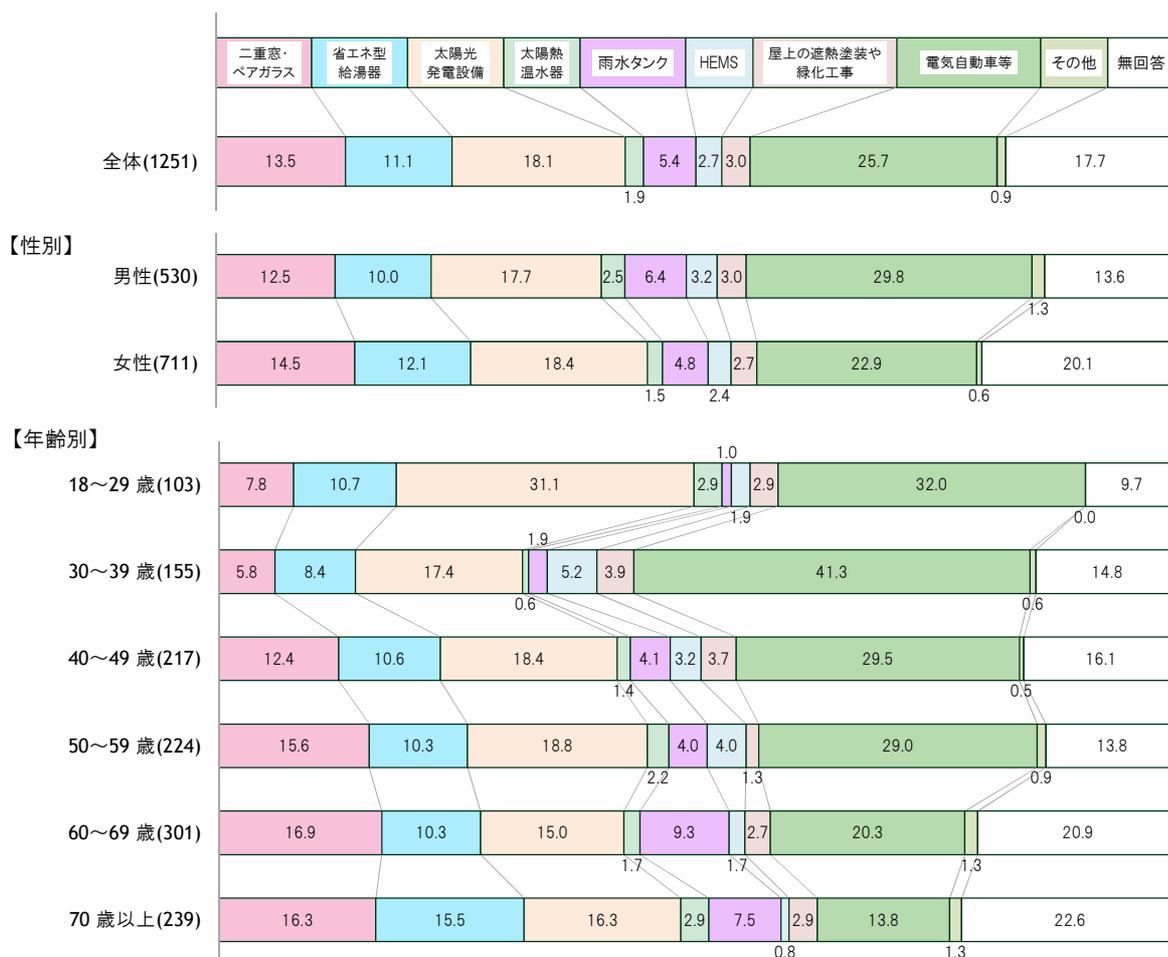


問2 あなたが今後取り入れたいと考えている、または関心のある環境配慮型の製品や設備は何ですか。(1つ)

全体の2割以上が「電気自動車・プラグインハイブリット自動車・クリーンディーゼル車」と回答

「電気自動車・プラグインハイブリット自動車・クリーンディーゼル車(以下「電気自動車等」という)」が全体の25.7%と最も高くなっている。

性別では、「電気自動車等」は男性(29.8%)の方が女性(22.9%)より6.9ポイント高い。年齢別にみると、「電気自動車等」は30～39歳(41.3%)が最も高く、この年代を中心に割合が高くなっている。

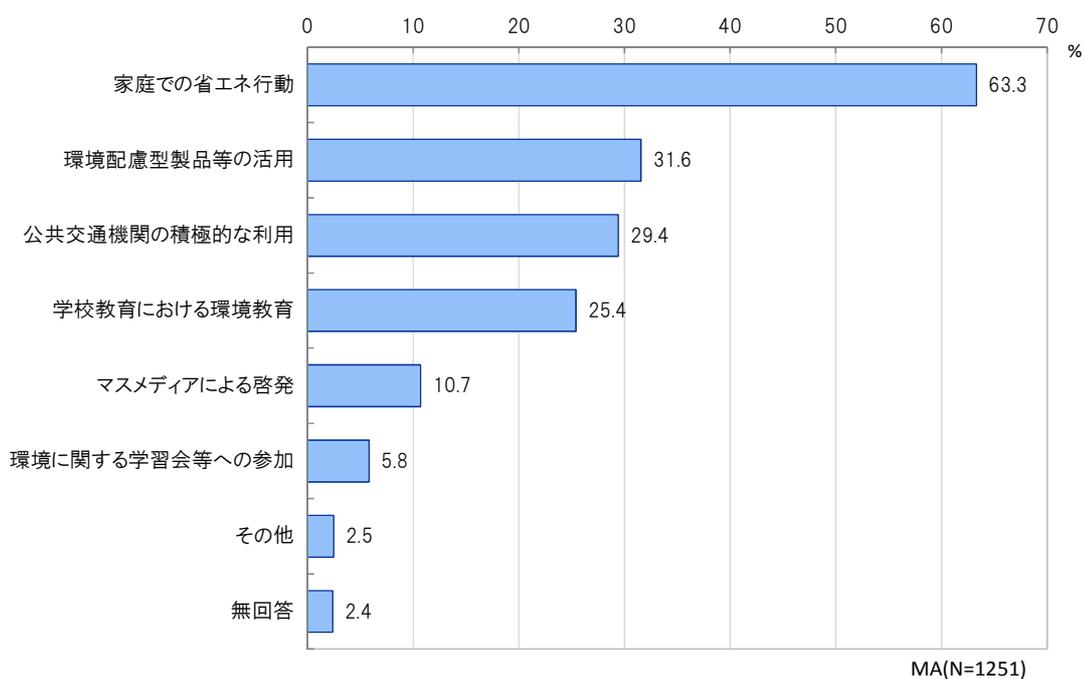


問3 あなたは、地球温暖化対策（温室効果ガスの削減）としてどのような取組みが必要だと思いますか。（2つまで）

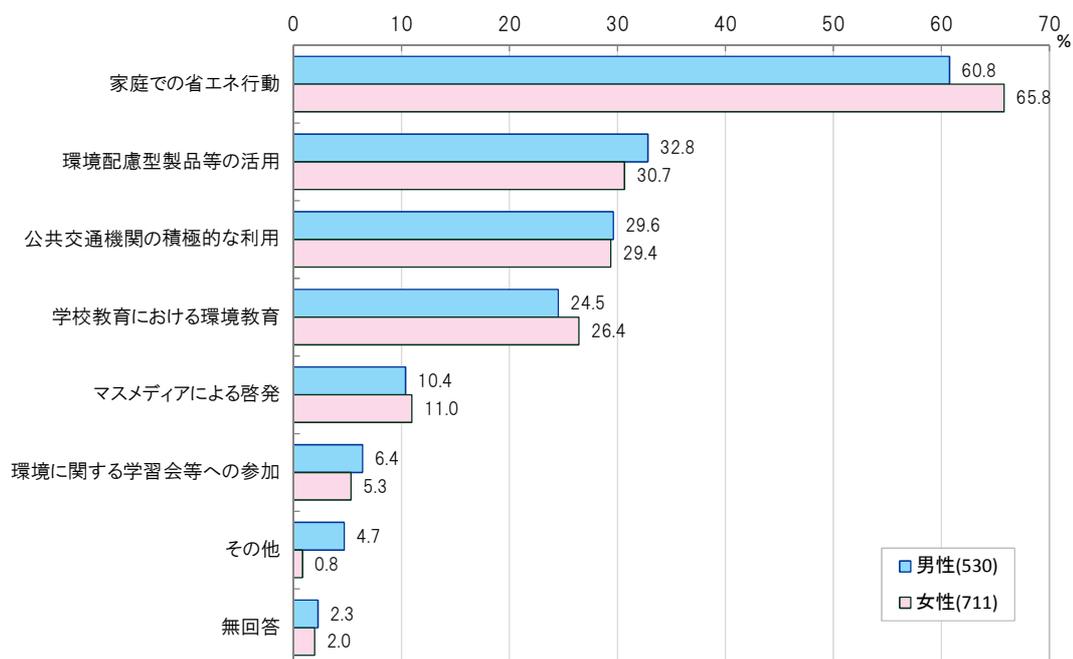
全体の6割が「家庭での省エネ行動」と回答

「家庭での省エネ行動」が全体の63.3%と最も高くなっている。

性別では、「家庭での省エネ行動」は女性（65.8%）の方が男性（60.8%）より5.0ポイント高い。



【性別】



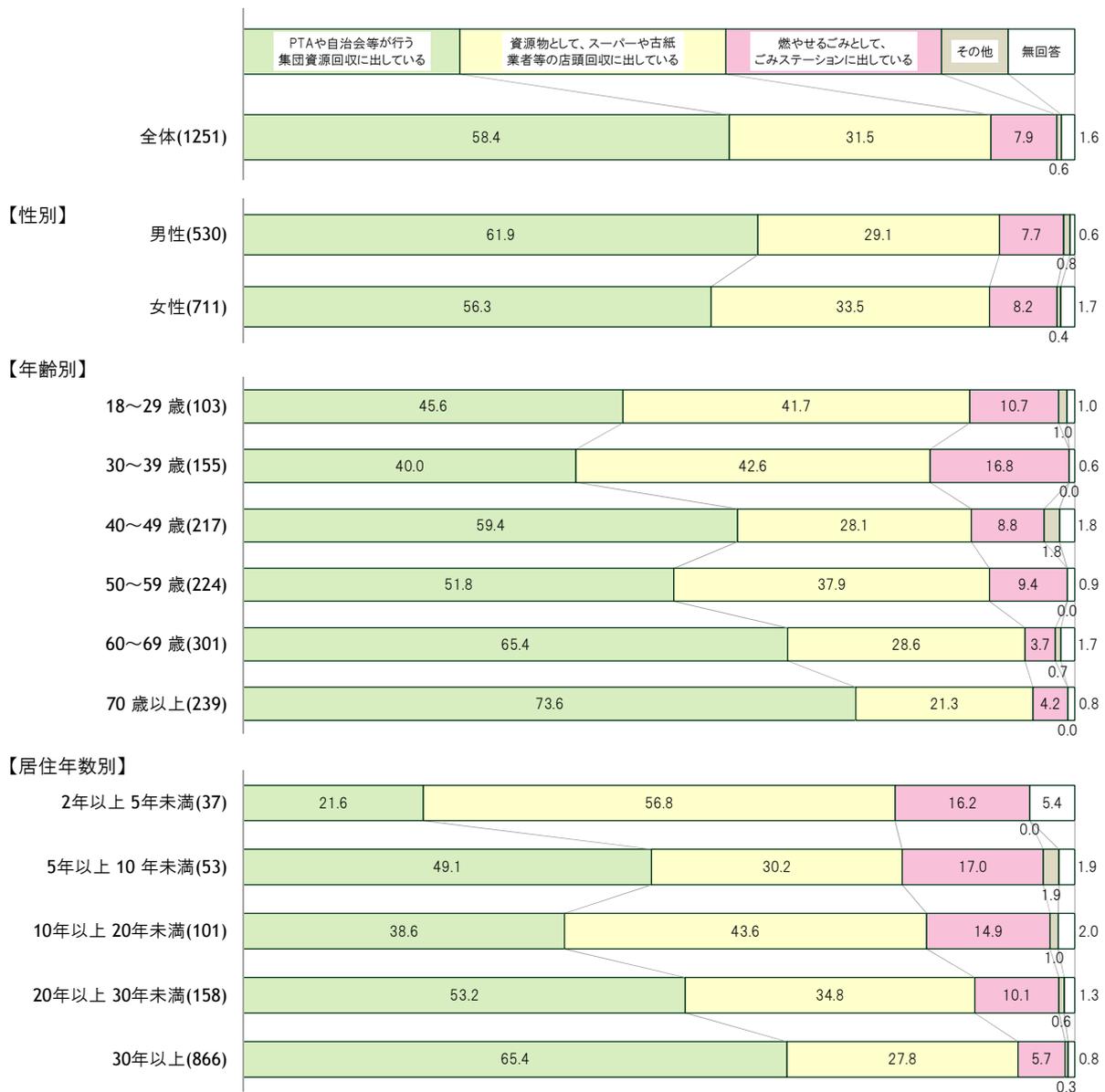
◆ごみの減量・資源物の分別について

問1 あなたのご家庭では、新聞や雑誌などの『古紙類』をどのように処分していますか。
(1つ)

全体の約9割が「資源物として回収に出している」と回答

「資源物として回収に出している」（「PTA や自治会等が行う集団資源回収に出している」（58.4%）と「資源物として、スーパーや古紙業者等の店頭回収に出している」（31.5%）の合計）が全体の89.9%と、「燃やせるごみとして、ごみステーションに出している」（7.9%）より82.0ポイント高くなっている。

居住年数別にみると、「資源物として回収に出している」は年数が長いほどその割合が高くなる傾向がある。

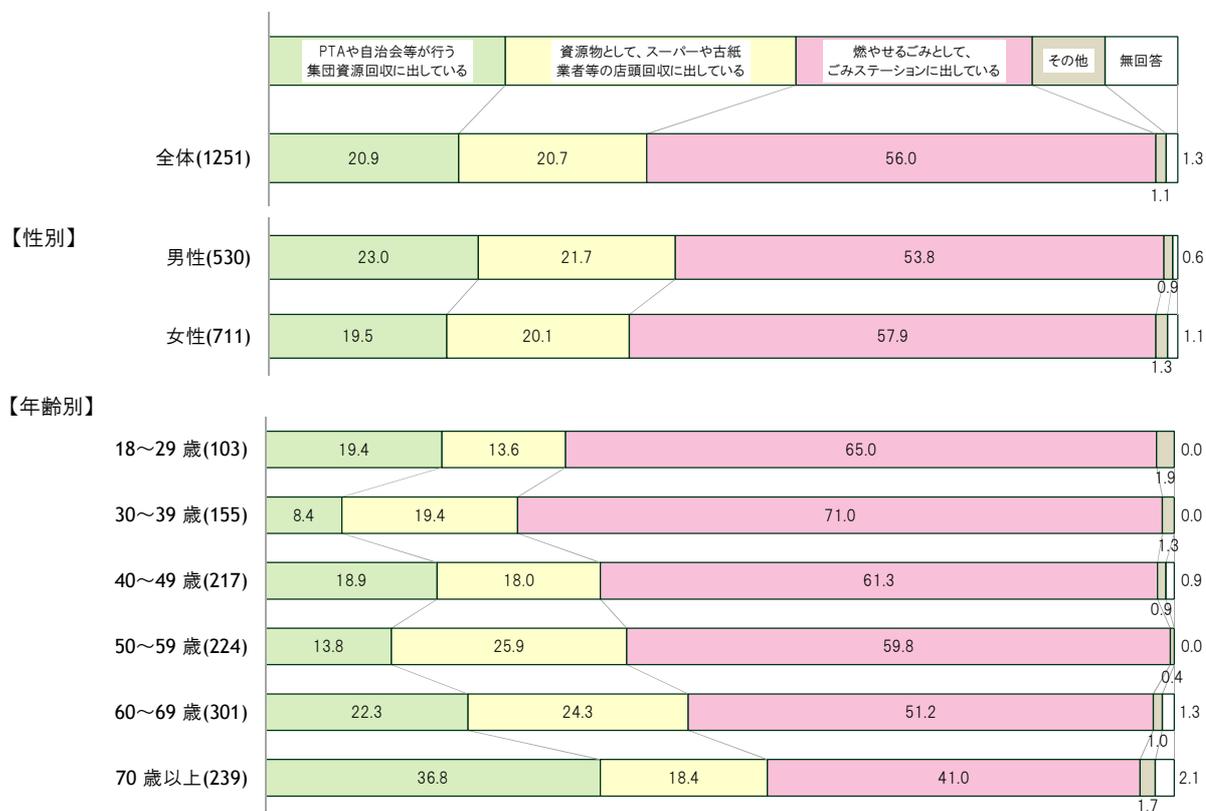


問2 あなたのご家庭では、包装紙、紙袋、封筒、ダイレクトメール、コピー用紙などの『雑紙』をどのように処分していますか。(1つ)

全体の半数以上が「燃やせるごみとして、ごみステーションに出している」と回答

「燃やせるごみとして、ごみステーションに出している」が全体の 56.0%と最も高くなっている。

性別による差はみられない。年齢別にみると、「燃やせるごみとして、ごみステーションに出している」は30～39歳(71.0%)が最も高くなっており、高い年代ほどその割合が低くなる傾向がある。

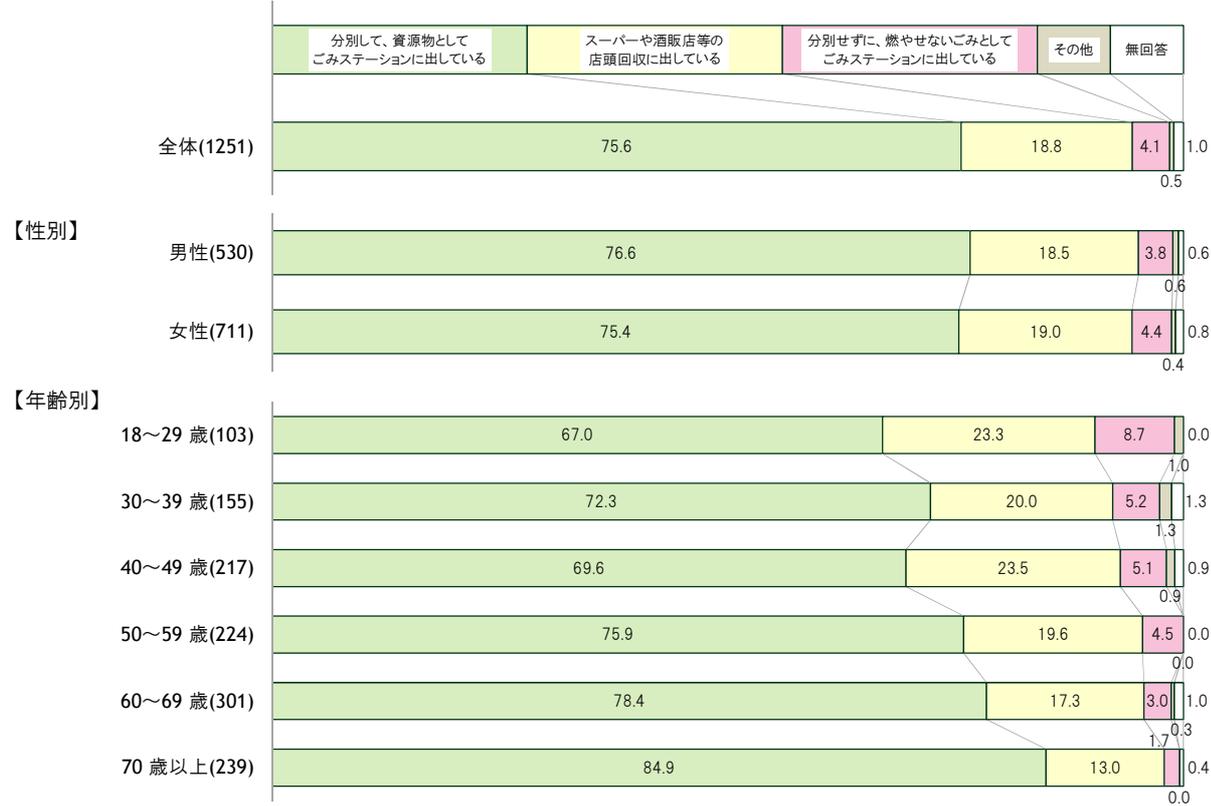


問3 あなたのご家庭では、空き缶や空きびん、ペットボトルなどの『資源物』をどのように処分していますか。(1つ)

全体の7割以上が「分別して、資源物としてごみステーションに出している」

「分別して、資源物としてごみステーションに出している」が全体の75.6%と最も高くなっている。「資源として回収に出している」(「分別して、資源物としてごみステーションに出している」(75.6%)と「スーパーや酒販店等の店頭回収に出している」(18.8%)の合計)は全体の94.4%となっている。

性別では差はみられないが、年齢別にみると、「資源として回収に出している」は高い年代ほどその割合が高くなっている。

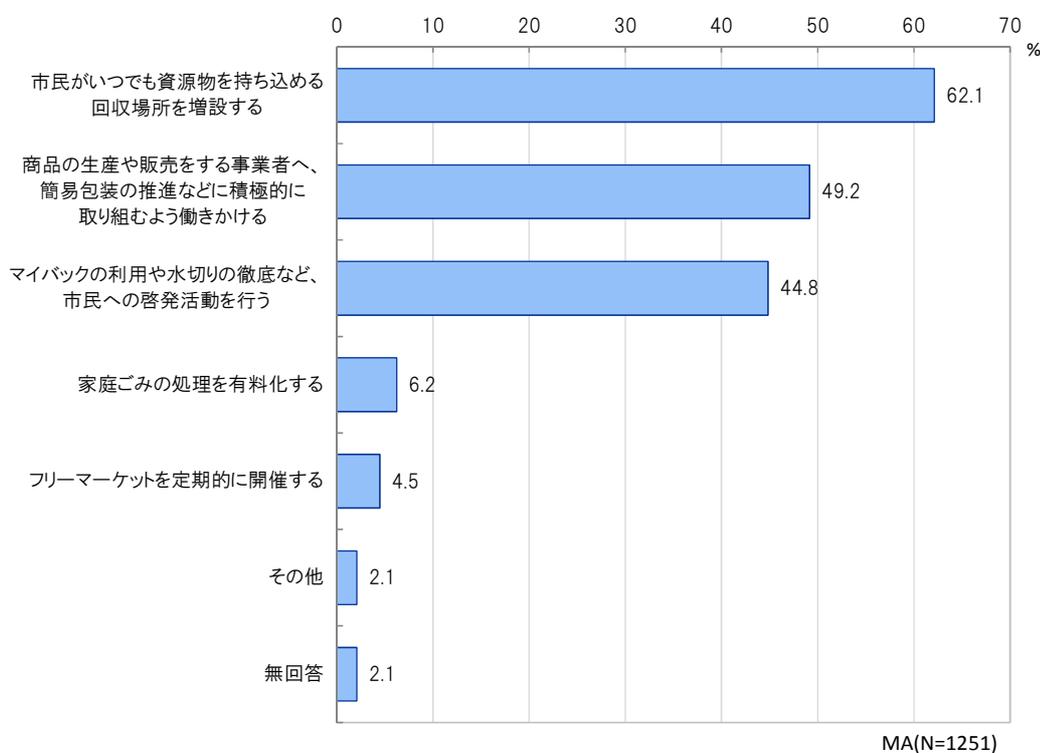


問4 ごみの減量化・資源化を進めるためには、どのような取組みが効果的だとお考えですか。
(2つまで)

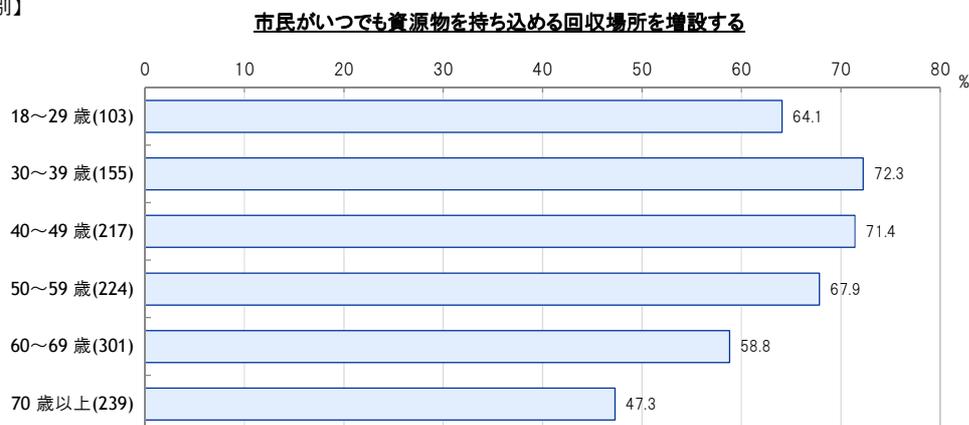
全体の6割が「市民がいつでも資源物を持ち込める回収場所を増設する」

「市民がいつでも資源物を持ち込める回収場所を増設する」が全体の62.1%と最も高く、次に「商品の生産や販売をする事業者へ、簡易包装の推進などに積極的に取り組むよう働きかける」(49.2%)、「マイバツクの利用や水切りの徹底など、市民への啓発活動を行う」(44.8%)が続いている。

年齢別にみると、「市民がいつでも資源物を持ち込める回収場所を増設する」は、30～39歳が72.3%と最も高く、この年代を中心に割合が高くなっている。



【年齢別】



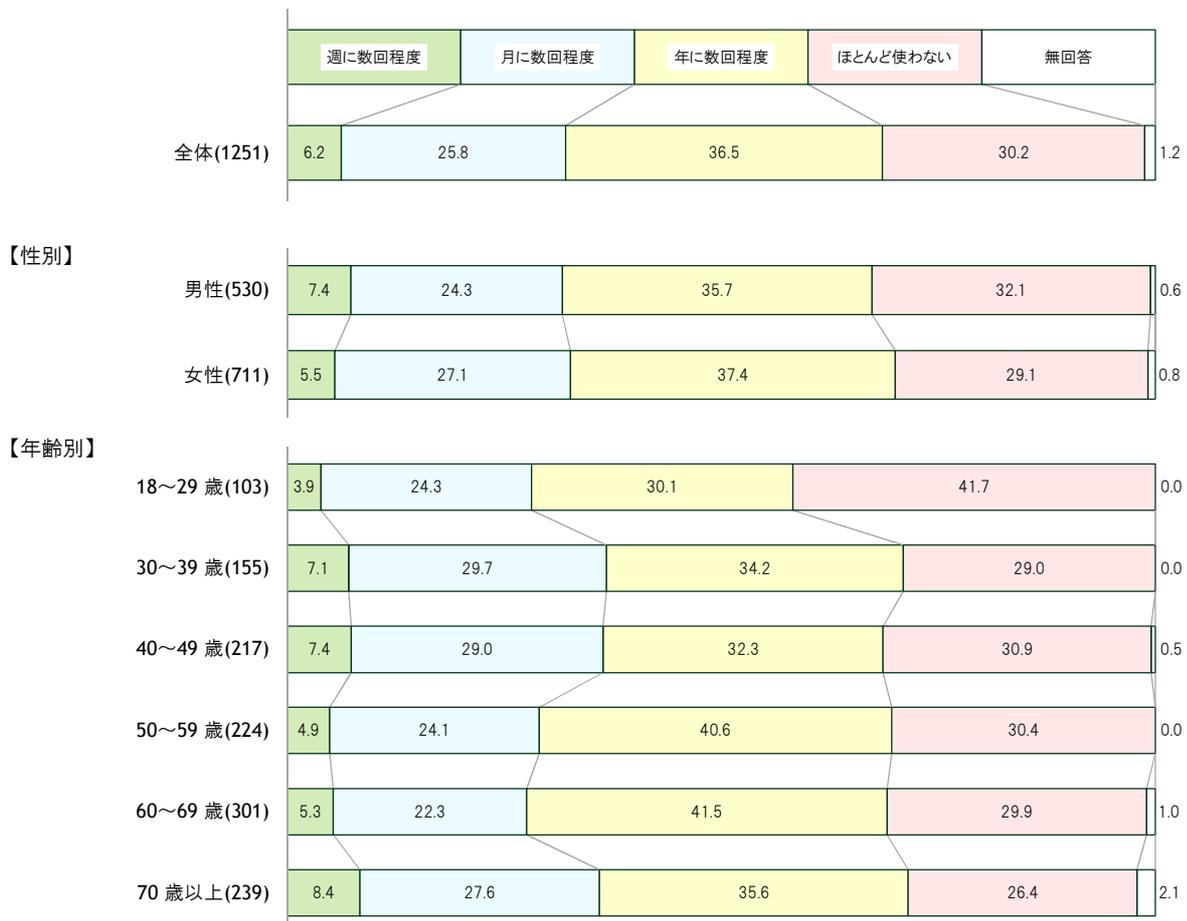
◆福井市の公共施設について

問1 あなたは、福井市の公共施設をどのくらいの頻度で利用していますか。(1つ)

全体の約7割が「年に数回以上」公共施設を利用する

「年に数回以上」(「週に数回程度」(6.2%)と「月に数回程度」(25.8%)と「年に数回程度」(36.5%)の合計)が全体の68.5%となっている。

性別による差はあまりみられないが、年齢別にみると「ほとんど使わない」は18～29歳が41.7%と最も高くなっている。

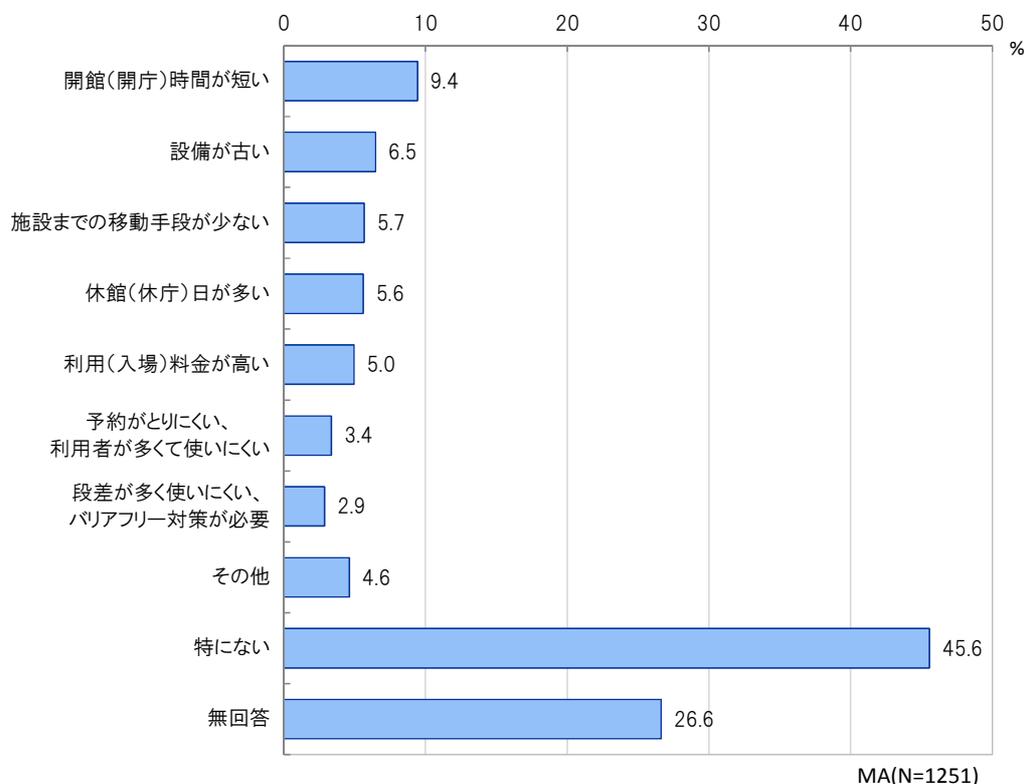


問2 あなたが普段利用している公共施設について、見直したほうがいいと思うことはありますか。(いくつでも)

全体の4割以上が「特にない」と回答

「特にない」が全体の45.6%と最も高くなっている。

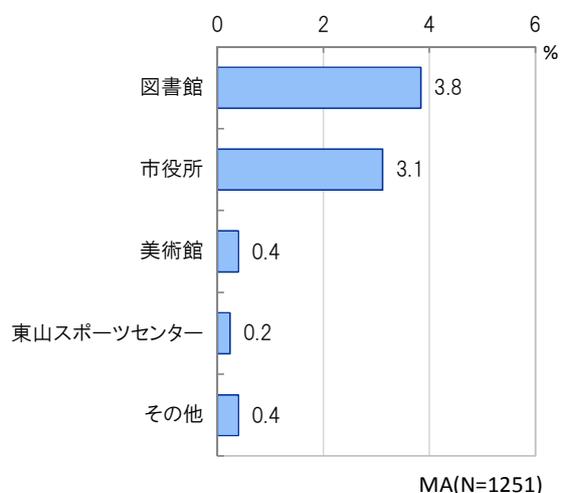
見直したほうがいいと思う点は「開館（開庁）時間が短い」が9.4%と最も高く、次に「設備が古い」、「施設までの移動手段が少ない」が続いている。



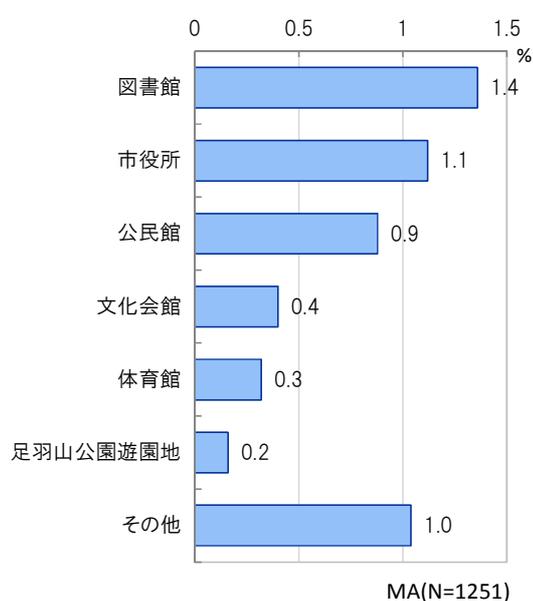
「図書館、市役所の開館（開庁）時間が短い」の割合が高い

「開館（開庁）時間が短い」という主な施設は「図書館」の割合が最も高く、次に「市役所」が続いている。また、その他の意見として、「駐車場が狭い」が多く、主な施設は「図書館」（1.0%）の割合が最も高くなっている。

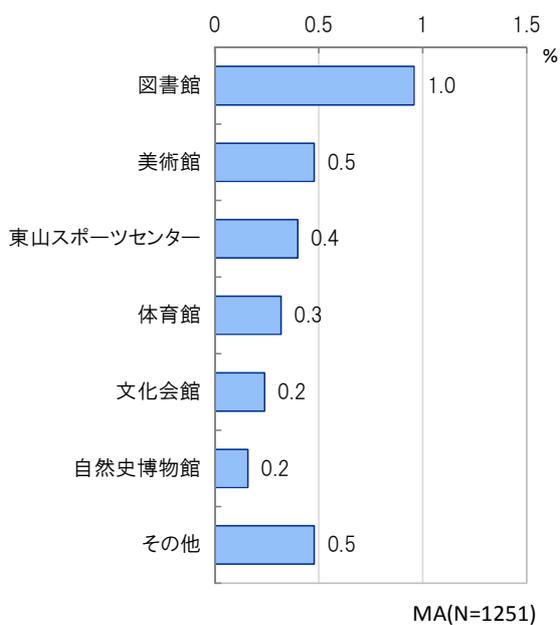
【開館（開庁）時間が短い】



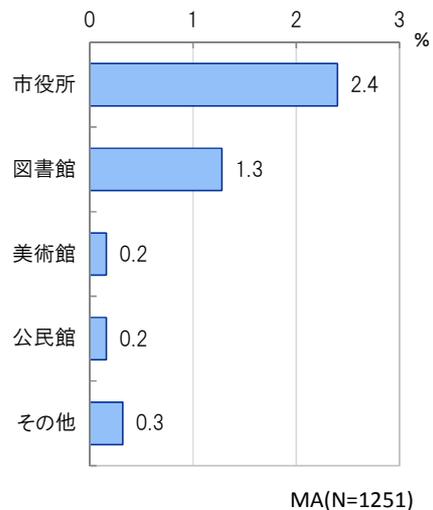
【設備が古い】



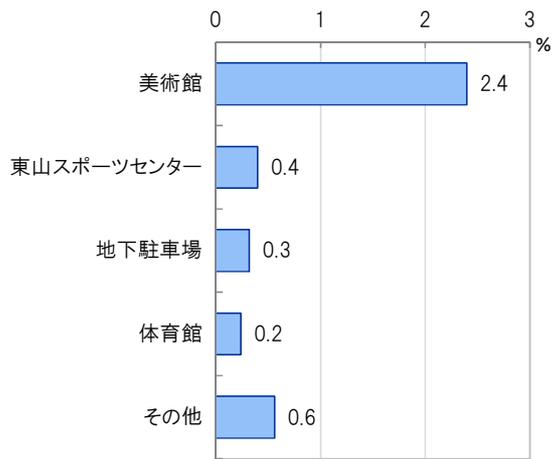
【施設までの移手段が少ない】



【休館（休庁）日が多い】

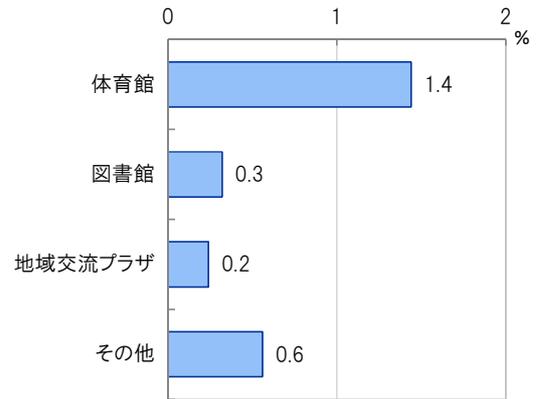


【利用(入場)料金が低い】



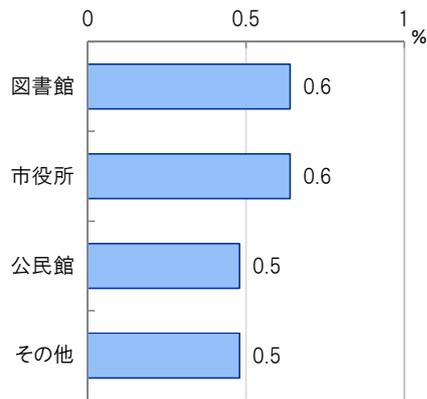
MA(N=1251)

【予約がとりにくい、
利用者が多くて使いにくい】



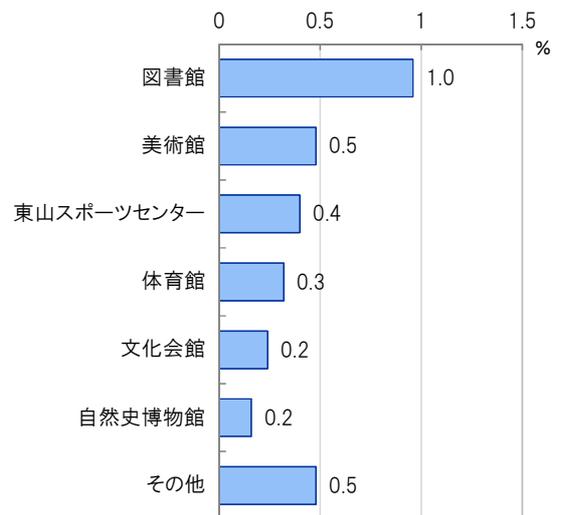
MA(N=1251)

【段差が多く使いにくい
バリアフリー対策が必要】



MA(N=1251)

【駐車場が狭い(その他の意見より)】

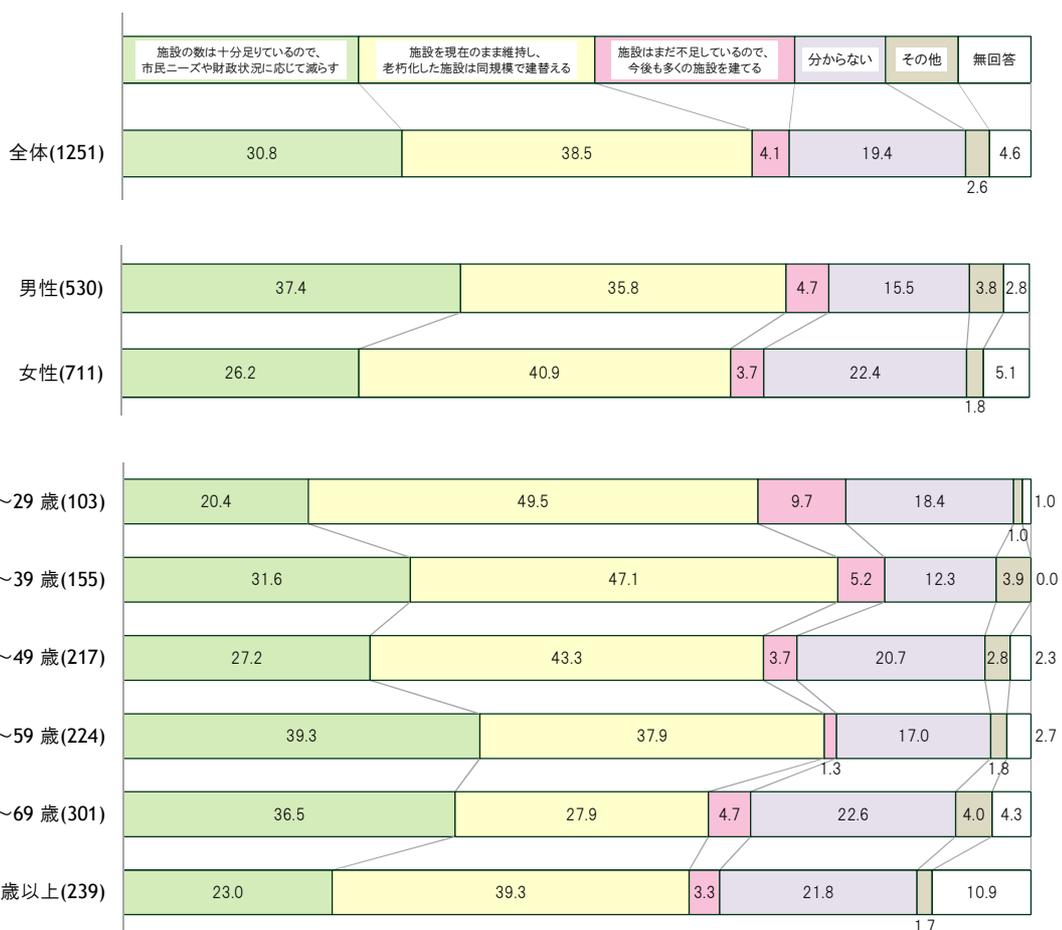


MA(N=1251)

問3 多くの公共施設が古くなっており、今後、建替えや修理などに多くのお金が必要になりますが、あなたは、公共施設のこれからについてどのように進めていくべきだと思いますか。(1つ)

全体の約7割が「施設を現在のまま維持し、老朽化した施設は同規模で建替える」「施設の数是十分足りているので、市民ニーズや財政状況に応じて減らす」と回答

「施設を現在のまま維持し、老朽化した施設は同規模で建替える（現状維持）」が38.5%と最も高く、次いで「施設の数是十分足りているので、市民ニーズや財政状況に応じて減らす（総量縮減）」(30.8%)が続いている。一方、「施設はまだ不足しているので、今後も多くの施設を建てる」の割合は全体の4.1%にとどまっている。

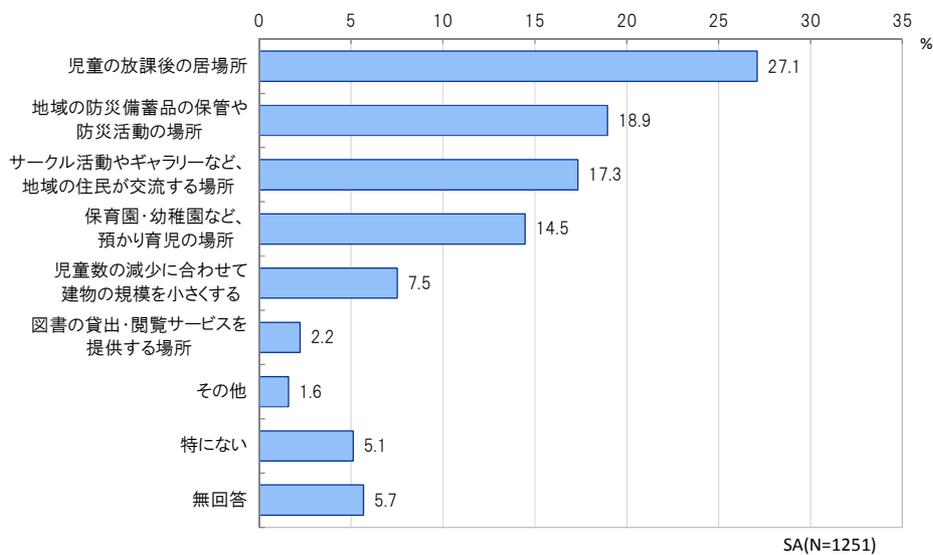


問4 将来、学校では児童数の減少により、空き教室等の余裕スペースが生まれることが想定されますが、あなたは、この空き教室等の余裕スペースをどのようにしていくのが有効的だと思いますか。(1つ)

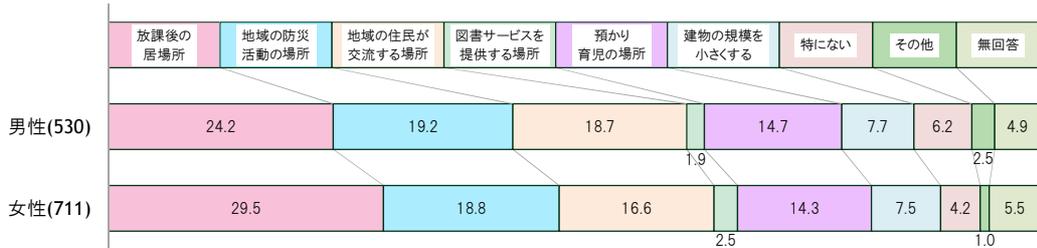
全体の約3割が「児童の放課後の居場所」と回答

「児童の放課後の居場所」が全体の27.1%と最も高くなっている。

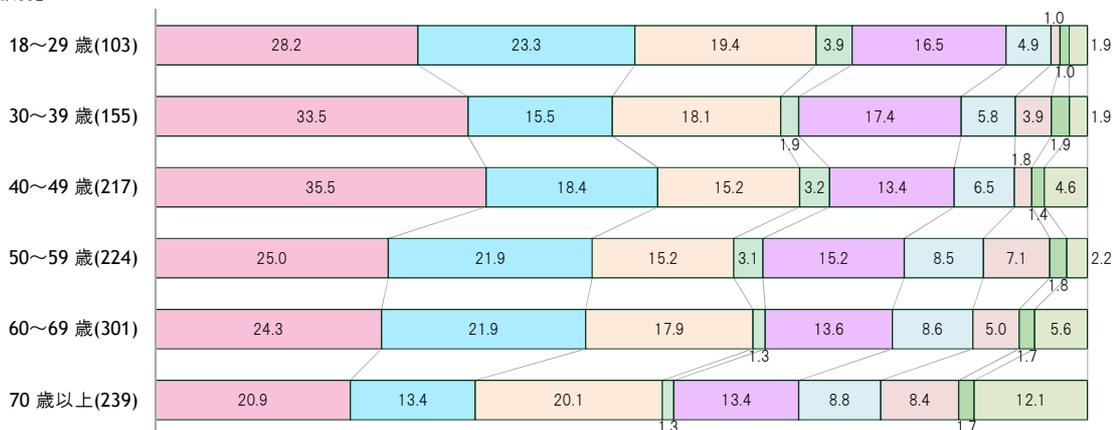
性別で見ると、「児童の放課後の居場所」は女性(29.5%)の方が男性(24.2%)より5.3ポイント高くなっている。年齢別にみると、「児童の放課後の居場所」は40～49歳(35.5%)、30～39歳(33.5%)が高くなっている。



【性別】



【年齢別】



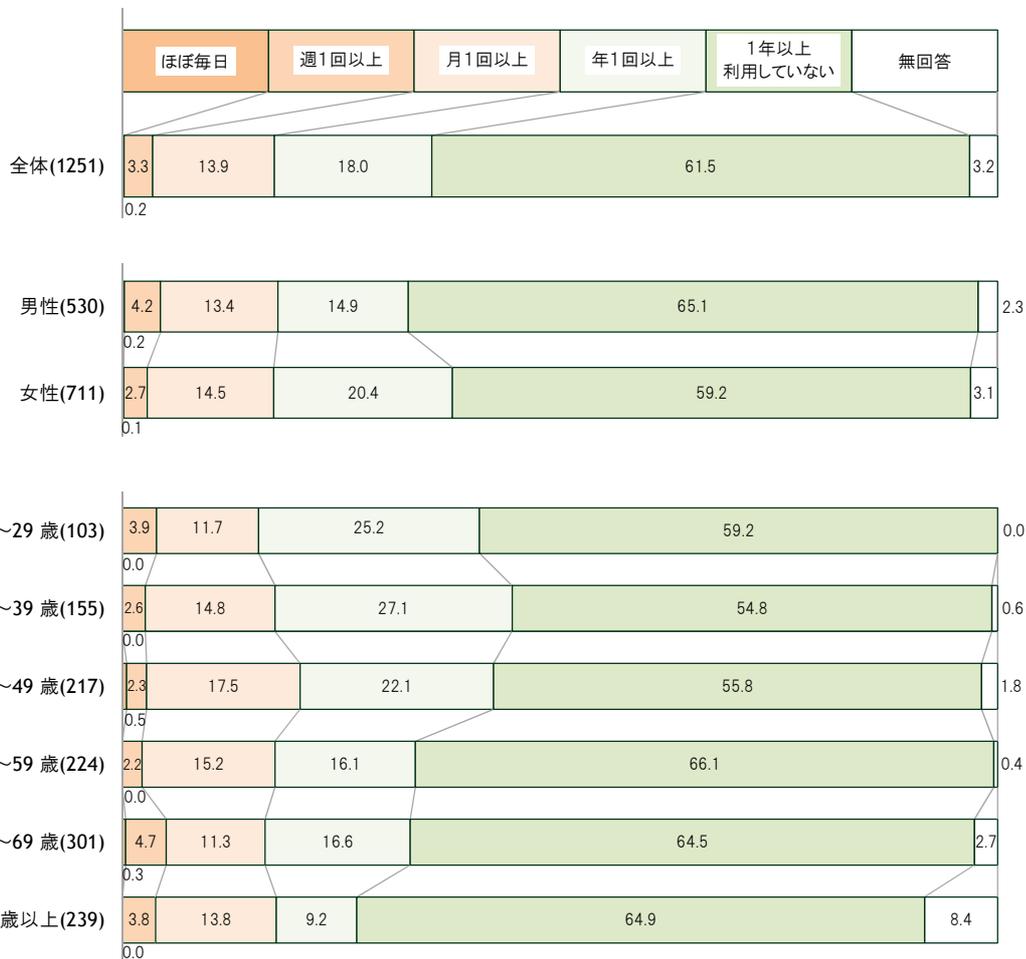
◆福井市図書館について

問1 あなたは、最近1年間に福井市図書館（市立・みどり・桜木・美山・清水）を利用しましたか。また、どのくらいの頻度で利用していますか。（1つ）

全体の6割が「1年以上利用していない」

「1年以上利用していない」が全体の61.5%と最も高くなっている。

「利用している」（「ほぼ毎日」から「年1回以上」までの合計）は、性別では女性（37.7%）の方が男性（32.7%）より5.0ポイント高くなっており、年齢別にみると、「利用している」は若い世代の割合が高くなっている。



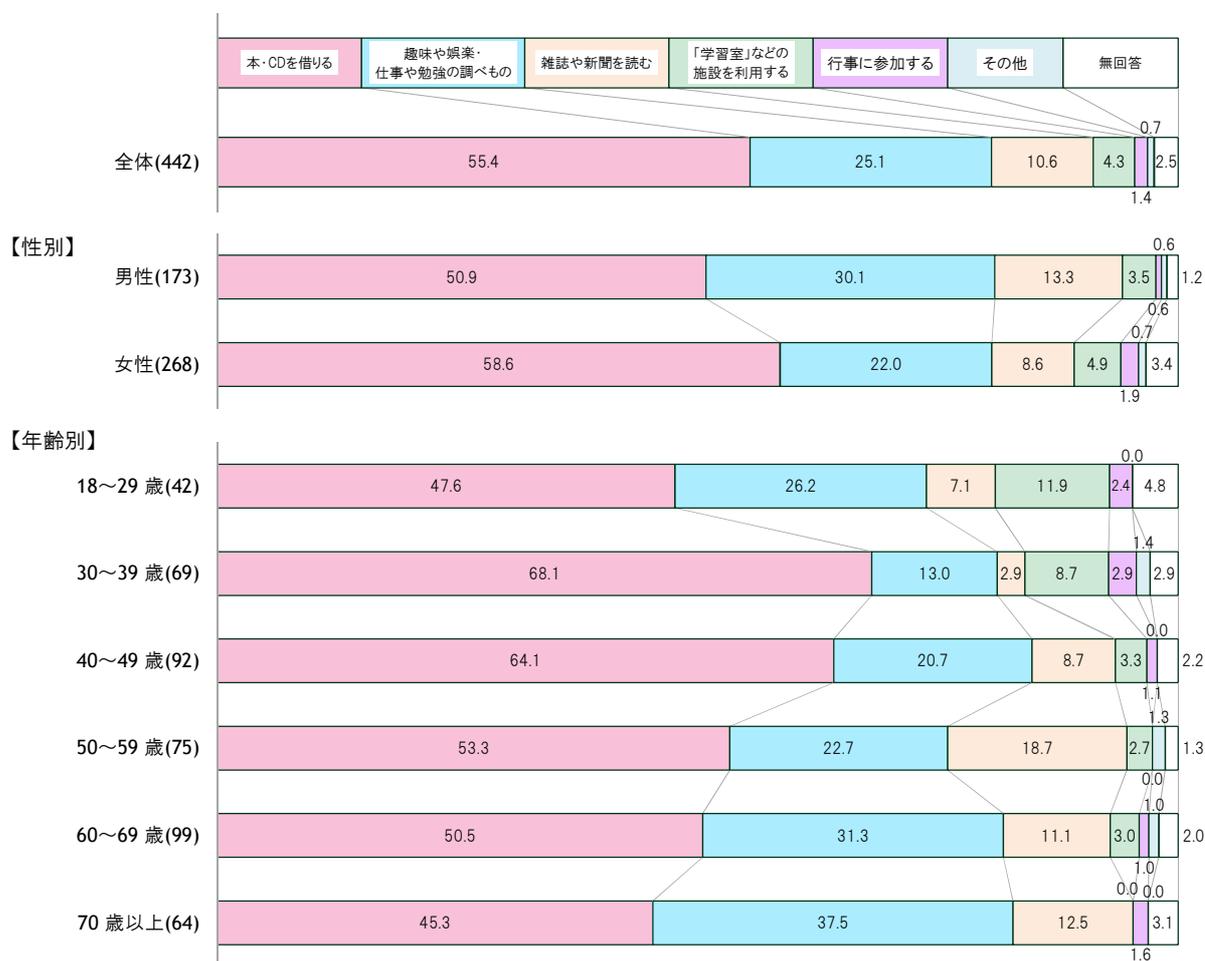
(問1で「ほぼ毎日」「週1回以上」「月1回以上」「年1回以上」と答えた方にお聞きします)

問1-2 福井市図書館を利用する目的は何ですか。(1つ)

全体の半数以上が「本・CDを借りる」

「本・CDを借りる」が全体の55.4%と最も高くなっている。

性別では、「本・CDを借りる」は女性(58.6%)の方が男性(50.9%)より7.7ポイント高い。年齢別にみると、「本・CDを借りる」は30～39歳(68.1%)が最も高く、この年代を中心に割合が高くなっている。



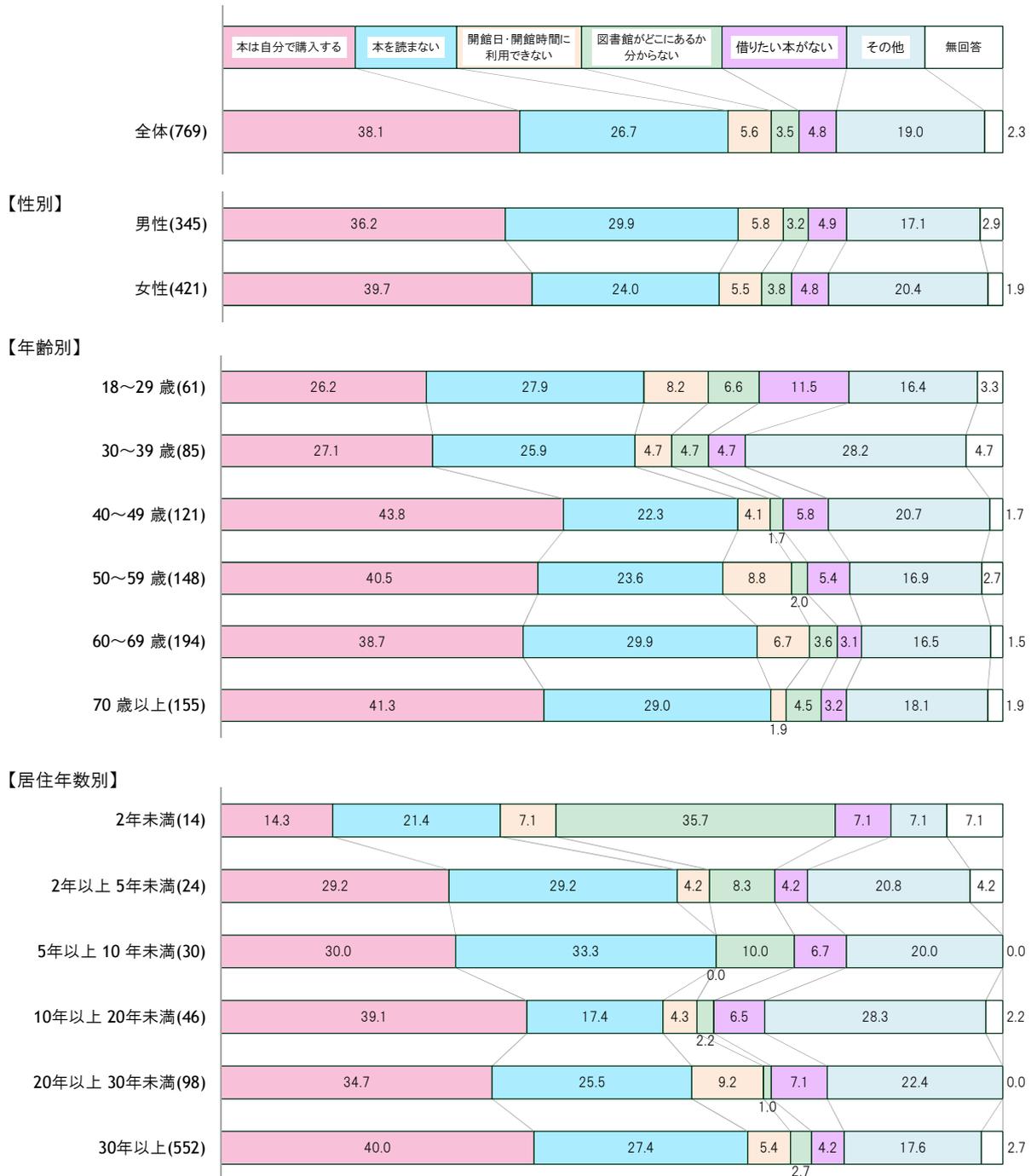
(問1で「1年以上利用していない」と答えた方にお聞きします)

問1-3 福井市図書館を利用しない理由は何ですか。(1つ)

全体の約4割が「本は自分で購入する」

「本は自分で購入する」が全体の38.1%と最も高くなっている。

「本は自分で購入する」は性別による差はみられないが、年齢別にみると、40～49歳以上の年代でその割合が高くなっている。居住年数別にみると、「図書館がどこにあるか分からない」は2年未満(35.7%)が高くなっている。



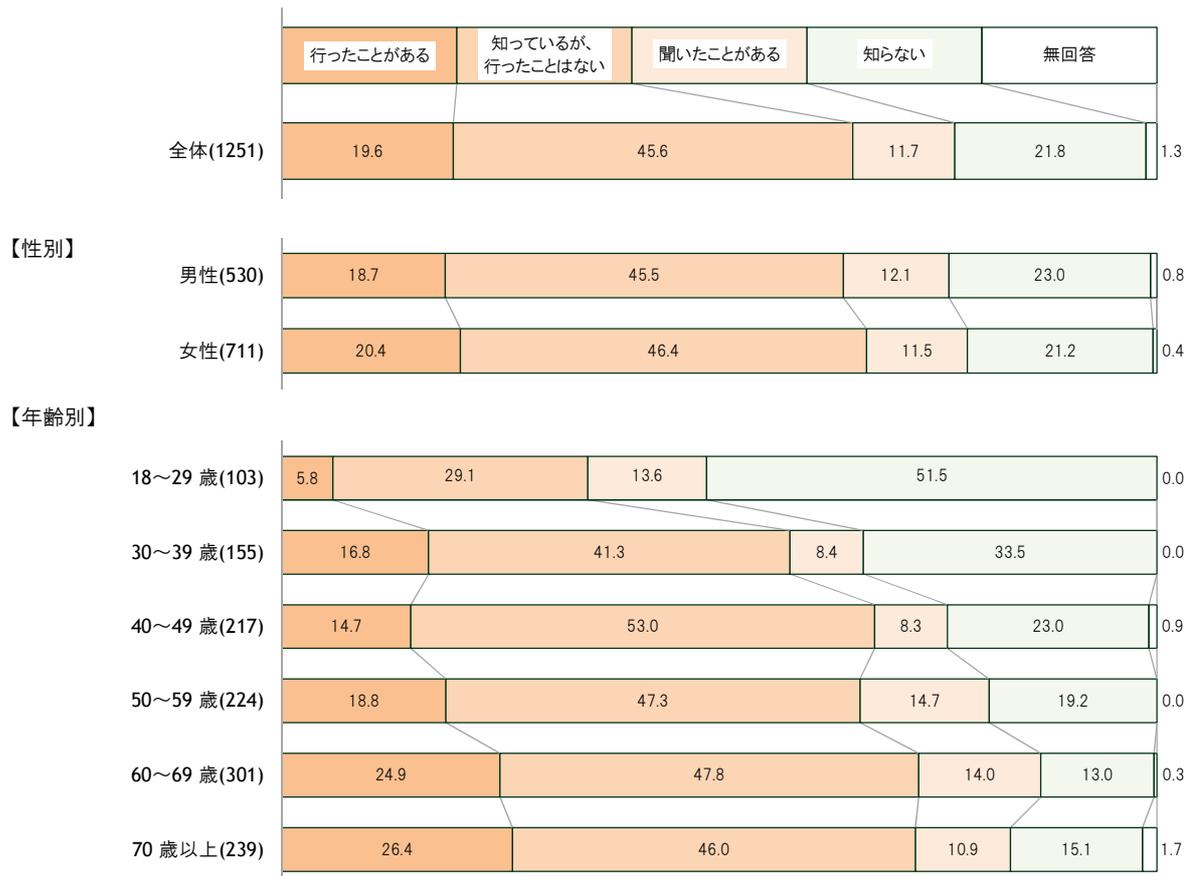
◆福井市中央卸売市場「ふくい鮮いちば」について

問1 中央卸売市場では市場施設の一部を一般開放し、消費者の皆様が買い物できるようになりました。あなたは、この施設「ふくい鮮いちば」を知っていますか。(1つ)

全体の4割以上が「知っているが、行ったことはない」

「知っているが、行ったことはない」が全体の45.6%と最も高くなっている。「知っている」(「行ったことがある」(19.6%)、「知っているが、行ったことはない」(45.6%)、「聞いたことがある」(11.7%)の合計)は全体の76.9%となっている。

性別による差はみられない。年齢別にみると、「知っている」は60～69歳(86.7%)を中心とした年齢の高い世代で割合が高くなっている。



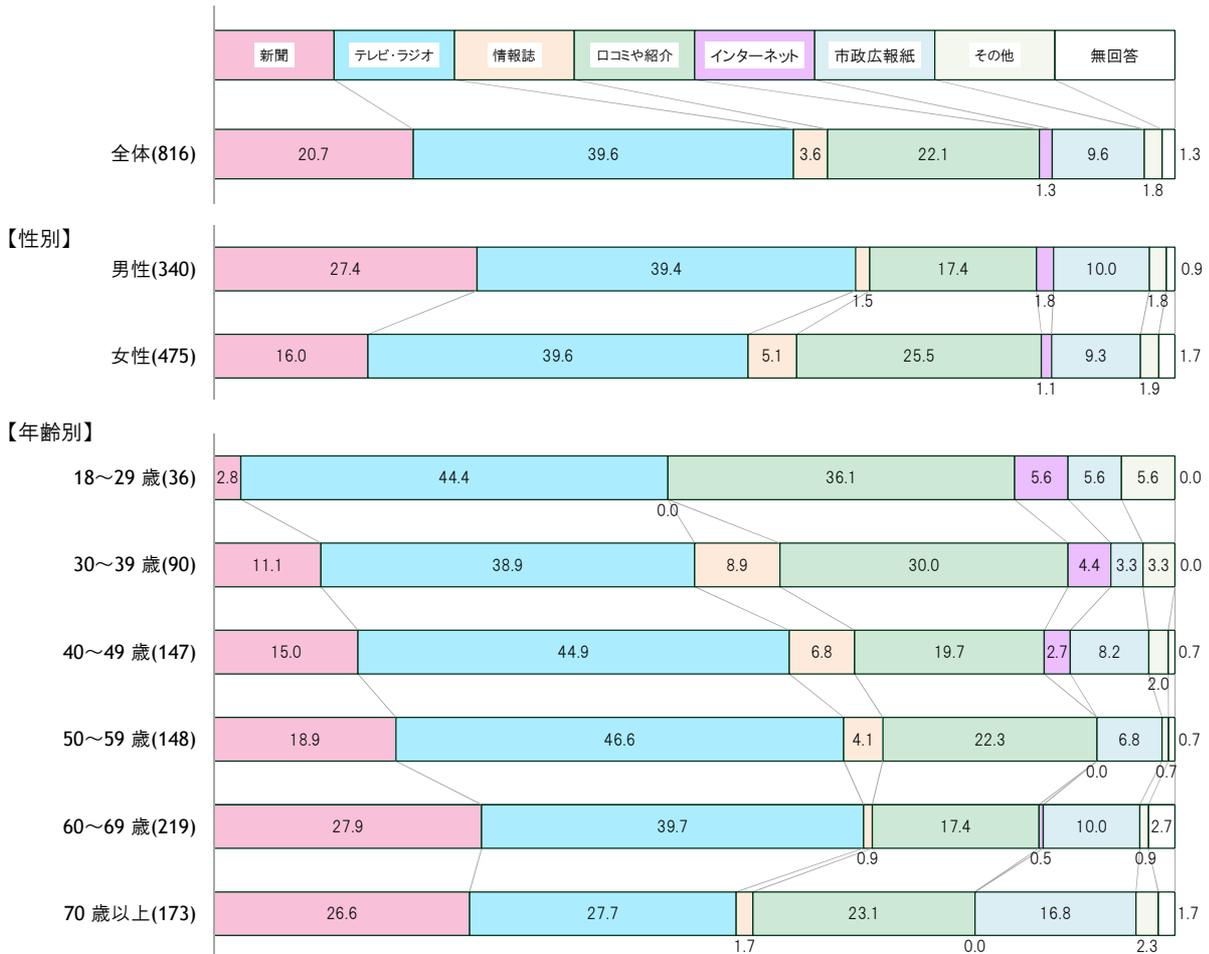
(問1で「行ったことがある」「知っているが、いったことはない」と答えた方にお聞きします)

問1-2 「ふくい鮮いちば」をどのようにして知りましたか。(1つ)

全体の約4割が「テレビ・ラジオ」で知った

「テレビ・ラジオ」が全体の39.6%と最も高く、次に「口コミや紹介」(22.1%)、「新聞」(20.7%)と続いている。

性別では、「口コミや紹介」は女性(25.5%)の方が男性(17.4%)より8.1ポイント高いが、「新聞」は男性(27.4%)の方が女性(16.0%)よりも11.4ポイント高くなっている。年齢別にみると、「テレビ・ラジオ」は全ての年代で割合が最も高く、「新聞」は年齢の高い世代ほど割合が高い傾向がある。

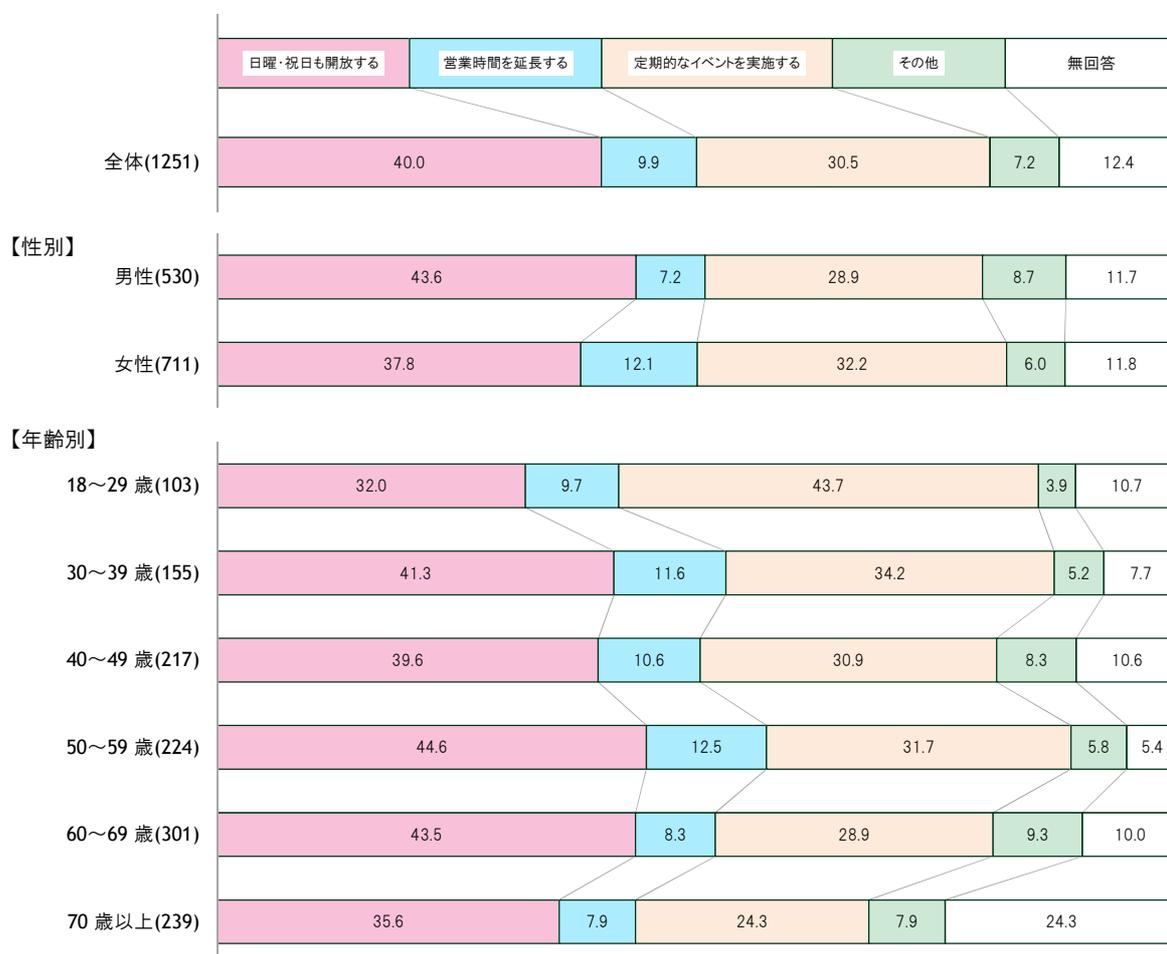


問2 「ふくい鮮いちば」をよりよいものにするためには、どうしたらよいと思いますか。
(1つ)

全体の4割が「日曜・祝日も開放する」と回答

「日曜・祝日も開放する」が全体の40.0%と最も高くなっている。

性別では、「日曜・祝日も解放する」は男性(43.6%)の方が女性(37.8%)より5.8ポイント高くなっている。年齢別では、「定期的なイベントを実施する」は18~29歳が43.7%、30~39歳が34.2%と、若い世代の割合が高くなっている。



IV 自由意見

福井市に対する意見・提案について、自由意見は次のとおりである。

市民意識調査に回答のあった 1,251 人のうち、359 人（意見数は 433）が自由意見に回答。寄せられた意見・提案を第六次福井市総合計画の政策に基づいて 17 項目に分類し整理した。

●政策別意見数

政策	意見数
1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる	104
2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる	57
3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる	3
4 環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる	1
5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる	0
6 とともに責任を担う協働のまちをつくる	3
7 誰もが尊重される住みよいまちをつくる	2
8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる	13
9 すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる	40
10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる	3
11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる	10
12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる	16
13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる	5
14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる	41
15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる	8
16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる	2
17 その他	125
合計	433

※自由意見の取扱い

市民意識調査は無記名で、回答者を特定し個別に回答することができないため、寄せられた自由意見の原文については、今後の行政の取組の参考とするよう担当課に送付している。

主な意見・提案内容（主なもの）

1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる

来年、西口再開発ビルがオープンしますが、福井の良いところを全面に出していただき、他県のように、ひきつける場所を作っていただきたい。（男性 50代）

福井駅周辺の今後の進展を期待すると同時に、若者たちの飛躍につながるように願います。
（女性 50代）

私は車の運転ができないので自転車に乗りますが、福井市の車道での運転は高齢者にはとても危険です。また、駅前に駐輪場を増やしてほしいです。（女性 70歳以上）

車では福井駅前行きにくいので、バスの運行時間を夜遅くまで時間設定した方が良い。県外からのお客様より、まず福井の人から活性化等を始めれば、県外の人へ繋がっていくと思う。
（女性 30代）

福井市は住みよいまちではありますが、全国的にまだまだ知名度が低く、何かが足りないと思います。JR 福井駅西口周辺に期待したいと思います。（女性 60代）

福井中心部に多くの人が集まる活気あるまちづくりに取り組んで欲しい。北陸3県の中で一番魅力のない町だと思います。（女性 60代）

福井市駅前行きやすいように、車ではなく、自転車や、歩いても楽しめるよう、周辺も考えつつ整備してほしい。（女性 50代）

福井市は地方都市として、騒がしくなく、静かで落ち着いた街を目指して欲しい。大都市の真似をするのではなく、緑豊かで住みよい街になって欲しい。全国的にも住みやすさの上位であるが、これを維持してほしい。（男性 70歳以上）

福井はとても住みやすい、良いところだと思いますが、駅前が閑散としているのが残念です。若者や観光客が立ち寄りたくなるような、緑も多くおしゃれな場所になったらいいと思います。（女性 50代）

福井に戻り、10年が経とうとしている主婦です。以前は県外に住んでいたのですが、帰郷した時はほっとした気持ちでしたが、福井の景観、特に中心部の建物に統一したものが無くとても残念に思っていました。福井ならではのカラーを出し、市民や観光客が落ち着ける場所にしてくださいよう希望します。（女性 60代）

福井に新幹線は必要ないと思う。開通しても利用者は少ないと思う。福井から他県に行くために利用する人は多いと思うが、逆に福井に来る人はあまりいないと思う。それなら別のところで税金を使ってほしい。（女性 29歳以下）

市内の駐車場、空き家、空き地を有効に使い、コンパクトシティを目指す必要があります。中心地へ人の動きを戻すべきです。（男性 60代）

何も無いが福井の良い所。他を真似してほしくない。福井らしさがなくなる。（女性 40代）

<p>福井フェニックスまつりの夜に駅前に行きましたが、若い人があまりに多くいるのでびっくりしました。この人達がまつり開催時だけでなく、平常の土、日にも中心部に集まるような手だてがないものか。ミニイベント等、いろいろ実施されていますが、新聞で終わってから知ることが多いです。(女性 60代)</p>
<p>福井市を魅力あるまちにしようと努力しているのは伝わり、とてもありがたいと感じている。しかし、努力に対する結果が伴っていないと思う。夜の駅前は閑散としているし、施設の営業時間も短い。人が来ないから営業時間を短くせざるを得ないのかもしれない。魅力あるまちができれば、福井の豊かで美しい自然も際立つと思う。(女性 29歳以下)</p>

2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる
<p>福井市は、のどかでとても良い所と思いますが、福井の自然に甘えることなく、もっと手を入れ、人と共存できる、楽しめる公園にしてほしいと思います。 (女性 60代)</p>
<p>福井駅前や、まちなかの歩道、自転車道は整備されてきれいだが、郊外は道がデコボコしていて、たまに自転車に乗ると走りにくく、危ない。(女性 50代)</p>
<p>駅の周辺(中心部)ばかり力を入れている。まだまだ、通学路の道が悪く、歩道もない箇所も多い。中心部開発の前に整備すべきではないか。(男性 50代)</p>
<p>足羽山動物園が大好きなのですが、もう少し活気があるといいと思います。パネル展示や、来場者に動物の説明をするなどのサービスを提供し、もっと楽しめる場所になればいいと思います。(女性 40代)</p>
<p>足羽山へ登る時にいつも感じる事は、道路がせまい事です。もう少し道幅を広くすればいいのになと思います。(女性 70歳以上)</p>
<p>若い頃はあまり思わなかったが、足羽山は駅からも近く、緑も多く、とてもよいところだと思っています。でも歩いてみるといろいろなところにTV塔や銅像など、自然とは不向きな建物が多い。自然を多く残し、共生できる場所となることを願っています。(女性 50代)</p>
<p>新しい公園を造ることは良いことだと思うが、もともとある公園の改修もしてほしい。トイレは汚く、子どもが遊ぶ遊具もない。(男性 30代)</p>
<p>車でよく福井市街の道路を通りますが、いつも思うことがあります。道路沿いに街路樹が多いため、標識板などが見えにくく、枝が電線に届くものもあります。木は大きくなるにつれ、維持費もかかり、安全面も気になります。不必要だと思います。(男性 60代)</p>
<p>近くの公園に遊具が全くなく、ただ広だけの公園で寂しい。日陰になるような場所もなく、夏場は暑さで利用が難しい。(女性 30代)</p>
<p>市中心街ばかりでなく、河川改修、治山治水など、市外の環境整備にも予算を使用すべきと思う。(男性 70歳以上)</p>
<p>道路等が老朽化している問題があるので、できる所から、早急に補修などを行ってほしい。(男性 40代)</p>
<p>バスなどが通らない市道では、冬の除雪が遅いのが不満です。(女性 40代)</p>

6 ともに責任を担う協働のまちをつくる

地域を活性化するために、若い世代が地域に溶け込めるような環境づくりに努めてほしい。

(男性 30代)

少数の限られた人だけが活動をしていて、マンネリ化している。もっといろいろな人が意見を言えるようにしてもらいたい。(女性 60代)

8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる

夏期だけでも生ごみの収集を増やす事は出来ないでしょうか。(男性 29歳以下)

市内を流れている川が汚い。ほたるが飛び、魚つりができるほどになれば・・・(男性 50代)

「燃えないゴミ」の量が多く、どのように処理しているのか心配です。物品生産者にもゴミ減量意識が行き渡るようにしたらよいと思う。(男性 70歳以上)

9 すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる

障がい者にとって少し住みにくいまちです。歩道のバリアフリーをもっと充実させるとともに、交通マナーの啓発に努めてほしいです。(女性 40代)

介護をされる人に対する支援は、いろいろありますが、介護をする人に対しても、心の支援などが欲しいです。(女性 50代)

田んぼなど自然もたくさんあり住みやすい町です。安心して子供を産み、育てることのできる支援をより一層お願いします。(女性 50代)

転勤で福井に来て1年余りになります。同じ幼い子どもを持つお母さんに話を聞くと、3世代家族には子育てしやすい環境かもしれないけれど、そうでない家族には、あまり良いとは言えないとの話でした。いろいろな人が子育てしやすい市になればよいと思います。(女性 50代)

人口問題は出生率の上昇が有効な解決策であり、子育て環境の整備等が最も重要。今後特に注力して欲しいです。(男性 30代)

人口減少、高齢化など、市に頼りたくなる部分が増えてきます。期待しています。がんばってください。(女性 50代)

一人暮らしの方が孤立せずに気軽に参加できる催しやおしゃべり会が各地区で月一回程度できたら良いと思います。(女性 50代)

10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる

災害時、屋外にあるスピーカーからの市の放送が、聞きとりにくい。音は聞こえるが話の内容が分からない。(男性 50代)

自然災害の時、指定されている公共の場所への避難（車又は徒歩）が困難な時があった。

(男性 60代)

11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる

今の高齢者は昔と違い、とても元気です。

高齢者が働ける場所があり、福井が発展できたらよいと思います。(女性 70歳以上)

出産後、または小さな子供がいる女性の再就職がまだまだ難しい。少子化が深刻な問題となっている中で、仕事を辞めて出産、子育てをしている女性たちに対し、社会復帰しやすい環境づくりをもっと進めるべきではないか。(女性 40代)

12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる

福井市は歴史と自然環境に恵まれています、その魅力を活かす企画が打ち出せていないように思われます。(男性 70歳以上)

福井市に県外からの観光客を誘致するところが無い。朝倉氏遺跡等をもっと観光地化し活用すべき。(男性 50代)

柴田神社、足羽山、足羽河原、福井城址や昔の城下町遺跡など、まだまだ知られていない福井の名所を観光につなげて、福井市がもっと人の集まる場所になればと思っています。

新幹線が来る頃にはもっと元気な福井にしてください。(女性 60代)

北陸新幹線の福井開通に向けて観光客を呼び込もうといろいろな対策を練っていると思うが、福井の観光地は密集しておらず、ローカルの公共交通機関を利用するにはあまりにも不便。観光バスの様なものを充実すべきだと思う。(女性 40代)

13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる

まちなかの開発だけでなく、山間地の農林業の推進にもっと予算を投入すべき。

(男性 70歳以上)

無農薬、有機農法の野菜がまるで無いので、福井のスーパーはほとんど利用しません。

もっと無農薬農家さんを支援してあげてください。(女性 40代)

里山の住民にとって、山、田畑がどんどん荒れていくのを見るのは心が痛む。山に食べる物が無いため、鳥や獣も山を降りてくる状態なので、真剣に取り組んでほしい。(男性 70歳以上)

14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる

子供の体力、学力の向上は、短期間で行えるものでなく、福井のレベルの高さは不断の成果だと思います。行政の後押しが今後も子どもの成長に反映されることを期待しています。

(女性 60代)

子どもたちが心身ともに健やかに育ってくれていることを大変うれしく思っています。大学等、他の機関とも連携し、学習実験や学びの場を子どもたちに提供していただけると有難いです。豊かで子育てもしやすく、学習レベルの高いふくいを、もっと全国にアピールできたらと思います。(女性 40代)

共働き家庭では、市外から祖父母が面倒を見に来ていたり、子どもだけで留守番をしていたりする家もある。児童クラブなど、放課後の児童の居場所の充実が必要。(男性 70歳以上)

15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる

大人の学ぶ場所を探していますが、仕事をしながら活動に参加することが難しい。
規模は小さくても、行政が主体となって、夜間や休日など働く世代が参加できる時間帯に、様々なジャンルの習いごとができる場を作ってほしい。(女性 30代)

自然史博物館は努力され、催しも多く、工夫をされているのがよく分かります。屋上から見る眺めがとてもよいので、活用しないともったいないと感じています。(女性 50代)

県の文化レベルが低い。市でも美術や音楽などの催しを増やして、歴史や文化を活かした住みやすいまちづくりをお願いします。(男性 60代)

16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる

福井市は、歴史的価値のある建物等が多いのにうまく使いこなせていないのがもったいない。特にお堀はもったいない。公園などにして設備を整えて公共の場にしたらいいと思います。(女性 40代)

歴史的景観を大切にしてほしい。西別院と県庁を結ぶ道路、浜町から足羽山など、そぞろ歩きのできるまちづくりと、やすらぎのある福井市への転換が必要。(男性 60代)

17 その他

福井市はとても住みやすく、特に大きな不満はありませんが、私はスマートフォンも持たず、インターネットもほとんど閲覧しません。情報は新聞や広報紙などから得ています。近頃は何でも「詳細はホームページで…」なので、少々困ります。(女性 40代)

市民の声がいつでも届くまちづくりをお願いします。声が届けば協力出来る人は必ず協力します。一方通行にならない様をお願いします。(女性 40代)

フルタイムで仕事をしていると公共施設を利用する事はほとんどありません。開館時間を延長するなどして、もっと利用しやすくしてほしいです。(女性 40代)

大好きな福井市。
市民がこれからものびのび暮らせるようよろしくご尽力下さい。(女性 60代)

新しい意見や若い人の意見を取り入れてどんどん改革してってください。旧態依然としています。居住していてよかったと思える美しい街並みや、心が感じられる行政をお願いします。あちこちでよくなっているなと思える福井市になって欲しいです。(女性 70歳以上)

市役所等はお客様のニーズに答えて、もう少し開庁時間の見直しをし、必要とあれば、土日祝日も開庁してほしい。(女性 40代)

県都である福井市の取組はまだまだ市民に認知されていない部分が多々あるのでは…。市民サービスの向上も大切ではありますが、丁寧な説明をして、多くの方に理解してもらえぬ工夫を考えてほしいと思います。(女性 50代)

他県から主人の転勤で越してきましたが、いまだ福井県が幸福度 No1 だという魅力が分かりません。教育現場が閉鎖的で、商業施設がほとんど無いので、むしろ子育てしにくいと感じています。もっと他の自治体の良い所を吸収していかないと、人口減は進む一方です。これから魅力ある福井を期待します。(女性 30代)

ふくチャンネルの「いきいき情報ふくい」は市の取り組みや行事等番組が丁寧に作られていてわかりやすい。新聞や雑誌では得られない情報もあり、ためになる。(女性 40代)

業務に励んでおられる職員さんと、そうでない職員さんの差が極端にはげしいように、日頃から感じています。外からも内からも気持ち良く、日々の勤めが出来る体制になっていただきたいと感じております。(男性 50代)

このようなアンケートはインターネットで回収した方が良いのではないかと思います。インターネットが出来ない人は紙回収等、少しでも時間の短縮になる方法を考えた方が良いと思います。(女性 30代)

V 調査票



～あなたの声を福井の未来に～

調査ご協力のお願い

市民の皆様には、日ごろ、市政の推進にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

福井市では、「第六次福井市総合計画」に基づいて、“自然・活気・誇りにみちた”“人が輝く”“かえりたくなる”まちづくりを進めていますが、そのために市民の皆様のご意見をお伺いすることが大切と考えております。そこで、現在の生活環境やまちづくりについて市民の皆様のご意向をお伺いし、今後の市政運営の方向性を探るための基礎資料とする「福井市民意識調査」を実施いたします。

この調査票は、平成27年5月1日現在の住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の福井市民2,500名の方々にお送りしております。無記名でお答えいただき、統計的な処理を行うため、個人が特定されることはありませんので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。また、調査結果は、この調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解のうえご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成27年6月 福井市長 東村新一

ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、あて名のご本人様をお願いいたします。(代筆でもかまいません。)
2. ご回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
なお、質問によって、回答数が「(2つまで)」「(いくつでも)」などと指定してありますので、ご注意ください。
3. ご回答が「その他()」にあてはまる場合には、
()の中になるべく具体的に、その内容をご記入ください。
4. ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、**7月7日(火)まで**にご投函ください。
(切手は不要です)



福井市宣伝隊長「朝倉ゆめまる」

＜お問い合わせ＞

福井市総務部広報広聴課 市民サービス推進室

TEL 0776-20-5303

FAX 0776-20-5753

E-mail shiservice@city.fukui.lg.jp



地区コード

◆共食（家族と共に食事を取ること）について

問1 あなたは、普段朝食を誰と一緒に食べていますか。（1つ）

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. 家族そろって食べる | 2. 家族の誰かと食べる | 3. 一人で食べる |
| 4. 朝食を食べない | 5. その他（ | ） |

問2 あなたは、普段夕食を誰と一緒に食べていますか。（1つ）

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. 家族そろって食べる | 2. 家族の誰かと食べる | 3. 一人で食べる |
| 4. 夕食を食べない | 5. その他（ | ） |

◆人権・男女共同参画について

問1 次の人権問題のうち、あなたが特に関心があるのはどれですか。（1つ）

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. 女性（DV含む） | 2. 子ども（いじめ含む） |
| 3. 高齢者（虐待含む） | 4. 障がい者 |
| 5. インターネットの悪用（ネットいじめ含む） | 6. 労働（パワハラ含む） |
| 7. 同和問題 | 8. 外国人 |
| 9. 感染症等の患者 | 10. 犯罪被害者 |
| 11. その他（ | 12. ない |

問2 あなたは、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだと思いますか。（1つ）

- | | |
|------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまり思わない | 4. 思わない |
| 5. 分からない | |

問3 あなたは、国や市が男女共同参画社会の実現を目指して積極的に取り組んでいることをご存知ですか。（1つ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 詳しく知っている | 2. だいたい知っている |
| 3. 聞いたことがある | 4. 知らない |

◆行政チャンネル「ふくチャンネル」について

問1 あなたは、ケーブルテレビの行政チャンネル「ふくチャンネル」を知っていますか。
また、どのくらいの頻度でご覧になりますか。(1つ)

- 1. ほぼ毎日
- 2. 週に数回程度
- 3. 月に数回程度

- 4. ほとんど観ない
- 5. 知っているが観ない
- 6. 知らない

1 から 3 と答えた方は
問 1-2、1-3 へお進みください

4 から 6 と答えた方は
次のページへお進みください

(問1で1から3と答えた方にお聞きします)

問1-2 ご覧いただいている主な時間帯はいつですか。(1つ)

- 1. 6時～9時
- 2. 9時～12時
- 3. 12時～15時
- 4. 15時～18時
- 5. 18時～21時
- 6. 21時以降

(問1で1から3と答えた方にお聞きします)

問1-3 「ふくチャンネル」でよくご覧になる番組は何ですか。(3つまで)

- 1. いきいき情報ふくい(市の取組みや情報を紹介)
- 2. やろっさFUKUI(市内で活躍する市民や団体を紹介)
- 3. 市役所情報局(啓発ビデオや民放テレビで放送した番組の再放送)
- 4. ビデオライブラリー(市内で行われたイベントや講演会、演奏会などを放送)
- 5. みんなのひろば(市民の皆さんからの投稿ビデオや写真、過去の番組を放送)
- 6. 元気体操(仕事や家事の合間にできる体操「元気体操21」を放送)
- 7. ふくチャンネル回覧板(イベント情報や市からのお知らせを放送)
- 8. 市場NOW!!(市場の旬な野菜や魚介、花などを紹介)
- 9. 市長記者会見
- 10. 福井市議会中継
- 11. 競輪中継 ※122chで放送

◆耐震について

問1 あなたのお住まいは、いつ頃建てられた、どのような建築構造の住宅ですか。(1つ)

1. 昭和56年5月以前に建てられた木造住宅
2. 昭和56年6月以降に建てられた木造住宅
3. 木造住宅だが、建築時期は分からない
4. 鉄骨・鉄筋などの非木造住宅
5. 分からない

問2 あなたは、昭和56年5月以前に建てられた木造住宅が、強い地震が起きた場合に倒壊する可能性が高いと指摘されていることをご存知ですか。(1つ)

1. 知っている
2. 知らない

問3 あなたは、大きな地震が発生した時に、今住んでいる建物の被害はどの程度だとお考えですか。(1つ)

1. 被害は少ない
2. 多少の被害を受ける
3. かなりの被害を受ける
4. 分からない

問4 あなたのお住まいは、耐震補強を行っていますか。(1つ)

1. 耐震補強を行っている
2. 耐震補強を行っていない → 2と答えた方は問4-2へお進みください
3. 分からない

(問4で2と答えた方にお聞きします)

問4-2 耐震診断を行った結果、あなたのお住まいの耐震性が低く「倒壊する可能性が高い」と分かった場合、あなたは、耐震改修工事を行いますか。(1つ)

1. 耐震改修工事を行う
2. 部分的な耐震改修工事を行う
3. リフォームを行うことがあれば、その時に合わせて耐震改修工事を行う
4. 耐震改修工事を行うのは難しい
5. 分からない

◆市のまちづくりについて

問1 「第六次福井市総合計画」の目標を達成するために福井市が取り組んでいる16の政策について、現在の満足度及び重要度をお聞きします。表中の〈政策のポイント〉を参考にいただき、政策全体としての満足度・重要度について、あなたのお考えにもっとも近い番号に○を付けてください。(それぞれ1つ)

No	政策	政策のポイント	満足度				重要度			
			満足	ほぼ満足	やや不満	不満	重要	やや重要でない	あまり重要でない	重要でない
1	県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいのある中心市街地をつくる ・良好な景観を形成する ・快適で秩序ある市街地形成を推進する ・北陸新幹線の整備をすすめる 	1	2	3	4	1	2	3	4
2	暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な市道の整備・維持管理を行う ・安心と地域の潤いを創出する河川を整備・保全する ・市民の憩いの場としての公園を整備する 	1	2	3	4	1	2	3	4
3	生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・污水处理施設の普及促進をはかる ・污水处理施設の整備・維持管理を効率的に行う 	1	2	3	4	1	2	3	4
4	環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・都市ガスの需要拡大をはかる ・都市ガスを安全・安定的に供給する ・都市ガス事業を健全に経営する 	1	2	3	4	1	2	3	4
5	安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・水道水を安全・安定的に供給する ・簡易水道水を安全・安定的に供給する ・水道事業を健全に経営する 	1	2	3	4	1	2	3	4
6	ともに責任を担う協働のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・役割と責任を担う協働のまちづくりをすすめる ・住民が主体となったまちづくりをすすめる ・地域コミュニティの活性化をはかる 	1	2	3	4	1	2	3	4
7	誰もが尊重される住みよいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生の地域づくりを進める ・男女共同参画社会をつくる ・安全で安心な消費生活をおくることができるようにする 	1	2	3	4	1	2	3	4
8	環境にやさしい持続可能なまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や都市環境を守り育て、将来に伝える ・地球規模の環境問題に対応し、持続可能な社会づくりをすすめる 	1	2	3	4	1	2	3	4
9	すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子どもを産み育てられる環境をつくる ・お互いが支えあう地域づくりをすすめる ・充実した介護の体制づくりをすすめる 	1	2	3	4	1	2	3	4

No	政策	政策のポイント	満足度				重要度			
			満足	ほぼ満足	やや不満	不満	重要	やや重要でない	あまり重要でない	重要でない
10	事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・消防体制を整備する ・災害時の被害を軽減する ・救命率の向上をはかる ・火災等から人命と財産を守る 	1	2	3	4	1	2	3	4
11	活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の商工業を振興する ・市民が働くことを応援する 	1	2	3	4	1	2	3	4
12	福井の魅力を発信する観光のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・福井らしさで観光客を増やす ・市民が福井の魅力に触れる機会を増やす ・様々なツールによる情報発信とイメージアップをはかる 	1	2	3	4	1	2	3	4
13	魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業を振興する ・農山漁村の生活環境を整備する ・地元農林水産物の利活用を推進する 	1	2	3	4	1	2	3	4
14	健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの場としての学校環境を整備する ・学校教育を充実する ・子どもの健康増進をはかる ・子どもの健全な育成をはかる 	1	2	3	4	1	2	3	4
15	市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生涯学習を支援する ・市民の生涯スポーツを支援する 	1	2	3	4	1	2	3	4
16	歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の誇りとなる文化を振興する ・文化芸術活動の担い手の育成を支援する ・文化芸術活動の交流と発信を促進する ・歴史や文化遺産を保存継承する 	1	2	3	4	1	2	3	4

問2 あなたは、福井市は住みやすいまちだと思いますか。(1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3 あなたは、福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。(1つ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 事情が許せば住み続けたい |
| 3. 市外(大都市圏)に住みたい | 4. 市外(大都市圏以外)に住みたい |

◆保留地について

問1 あなたは、福井市が土地区画整理事業によって生まれた新しい土地「保留地」を販売していることをご存知ですか。(1つ)

1. 知っている → 1と答えた方は問1-2へお進みください
2. 知らない

(問1で1と答えた方にお聞きします。)

問1-2 あなたは、福井市が保留地を販売していることをどのようにして知りましたか。最も印象に残ったものをお答えください。(1つ)

- | | | |
|---------------|------------|----------|
| 1. 不動産会社 | 2. インターネット | 3. 知人・友人 |
| 4. 市政広報紙 | 5. 新聞広告 | 6. テレビCM |
| 7. 雑誌(不動産情報誌) | 8. イベント会場 | |
| 9. その他() | | |

問2 あなたは、土地の購入を検討する場合、どのようにして情報を得ますか。(2つまで)

- | | | |
|-----------|---------------|----------|
| 1. 不動産会社 | 2. インターネット | 3. 知人・友人 |
| 4. 新聞広告 | 5. 雑誌(不動産情報誌) | 6. 折込チラシ |
| 7. その他() | | |



朝倉ゆめまる

◆福井市の環境について

問1 あなたが、「将来に守り伝えたい自然」としてイメージするものは何ですか。(2つまで)

1. 地域の里地・里山
2. 地域に生息する生き物・植物
3. 足羽三山
4. 一乗谷
5. 九頭竜川
6. 足羽川
7. 越前海岸
8. その他()

問2 あなたが今後取り入れたいと考えている、または関心のある環境配慮型の製品や設備は何ですか。(1つ)

1. 二重窓・ペアガラス
2. 省エネ型給湯器(エコジョーズ・エコキュート)
3. 太陽光発電設備
4. 太陽熱温水器
5. 雨水タンク
6. HEMS(ヘムス:住宅のエネルギー管理システム)
7. 屋上の遮熱塗装や緑化工事
8. 電気自動車・プラグインハイブリット自動車・クリーンディーゼル車
9. その他()

問3 あなたは、地球温暖化対策(温室効果ガスの削減)としてどのような取組みが必要だと思いますか。(2つまで)

1. 家庭での省エネ行動(電気・ガス・灯油などの節約)
2. 環境配慮型製品等の活用
3. 公共交通機関の積極的な利用
4. 環境に関する学習会等への参加
5. 学校教育における環境教育
6. マスメディアによる啓発
7. その他()

◆ごみの減量・資源物の分別について

問1 あなたのご家庭では、新聞や雑誌などの『古紙類』をどのように処分していますか。(1つ)

1. PTAや自治会等が行う集団資源回収に出している
2. 資源物として、スーパーや古紙業者等の店頭回収に出している
3. 燃やせるごみとして、ごみステーションに出している
4. その他()

問2 あなたのご家庭では、包装紙、紙袋、封筒、ダイレクトメール、コピー用紙などの『雑紙』をどのように処分していますか。(1つ)

1. PTAや自治会等が行う集団資源回収に出している
2. 資源物として、スーパーや古紙業者等の店頭回収に出している
3. 燃やせるごみとして、ごみステーションに出している
4. その他()

問3 あなたのご家庭では、空き缶や空きびん、ペットボトルなどの『資源物』をどのように処分していますか。(1つ)

1. 分別して、資源物としてごみステーションに出している
2. スーパーや酒販店等の店頭回収に出している
3. 分別せずに、燃やせないごみとしてごみステーションに出している
4. その他()

問4 ごみの減量化・資源化を進めるためには、どのような取組みが効果的だとお考えですか。(2つまで)

1. マイバックの利用や水切りの徹底など、市民への啓発活動を行う
2. 商品の生産や販売をする事業者へ、簡易包装の推進などに積極的に取り組むよう働きかける
3. フリーマーケットを定期的開催する
4. 市民がいつでも資源物を持ち込める回収場所を増設する
5. 家庭ごみの処理を有料化する ※
6. その他()

※ 例：家庭用ごみ袋の販売価格に処理手数料を上乗せする。
(現在、家庭用ごみ袋の販売価格には処理手数料は含まれていません。)

◆福井市の公共施設について

問1 あなたは、福井市の公共施設をどのくらいの頻度で利用していますか。(1つ)

※ 公共施設…公民館、図書館、博物館、美術館、体育館、市役所などの市立施設

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 週に数回程度 | 2. 月に数回程度 |
| 3. 年に数回程度 | 4. ほとんど使わない |

問2 あなたが普段利用している公共施設について、見直したほうがいいと思うことはありますか。また、そう思う主な施設名をお答えください。(いくつでも)

- | | | |
|-------------------------------|---------|---|
| 1. 開館（開庁）時間が短い | （主な施設名： | ） |
| 2. 休館（休庁）日が多い | （主な施設名： | ） |
| 3. 利用（入場）料金が安い | （主な施設名： | ） |
| 4. 予約がとりにくい、
利用者が多くて使いにくい | （主な施設名： | ） |
| 5. 段差が多く使いにくい、
バリアフリー対策が必要 | （主な施設名： | ） |
| 6. 施設までの移動手段が少ない | （主な施設名： | ） |
| 7. 設備が古い | （主な施設名： | ） |
| 8. 特になし | | |
| 9. その他（ | 主な施設名： | ） |

問3 多くの公共施設が古くなっており、今後、建替えや修理などに多くのお金が必要になりますが、あなたは、公共施設のこれからについてどのように進めていくべきだと思いますか。(1つ)

- | | |
|---|---|
| 1. 施設の数是十分足りているので、市民ニーズや財政状況に応じて減らす【総量縮減】 | |
| 2. 施設を現在のまま維持し、老朽化した施設は同規模で建替える【現状維持】 | |
| 3. 施設はまだ不足しているので、今後も多くの施設を建てる【新規建設】 | |
| 4. 分からない | |
| 5. その他（ | ） |

問4 将来、学校では児童数の減少により、空き教室等の余裕スペースが生まれることが想定されますが、あなたは、この空き教室等の余裕スペースをどのようにしていくのが有効的だと思いますか。
(1つ)

1. 児童の放課後の居場所
2. 地域の防災備蓄品の保管や防災活動の場所
3. サークル活動やギャラリーなど、地域の住民が交流する場所
4. 図書の貸出・閲覧サービスを提供する場所
5. 保育園・幼稚園など、預かり育児の場所
6. 児童数の減少に合わせて建物の規模を小さくする
7. 特にない
8. その他 ()

◆福井市図書館について

問1 あなたは、最近1年間に福井市図書館（市立・みどり・桜木・美山・清水）を利用しましたか。また、どのくらいの頻度で利用していますか。(1つ)

- | | | |
|---|-----|----------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 年1回以上 | } → | 1から4と答えた方は
問1-2へお進みください |
| <ol style="list-style-type: none"> 5. 1年以上利用していない | → | 5と答えた方は問1-3へお進みください |

(問1で1から4と答えた方にお聞きします。)

問1-2 福井市図書館を利用する目的は何ですか。(1つ)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 本・CDを借りる 3. 雑誌や新聞を読む 5. 行事に参加する | <ol style="list-style-type: none"> 2. 趣味や娯楽・仕事や勉強の調べもの 4. 「学習室」などの施設を利用する 6. その他 () |
|--|---|

(問1で5と答えた方にお聞きします。)

問1-3 福井市図書館を利用しない理由は何ですか。(1つ)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 本は自分で購入する 3. 開館日・開館時間に利用できない 5. 借りたい本がない | <ol style="list-style-type: none"> 2. 本を読まない 4. 図書館がどこにあるか分からない 6. その他 () |
|---|---|

◆福井市中央卸売市場「ふくい鮮いちば」について

問1 中央卸売市場では市場施設の一部を一般開放し、消費者の皆様が買い物できるようになりました。
あなたは、この施設「ふくい鮮いちば」を知っていますか。(1つ)

- 1. 行ったことがある
- 2. 知っているが、行ったことはない
- 3. 聞いたことがある
- 4. 知らない



1または2と答えた方は
問1-2へお進みください

(問1で1または2と答えた方にお聞きします。)

問1-2 「ふくい鮮いちば」をどのようにして知りましたか。
最も印象に残ったものをお答えください。(1つ)

- 1. 新聞
- 2. テレビ・ラジオ
- 3. 情報誌
- 4. 口コミや紹介
- 5. インターネット
- 6. 市政広報紙
- 7. その他()

問2 「ふくい鮮いちば」をよりよいものにするためには、どうしたらよいと思いますか。(1つ)

- 1. 日曜・祝日も開放する ※1
- 2. 営業時間を延長する ※2
- 3. 定期的なイベントを実施する
- 4. その他()

※1 現在は、市場休場日に合わせて、日曜・祝日はお休み。

※2 現在は、午前8時30分から午後2時30分まで。

◆あなた自身のことについて

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

1. 男性 2. 女性

F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)

1. 18～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳
4. 50～59 歳 5. 60～69 歳 6. 70 歳以上

F 3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)

1. 自営業者 2. 会社員・公務員 3. アルバイト・パート
4. 主婦・主夫 5. 学生 6. 無職
7. その他 ()

F 4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)

1. 2年未満
2. 2年以上5年未満
3. 5年以上 10 年未満
4. 10 年以上 20 年未満
5. 20 年以上 30 年未満
6. 30 年以上

F 5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)

1. 一人暮らし 2. 1世代（夫婦だけ 等）
3. 2世代（親子 等） 4. 3世代（親と子と孫 等）
5. その他 ()

◆自由意見

福井市に対するご意見やご提案などありましたら、ぜひお聞かせください。

※記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
7月7日（火）までに、郵便ポストに投函してください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

調査結果は10月末に市HP等で公表予定です。
また、平成28年3月には、調査の結果を受けての各所属の
取り組みをホームページでご報告します。

【福井市ホームページ】 福井市民意識調査のページ
<http://www.city.fukui.lg.jp/sisei/kotyou/tyousa/p012791.html>



朝倉ゆめまる

朝倉ゆめまるは日本のポンペイと言われる一乗谷朝倉氏
遺跡に住む妖精で、姿は一乗谷朝倉氏遺跡の象徴である
唐門を兜とした武将の姿をしています。

「越前ふくいを諸国に広めるための宣伝隊長として
がんばるぞ！」



平成 27 年度

福井市民意識調査報告書

平成 27 年 10 月発行

福井市総務部
広報広聴課 市民サービス推進室

〒910-8511 福井市大手 3 丁目 10 番 1 号

TEL (0776) 20-5303
